

博士論文(課程博士)

詫磨派研究

二分冊中之第二冊 図版編・参考資料編

学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位取得退学

藤元裕二 (Fujimoto Yuji)

平成二一年度提出 博士論文（課程博士）

詫磨派研究

（図版編・参考資料編 二分冊中之第二冊）

学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位取得退学（平成二〇年三月）

藤元 裕二

【図版編・参考資料編目次】

論文題目・目次・凡例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(i)

〈図版編〉

序章・・・(一)

第一章 一三世紀以前の陀磨派の動向

 第一節 文献資料に見る陀磨派の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一)

 第二節 長賀論・・・(一)

補論 良詮論―流派比定の方法論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一七)

第二章 醍醐寺を中心とした一四世紀の陀磨派の動向

 第一節 『常楽記』の再検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(四〇)

 第二節 金剛王院と陀磨派―正法寺所蔵「仏涅槃図」を中心に・・・・・・・・(四一)

 第三節 報恩院と陀磨派―個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」を中心に・・・・(五七)

第三章 栄賀論

 第一節 伝承の再編成―『本朝画史』の呪縛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(七四)

 第二節 作品論・・・(八四)

第四章 一四世紀陀磨派の位相

 第一節 陀磨派の分立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一一〇)

 第二節 陀磨派の影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一二四)

 第三節 陀磨派の終焉―南北朝・室町時代の絵画史の中で・・・・・・・・・・(一二四)

終章・・・(一五六)

〈参考資料編〉

参考資料・・(一五九)

【図版編・参考資料編凡例】

- (一) 本論文は「本文編」と「図版編・参考資料編」の三編二冊の構成で、本編は「図版編・参考資料編」である。
- (二) 本編の「図版編」には図版が、「参考資料編」には参考資料が収められており、その番号は「本文編」と対応している。
- (三) 「図版編」において、図版番号は通しではなく、各節毎に独立・完結している。
- (四) 各図版には、番号の他に所蔵、作品名、その作品における部位を附し（作者名は原則として省略する）、作品名のみ括弧（一）で括る。例えば、Aが所蔵するB図の全図の場合は、A所蔵「B図」全図 となる。全図ではなくCという特定部位を指す場合は、A所蔵「B図」C となる。
- (五) 反転や補助線の記入など、筆者が加工した図版を掲載する際は、その旨を明示している。
- (六) 「参考資料編」の末尾には、「本文編」にて直接言及していない年表などの資料が収められている。適宜ご参照いただきたい。



図 2 個人蔵「布袋図」全図

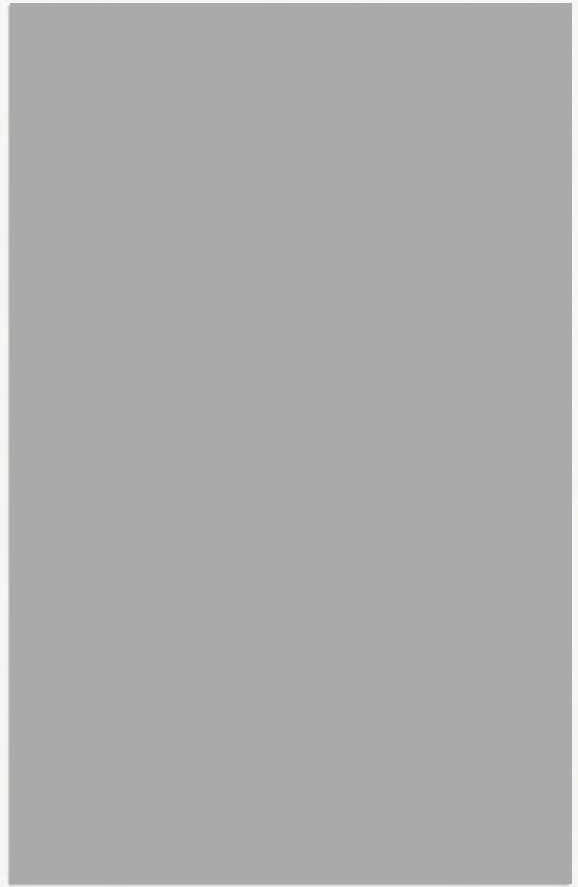


図 1 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」全図



図 4 正伝寺所蔵「元庵普寧像」全図



図 3 東寺所蔵「一两天屏風」月天

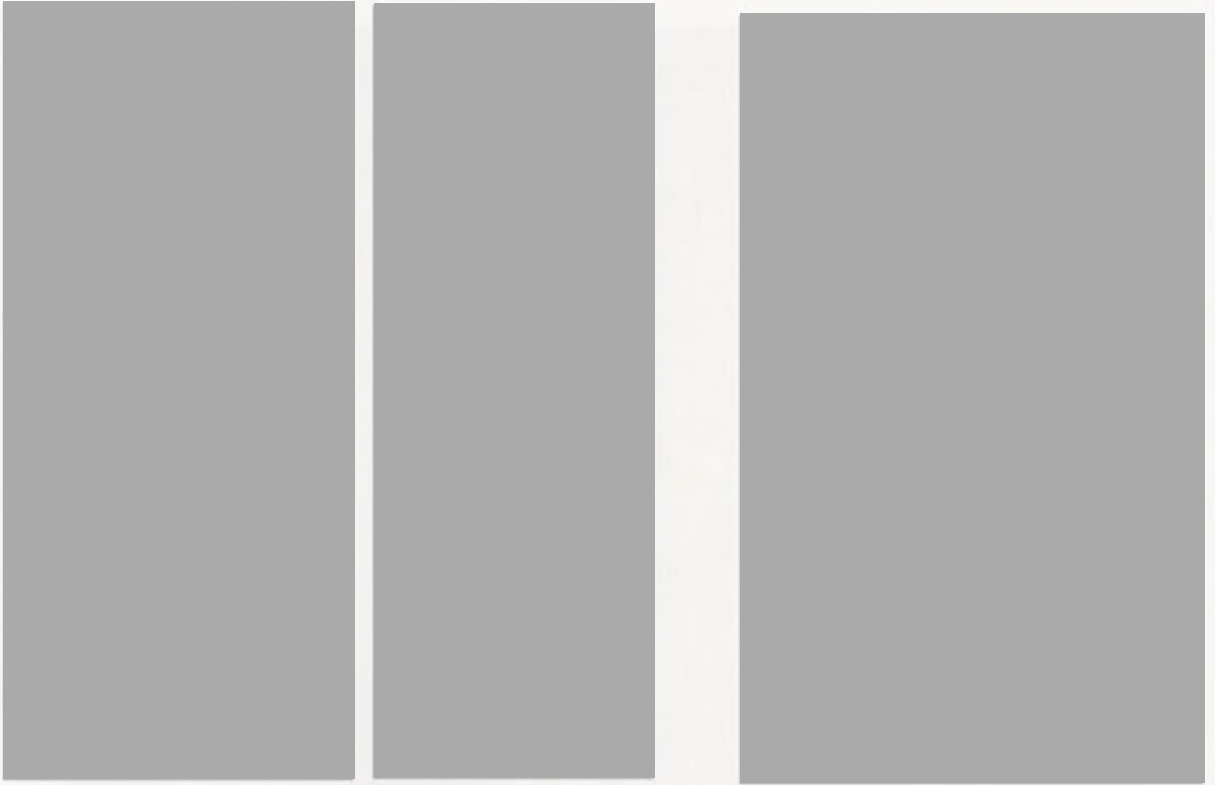


図 2、3 フリア美術館所蔵「二童子像」全図 図 1 醍醐寺所蔵「不動明王図像」全図

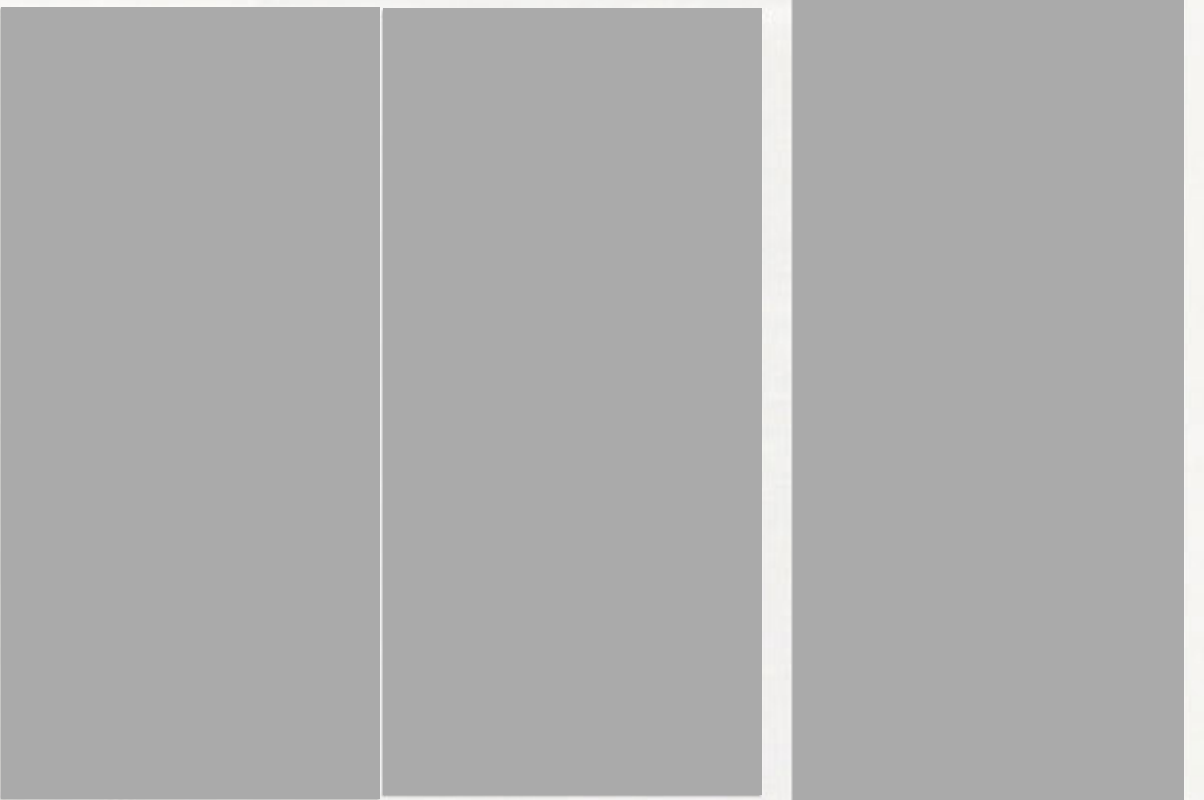


図 5、6 所在不明「一八羅漢図」全図 図 4 正伝寺所蔵「元庵普寧像」

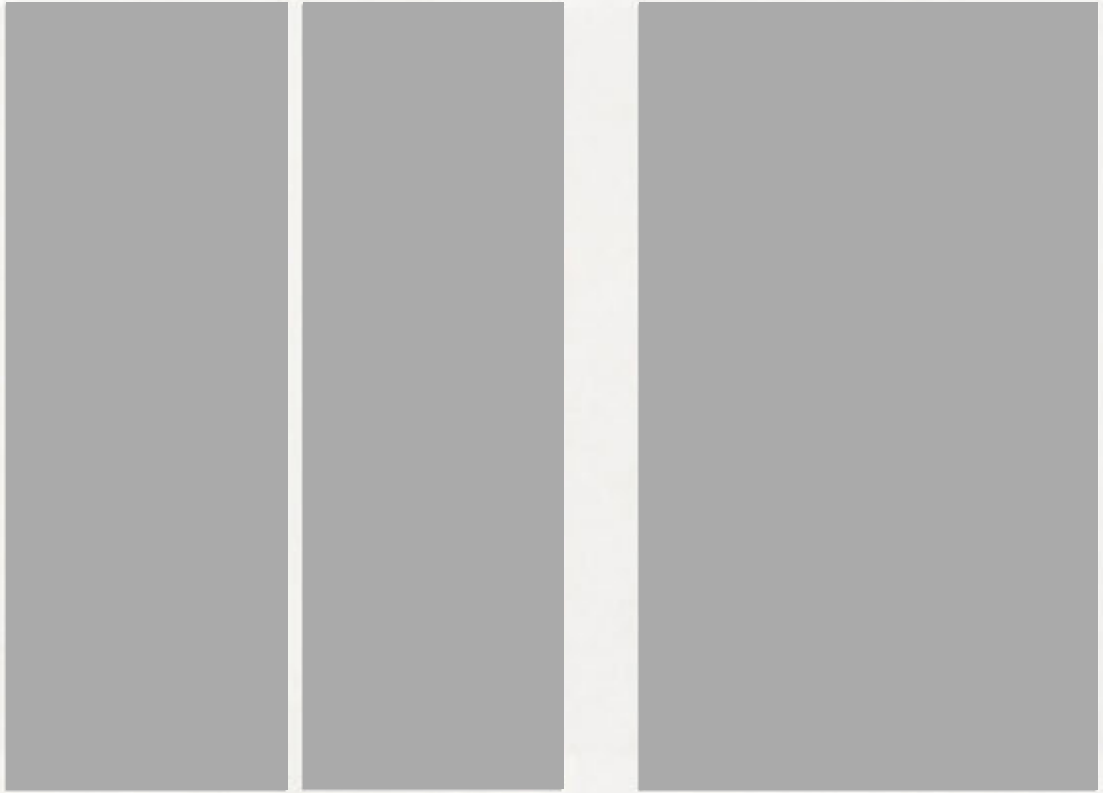


图 8 (右) 醍醐寺所藏「不動明王図像」銘文

图 7 醍醐寺所藏「不動明王図像」全图

图 9 (左) 同 反転



图 10 神護寺所藏「両界曼荼羅」胎藏界五大院 不動明王



圖 11 醜翻寺所藏「不動明王圖像」不動明王



圖 12 (右)、13 (左) 醜翻寺所藏「不動明王圖像」面相

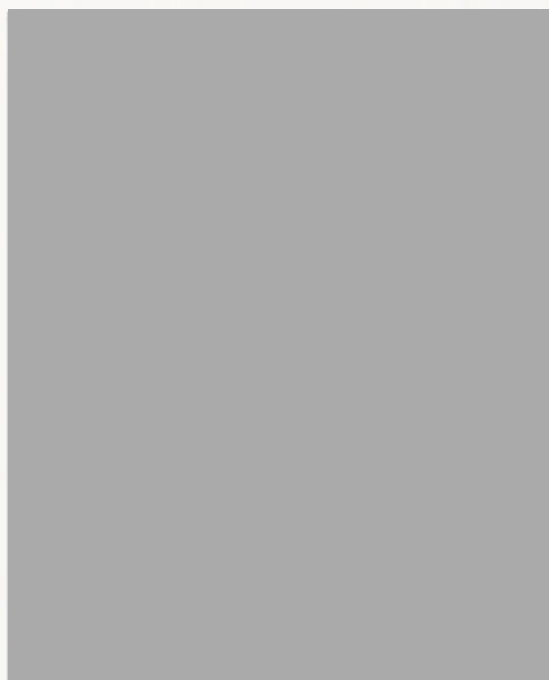


図 15 醍醐寺所蔵
「不動明王二童子図像（深賢様）」衣文



図 14 醍醐寺所蔵「不動明王図像」衣文



図 16 醍醐寺所蔵「不動明王図像」表装を示す界線と中央線



図 17 醍醐寺所蔵「不動明王図像（卷子本）」高雄曼荼羅様不動



図 19 醍醐所蔵「不動明王図像（鳥羽僧正様）」

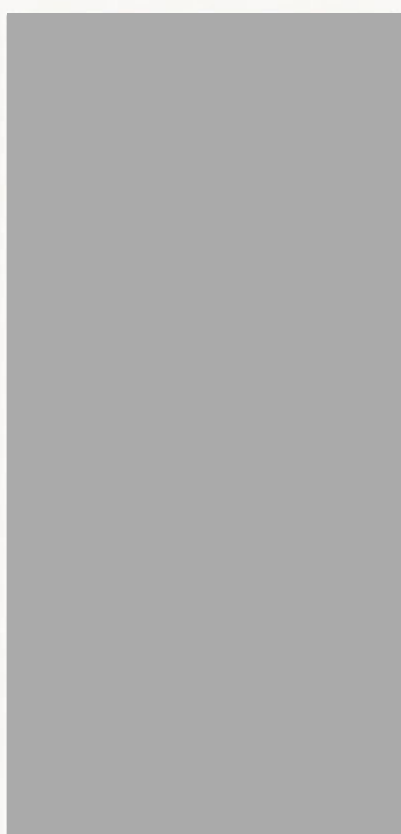


図 18 醍醐寺所蔵「不動明王図像（良秀様）」



図 21 醍醐所蔵「不動明王図像（信海筆様）」



図 20 醍醐寺所蔵「不動明王図像（円心様）」



図 27 醍醐寺所蔵
「不動明王図像（円心様）」不動

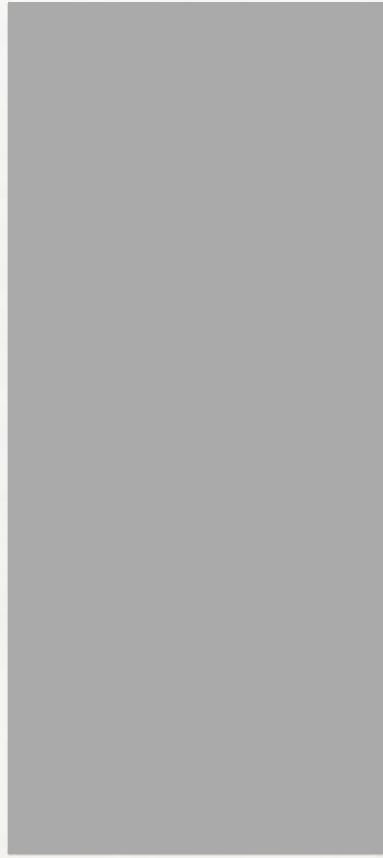


図 22、23 フリア美術館所蔵「二童子像」全図

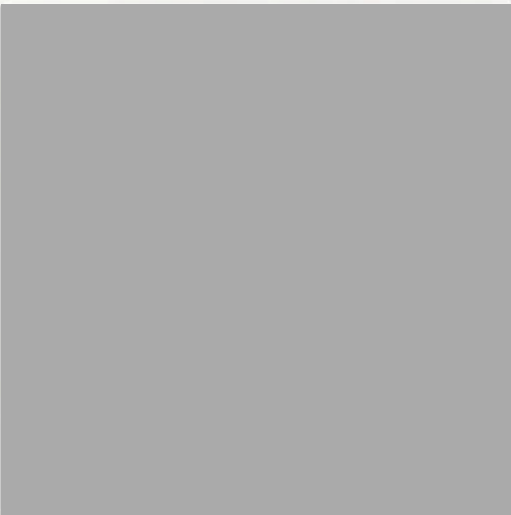
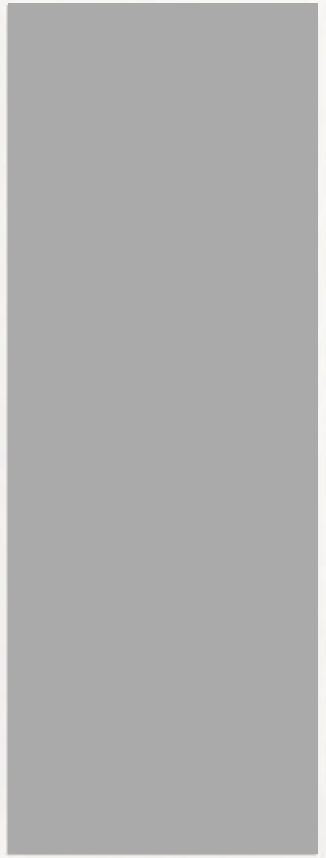


図 28 フリア美術館所蔵「二童子像」
矜羯羅幅印章（明度・コントラストアップ）

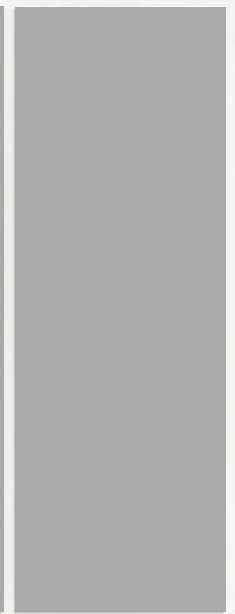
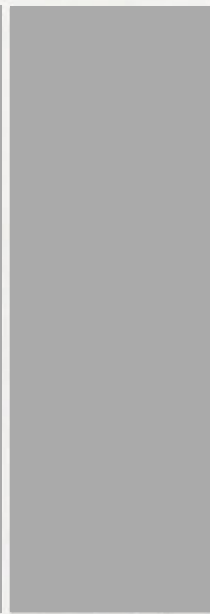


図 24～26 寿寧院所蔵「不動明王二童子像」
（妙澤不動）



図 29、30 フリア美術館所蔵「二童子像」矜羯羅童子

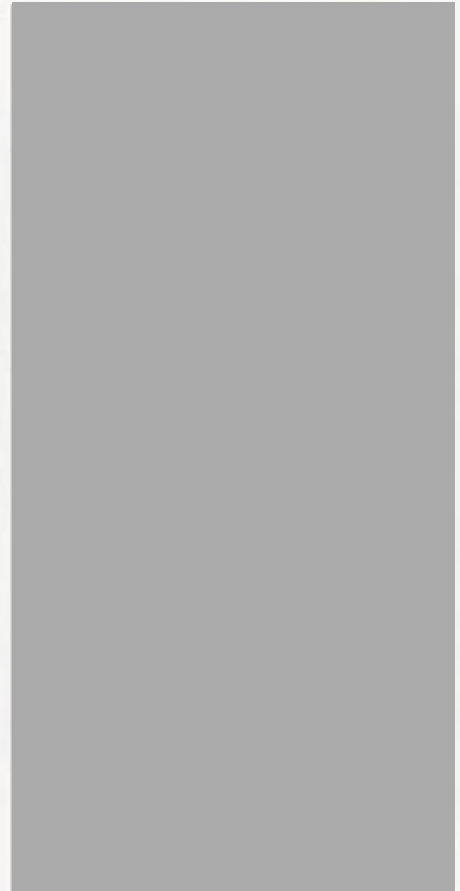


図 31、32 フリア美術館所蔵「二童子像」制吨迦童子

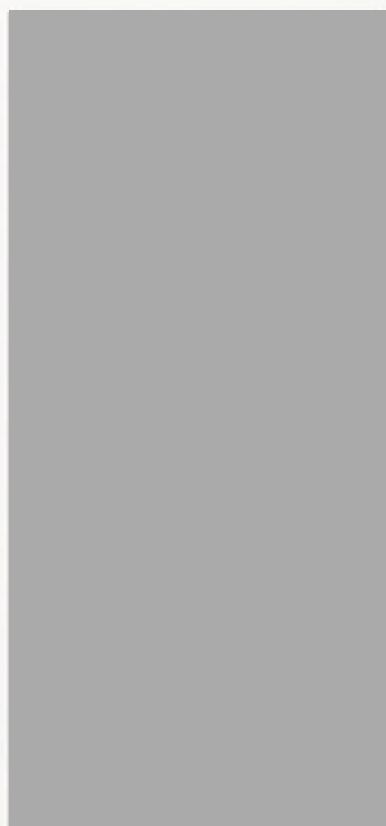


図 35 醍醐寺所蔵
「不動明王図巻」延円様矜羯羅



図 34 フリア美術館所蔵
「二童子像」矜羯羅



図 33 パーク財団所蔵
「制吒迦童子図」全図

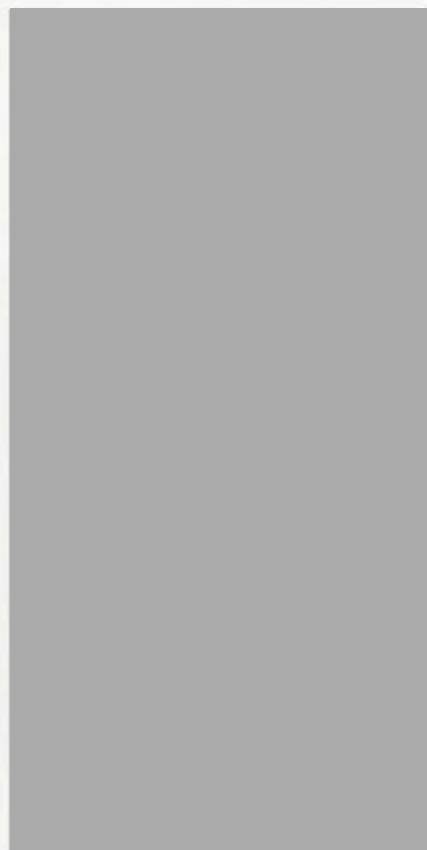


図 37 醍醐寺所蔵
「不動明王図巻」玄朝様制吒迦

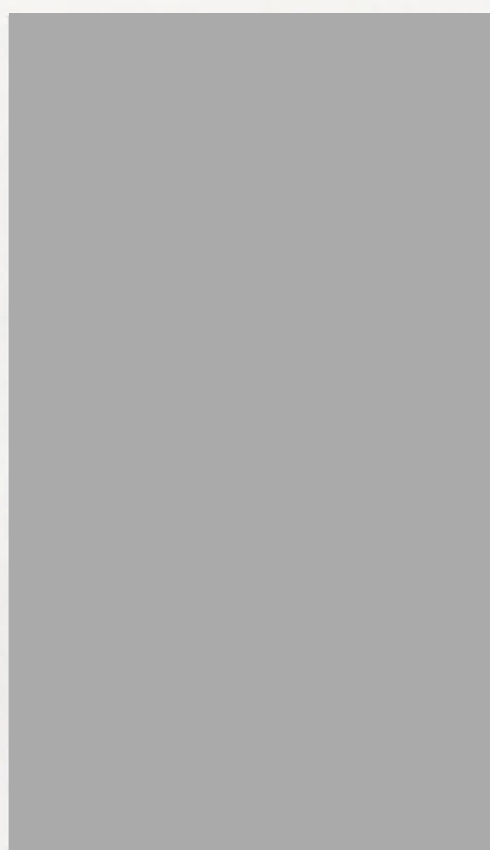


図 36 フリア美術館所蔵
「二童子像」制吒迦

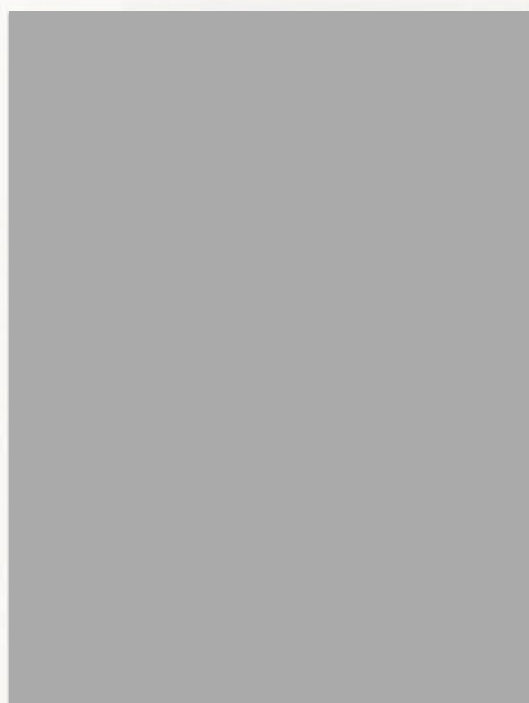


図 39 醍醐寺所蔵
「不動明王図像 (円尋様)」 瓔珞



図 38 フリア美術館所蔵「二童子像」杵羯羅瓔珞

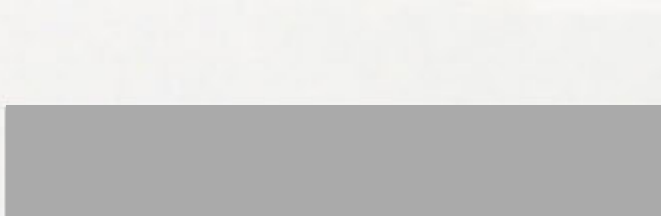
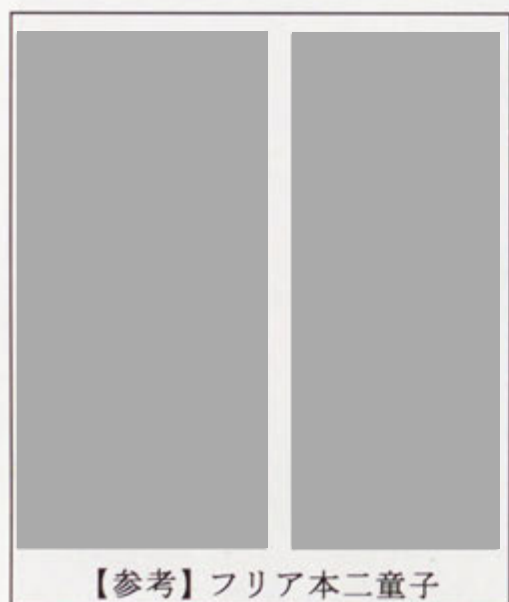


図 40 京都国立博物館所蔵「探幽縮図」二童子



図 41 (上)、42 (下) フリア美術館所蔵「二童子像」矜羯羅面相、肉身



図 43 フリア美術館所蔵「二童子像」岩座



図 44 延暦寺所蔵「不動三大童子五部使者像」岩座



図 45 大和文華館所蔵「笠置曼荼羅図」岩



図 46 (右)、47 (左) フリア美術館所蔵「二童子像」制吨迦



図 48 フリア美術館所蔵「二童子像」制吨迦の裏



図 50 醍醐寺所蔵「大日金輪像」文様



図 49 醍醐寺所蔵「文殊渡海図」文様

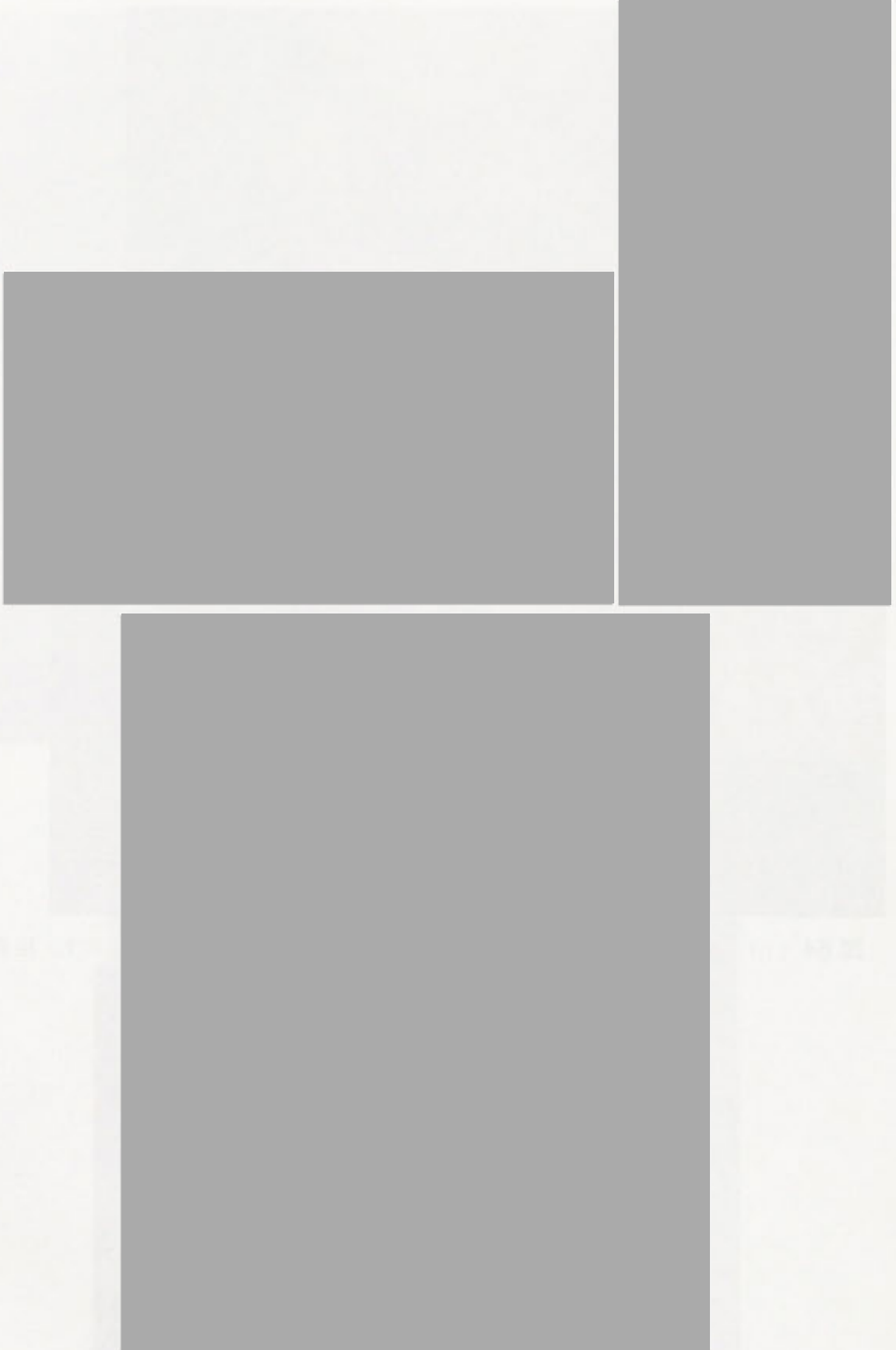


圖 51 (右上)、52 (左上)、53 (下) 正伝寺所藏「元庵普寧像」全図、賛、面相

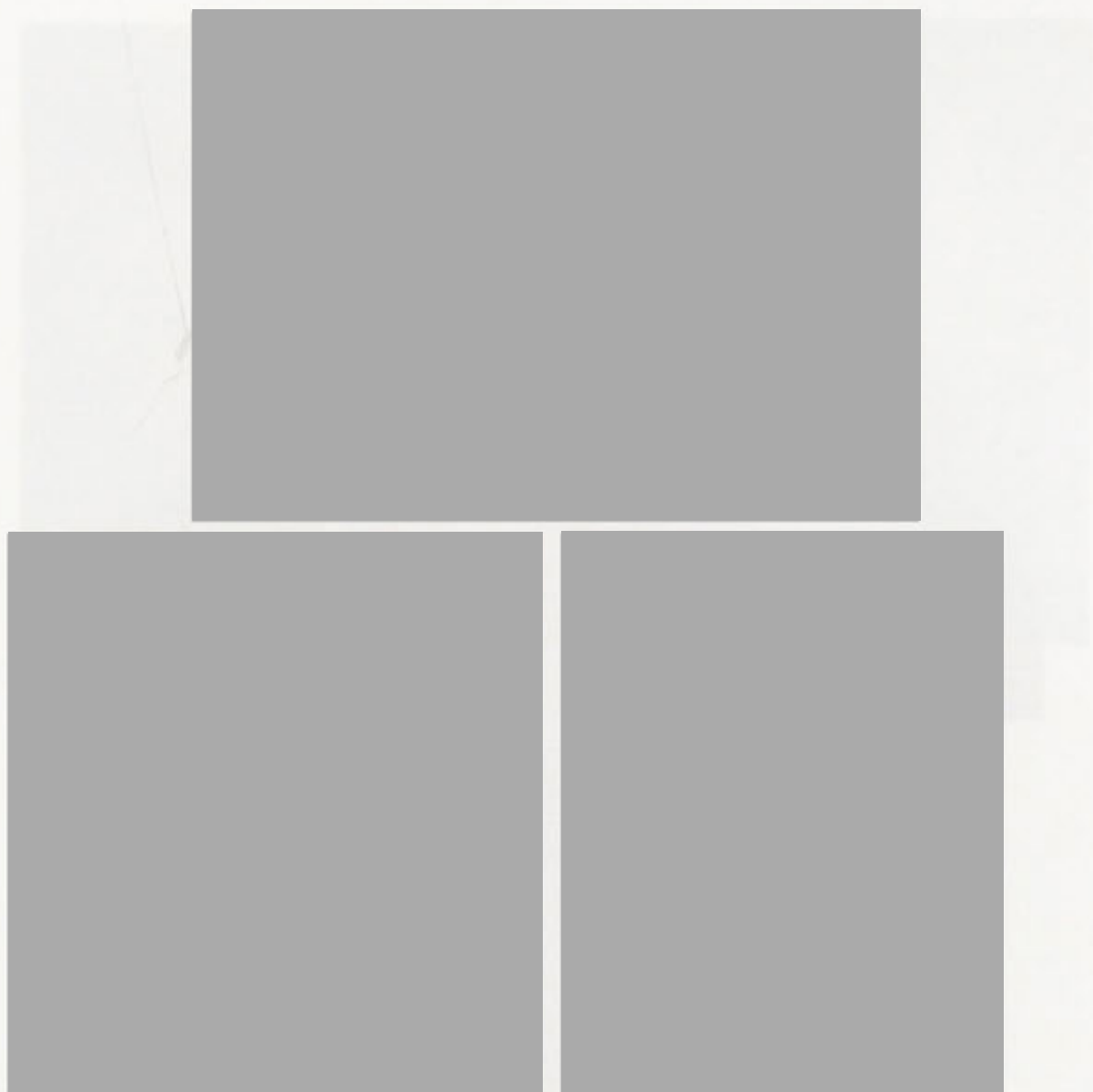


図 54 (上)、55 (右下)、56 (左下) 正伝寺所蔵「元庵普寧像」胴体、衣文、座具



図 57 正伝寺所蔵・靖庵筆「元庵普寧像」元庵



圖 58 (右)、59 (左) 所在不明「一八羅漢圖」全圖

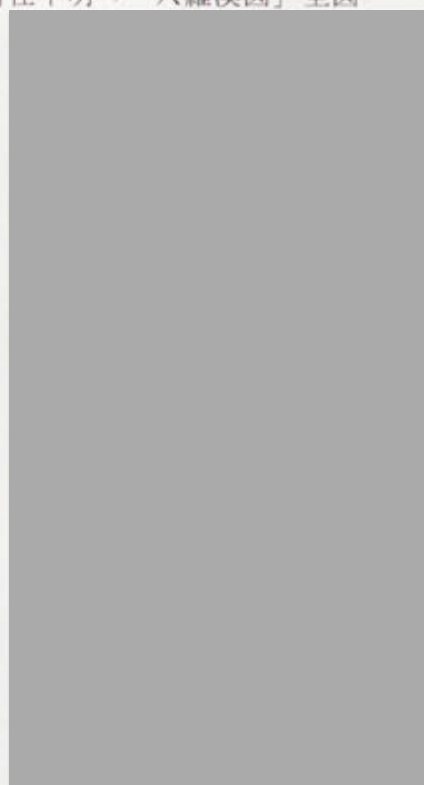
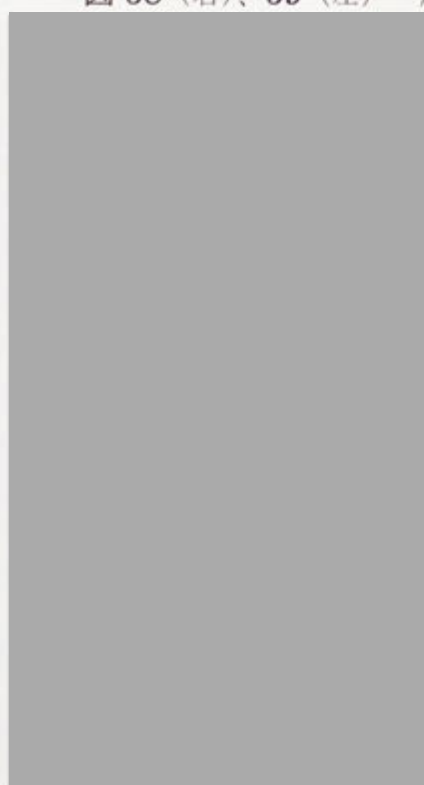


圖 60 (右)、61 (左) 鹿王院所藏「一八羅漢圖」全圖



図 2 神奈川県立歴史博物館所蔵
「釈迦三尊図」全図

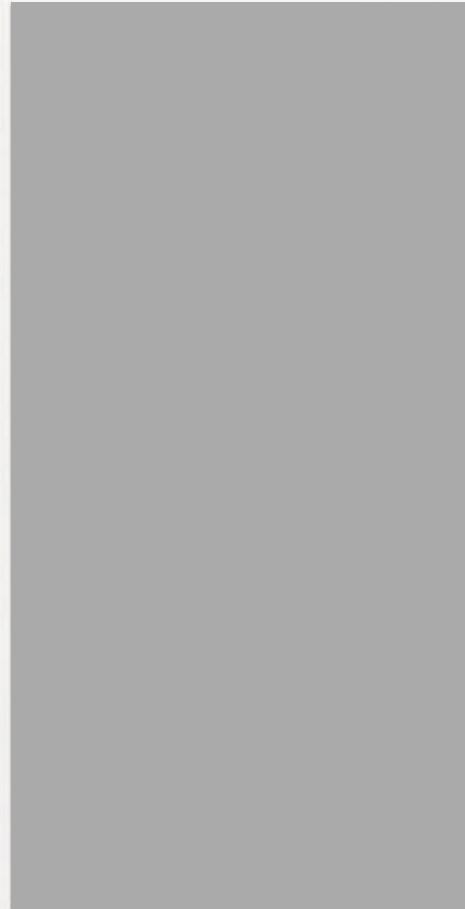


図 1 正木美術館所蔵
「騎獅文殊図」全図

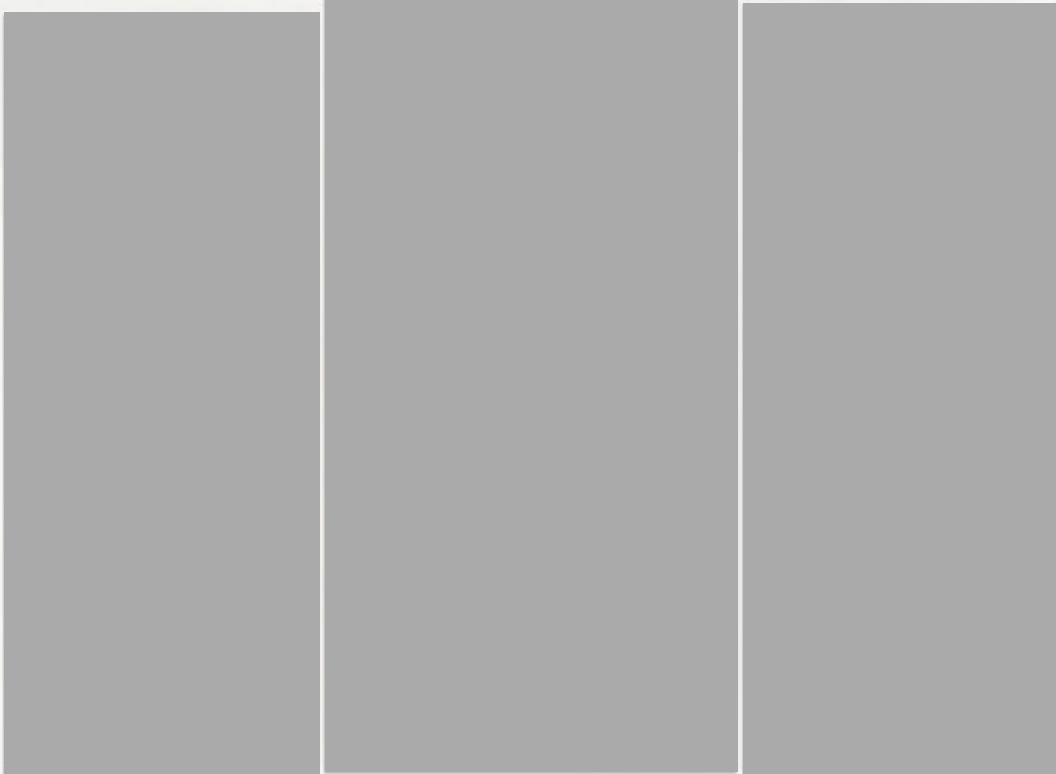


図 3~5 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」全図



図 8 東京国立博物館所蔵
「如意輪観音図」全図

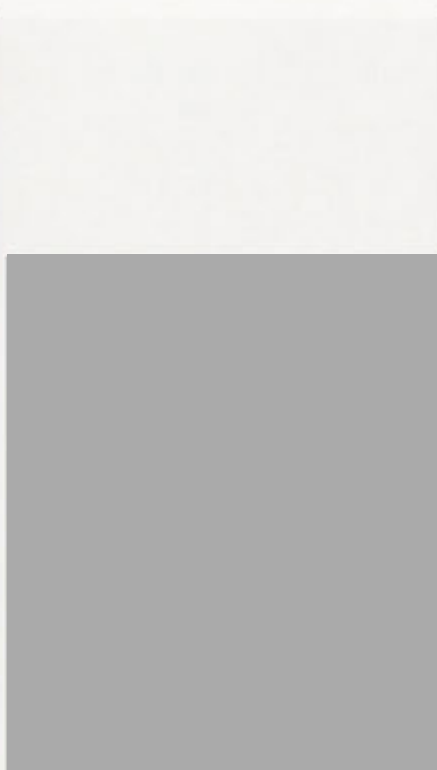


図 7 個人蔵「白鷺図」全図



図 6 建仁寺所蔵
「一六羅漢図」全図



図 10 本覚寺所蔵「仏涅槃図」全図



図 9 妙興寺所蔵「白衣観音図」全図



図 11 妙興寺所蔵「白衣観音図」賛



図 13 本覚寺所蔵
「仏涅槃図」款記



図 12 正木美術館所蔵「騎獅文殊図」賛

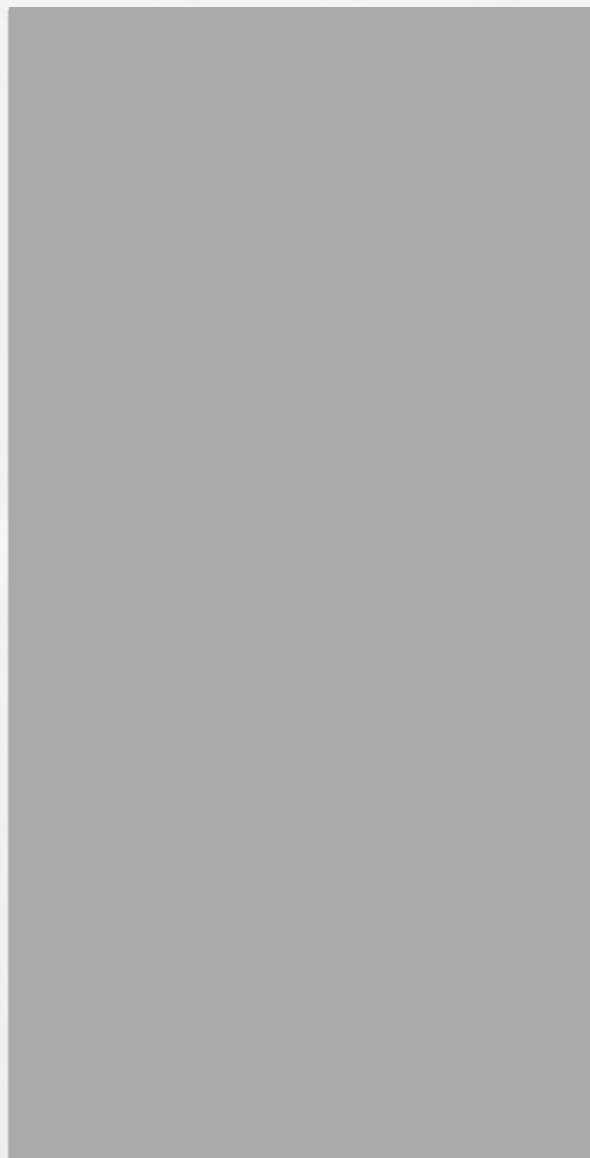


図 15 フリア美術館所蔵「一六羅漢図」全図

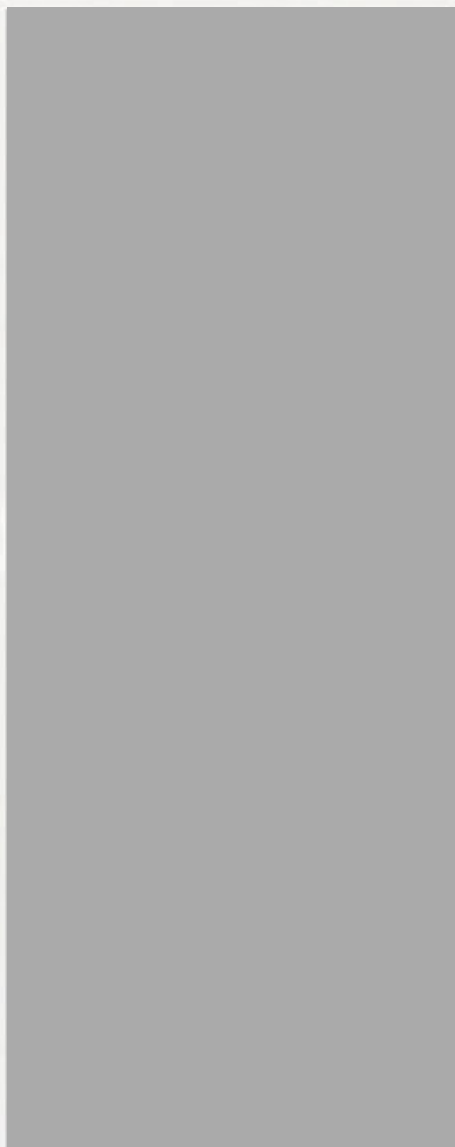


図 14 建仁寺所蔵「一六羅漢図」銘文

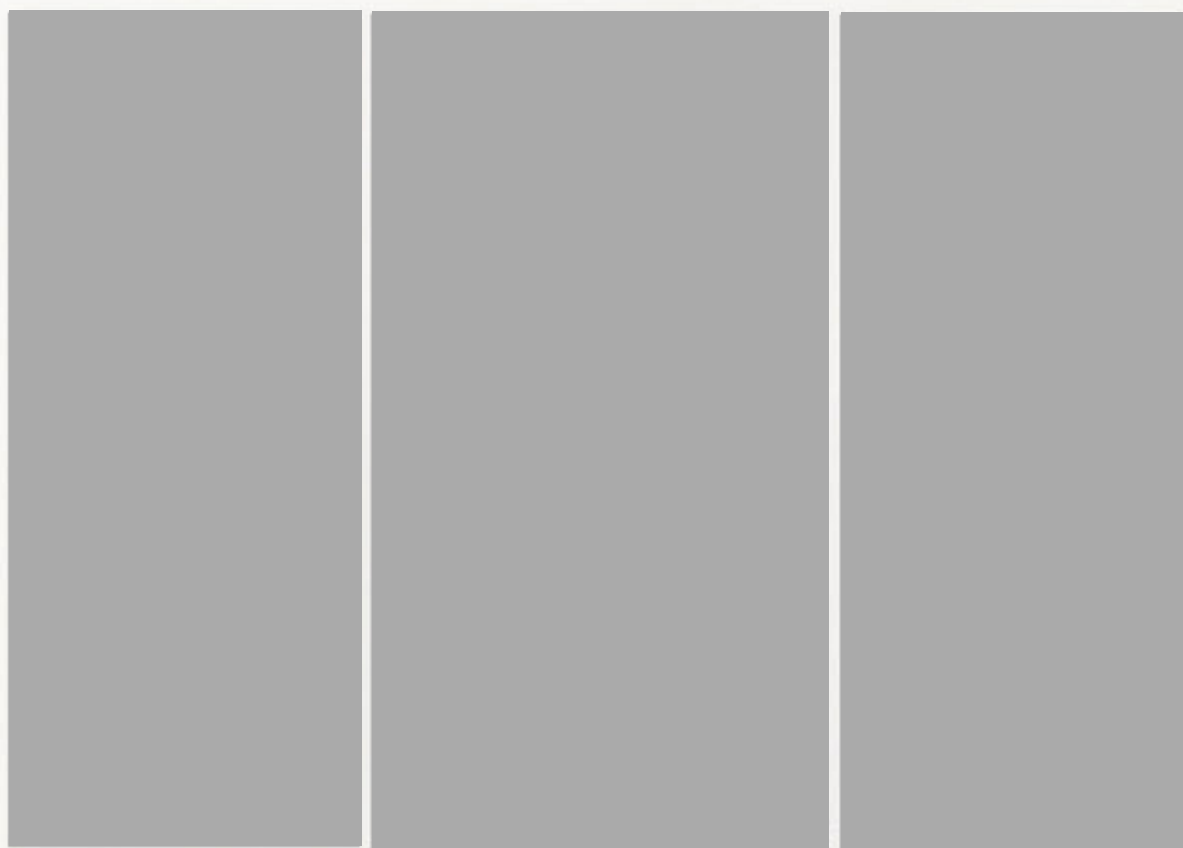


図 16~18 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」全図

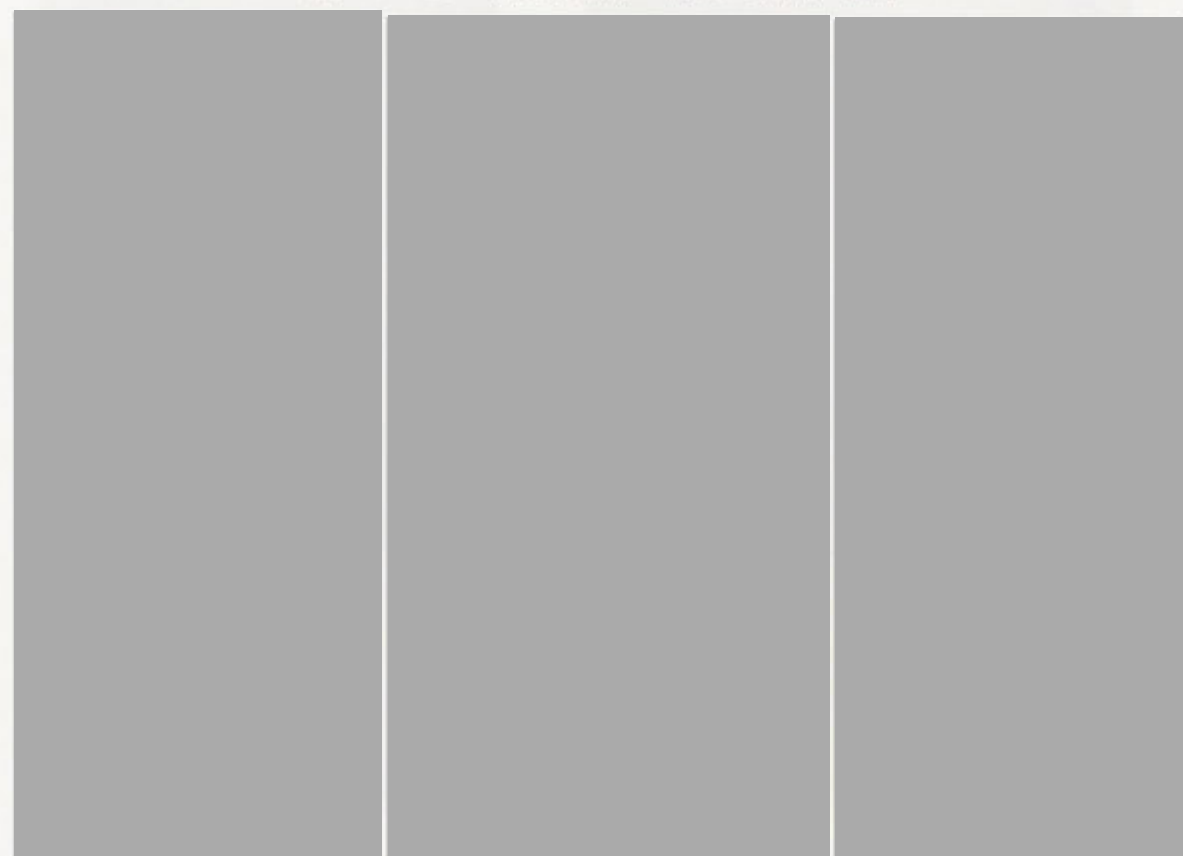


図 19~21 東福寺所蔵「釈迦三尊図」全図

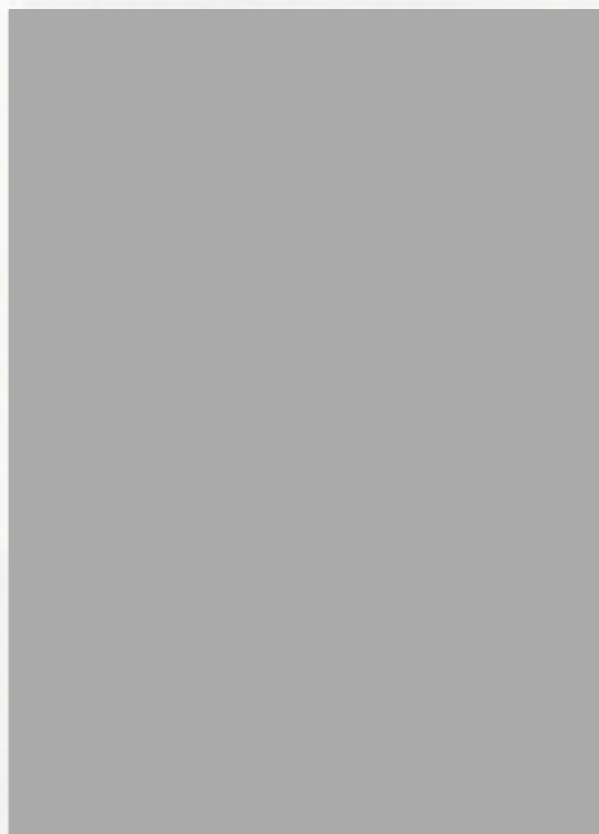


図 23 東福寺所蔵「三十三観音図」観音



図 22 妙興寺所蔵「白衣観音図」観音



図 24 京都国立博物館所蔵「探幽縮図」所載 弁財天像

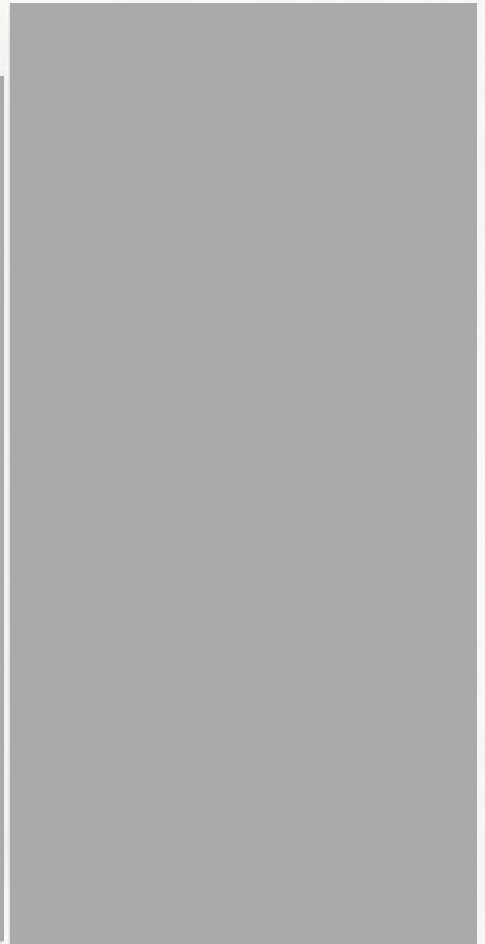


図 25～28 神奈川県立歴史博物館所蔵「釈迦三尊図」
全図（右上）、釈迦（左上）、文殊（右下）、普賢（左下）

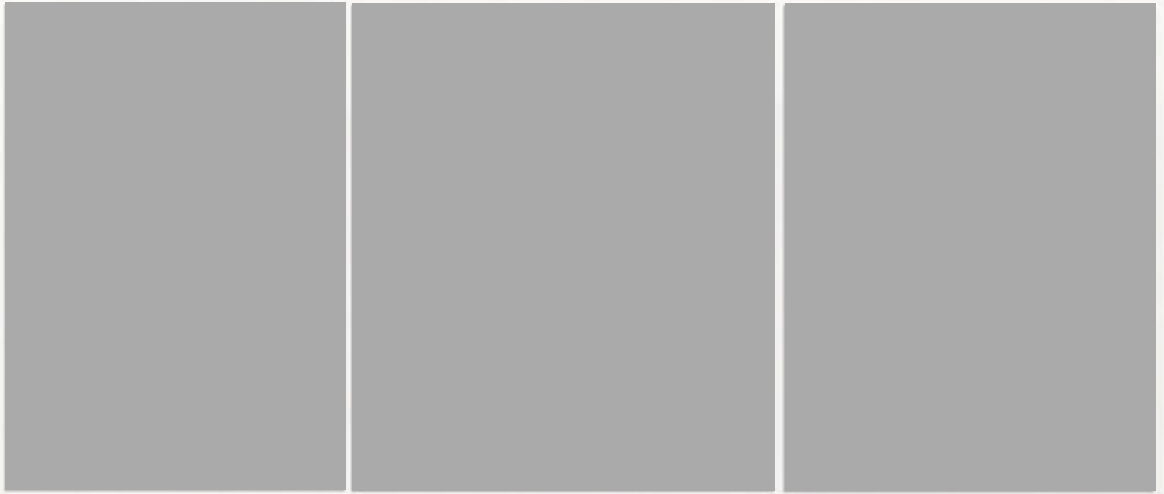


図 29～31 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊図」全図

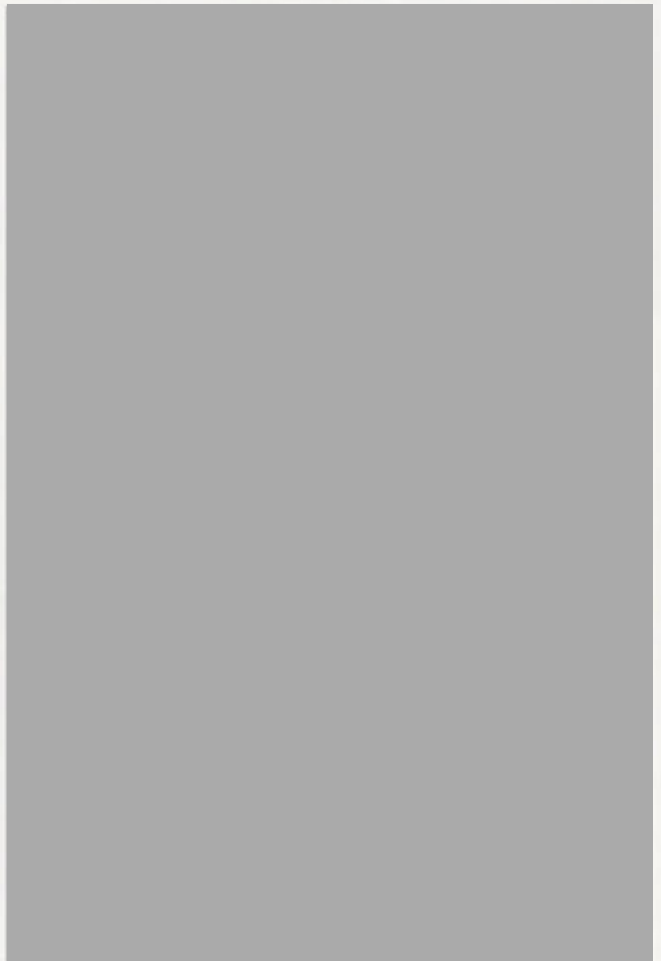


図 32～34 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」
釈迦（右）、文殊（左上）、普賢（右下）

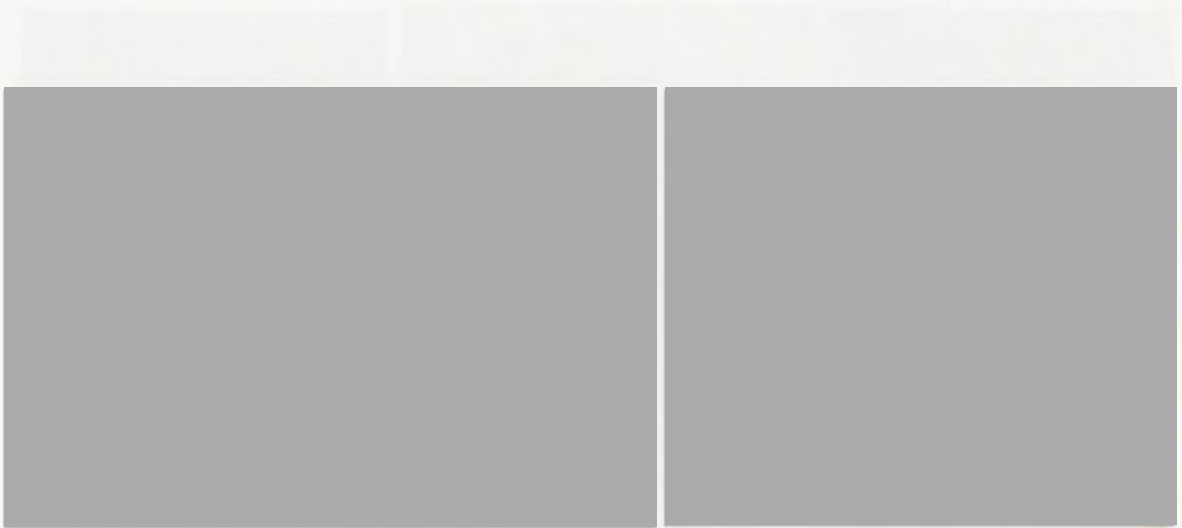


図 35、36 神奈川県立歴史博物館所蔵「釈迦三尊図」肉髻（右）、岩座（左）

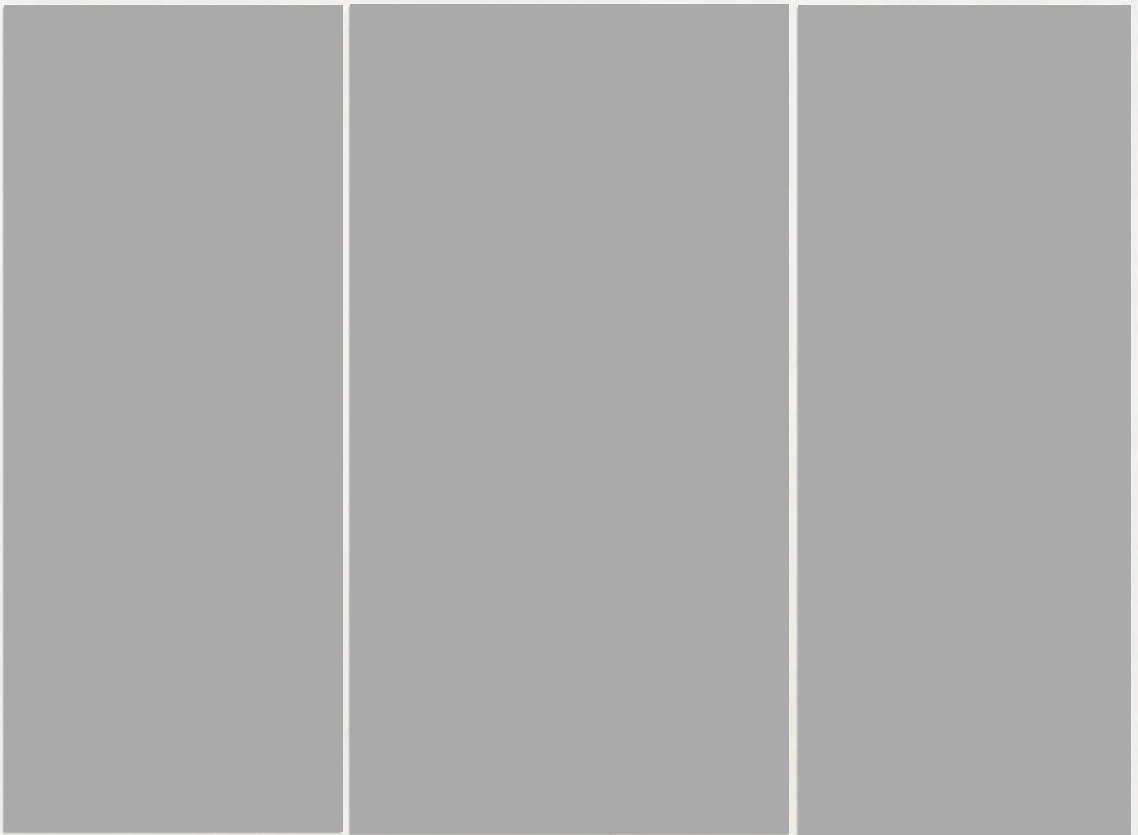


図 37～39 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」全図



図 40~42 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」款記 釈迦（右）、文殊（中央）、普賢（左）



図 44 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」釈迦

図 43 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」釈迦

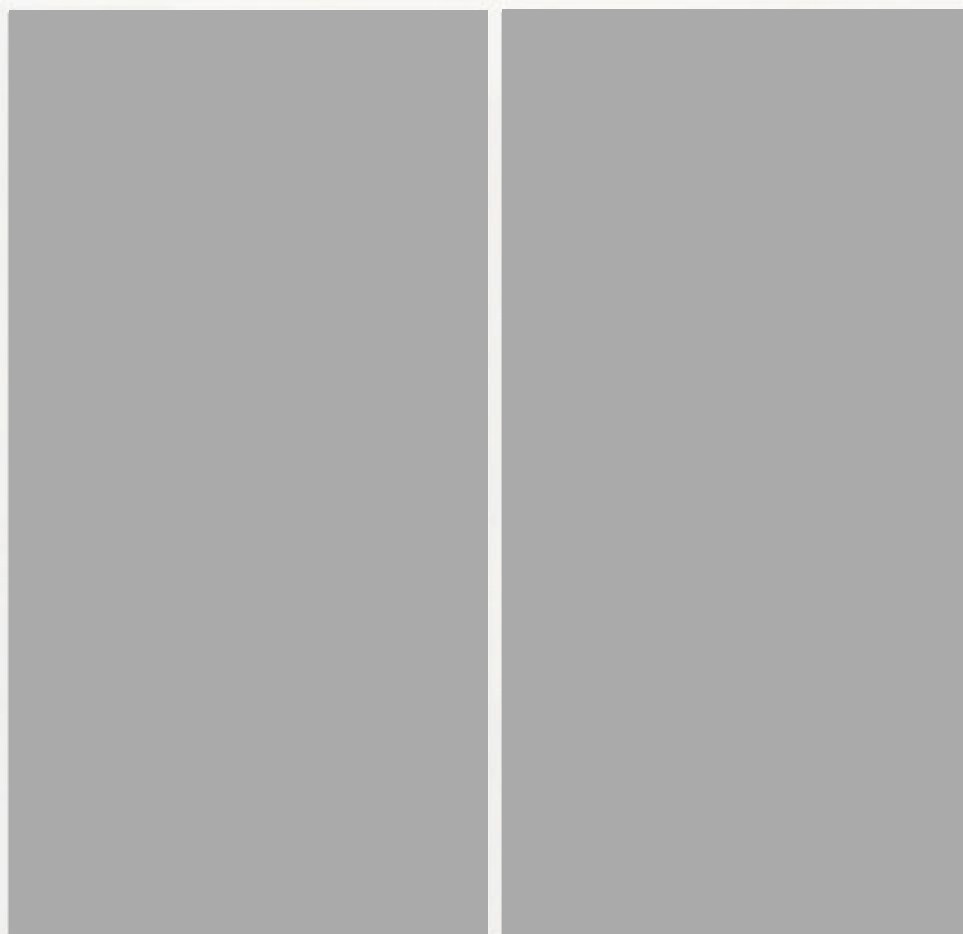


図 45、46 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」文殊（右）、普賢（左）

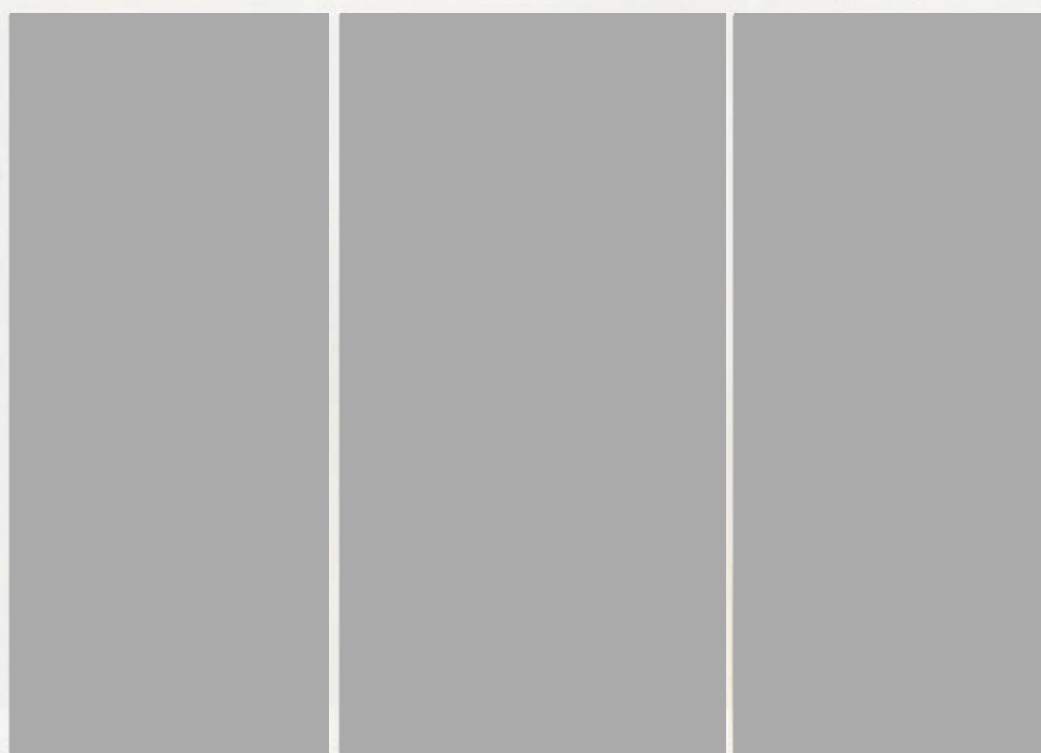


図 47～49 東福寺所蔵「釈迦三尊図」全図

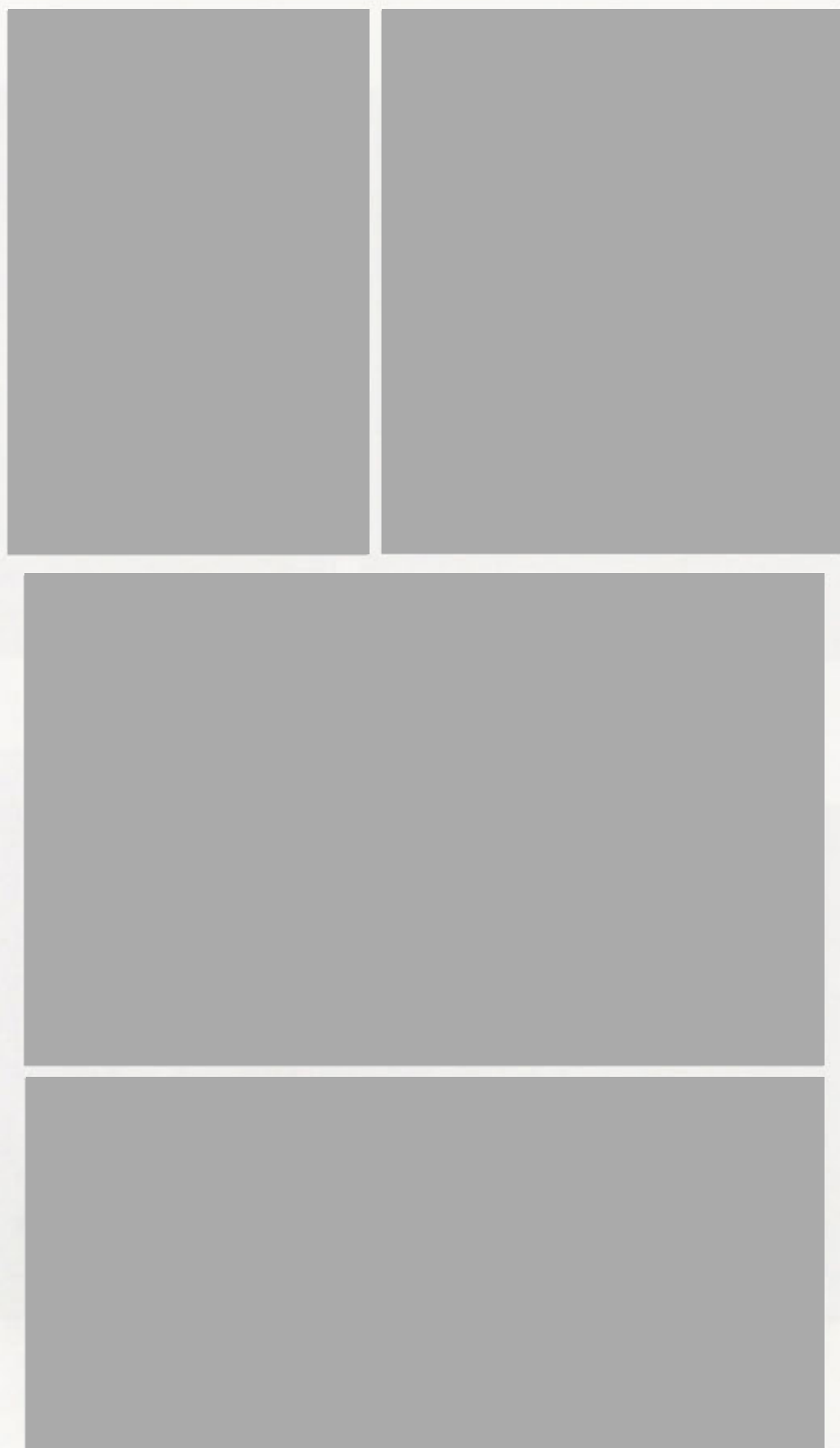


図 50~53 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」面相（右上）、手（左上）、衣文（中央）、岩座（下）

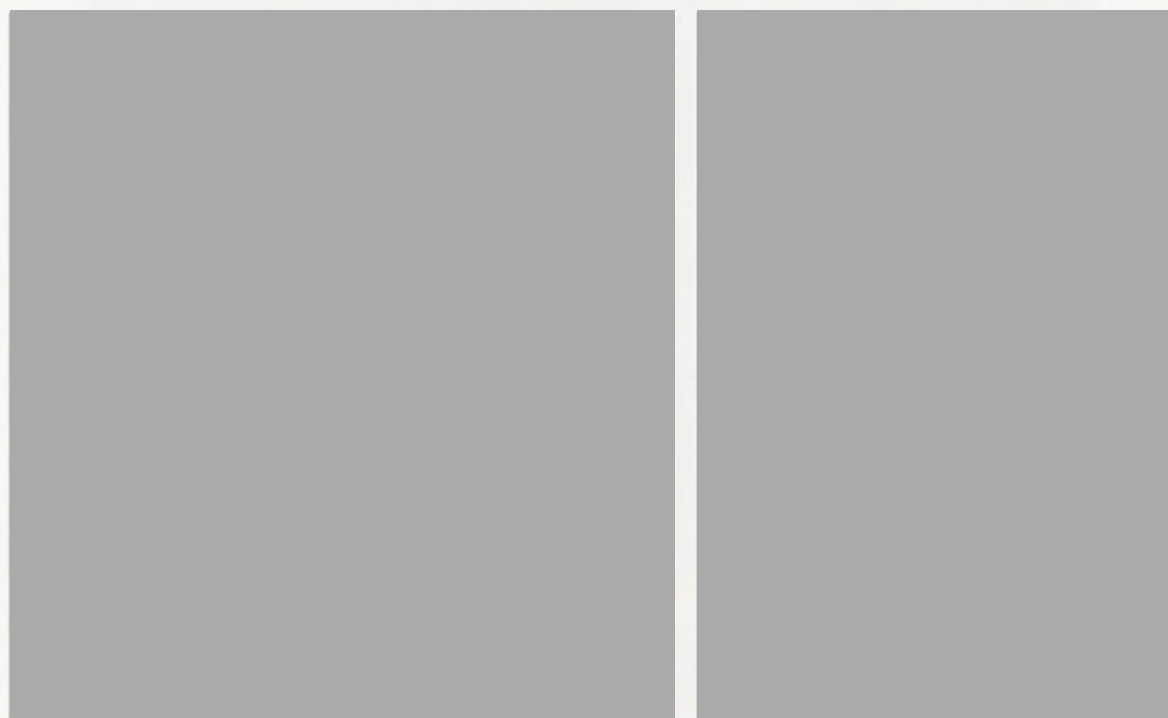


図 54、55 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」文殊面相（右）、胴体（左）

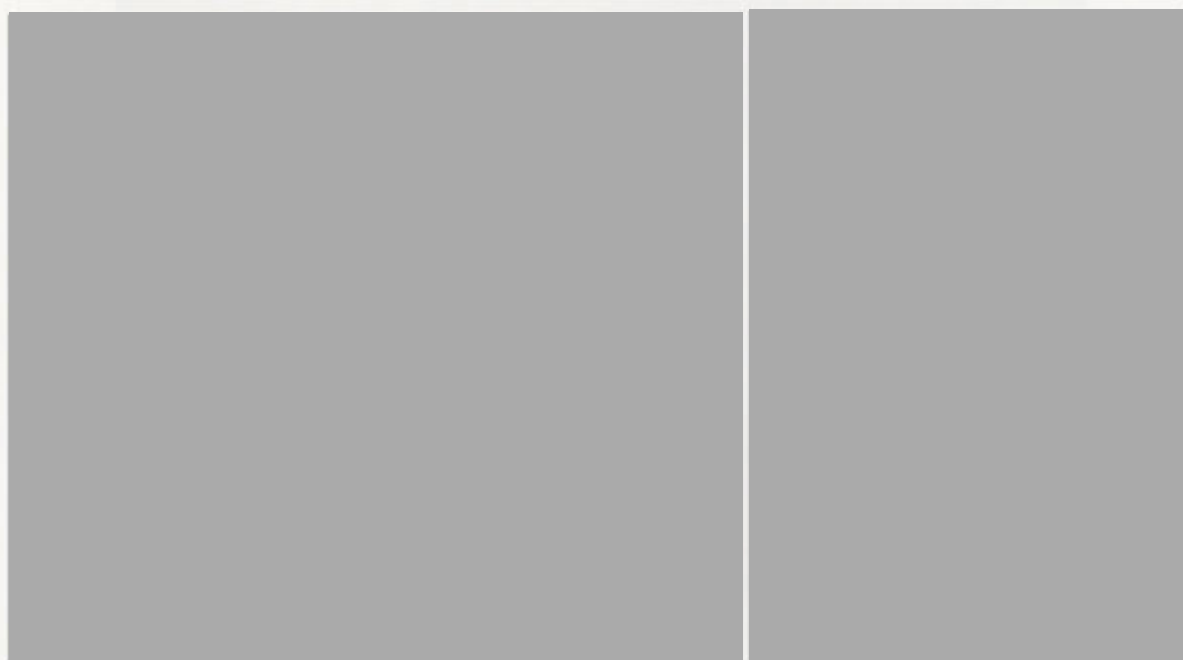


図 56、57 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」普賢面相（右）、胴体（左）



図 59 本覚寺所蔵「仏涅槃図」雲



図 58 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」雲

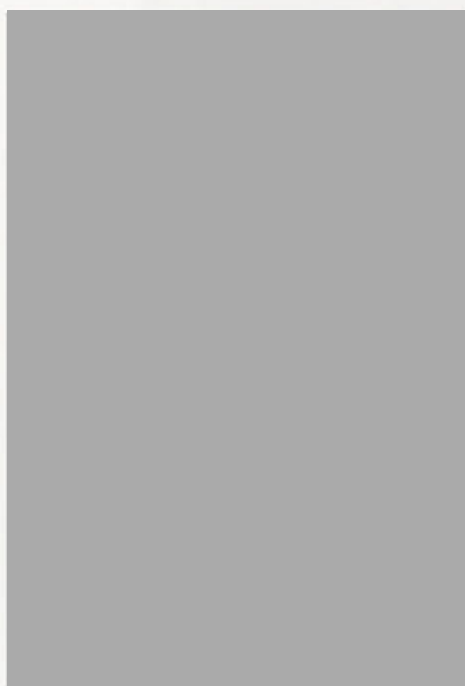


図 61 妙興寺所蔵「白衣観音図」岩



図 60 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」岩座



図 63 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」手



図 62 神奈川県歴史博所蔵「釈迦三尊図」手



図 65 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」衣



図 64 神奈川県歴史博所蔵「釈迦三尊図」衣

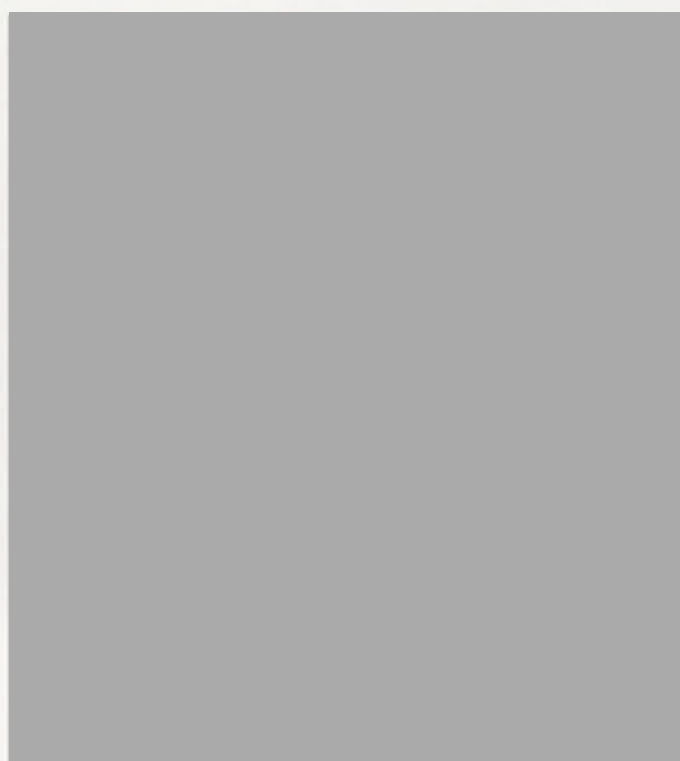


図 66 二尊院所蔵「釈迦三尊図」(元時代)衣



図 68 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」眼

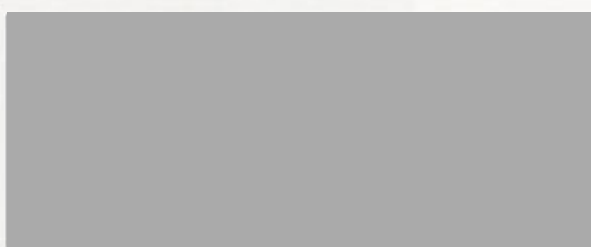


図 67 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」眼



図 69 京博所蔵「釈迦三尊図」眼



図 70 神奈川県歴博本（上 良詮）・清澄寺本（中央 良詮）、京博本（下 栄賀）の眼の形状比較
 ※眼の左右の端を揃え、瞳孔——、虹彩の範囲——、黒眼と白眼の境界——を以上の色線で表した。



図 71 神奈川県立歴史博物館所蔵「釈迦三尊図」文様



図 72 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」文様



図 73 東福寺所蔵「釈迦三尊図」文様



図 75 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」文様

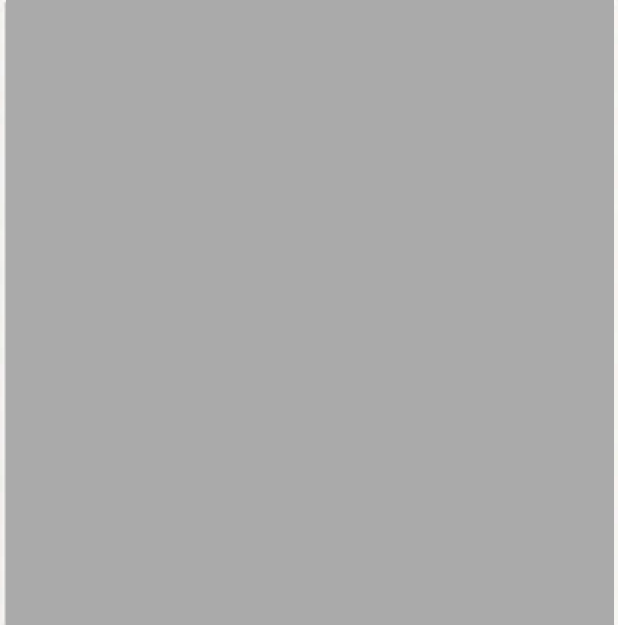


図 74 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」文様



図 77 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」文様



図 76 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」文様

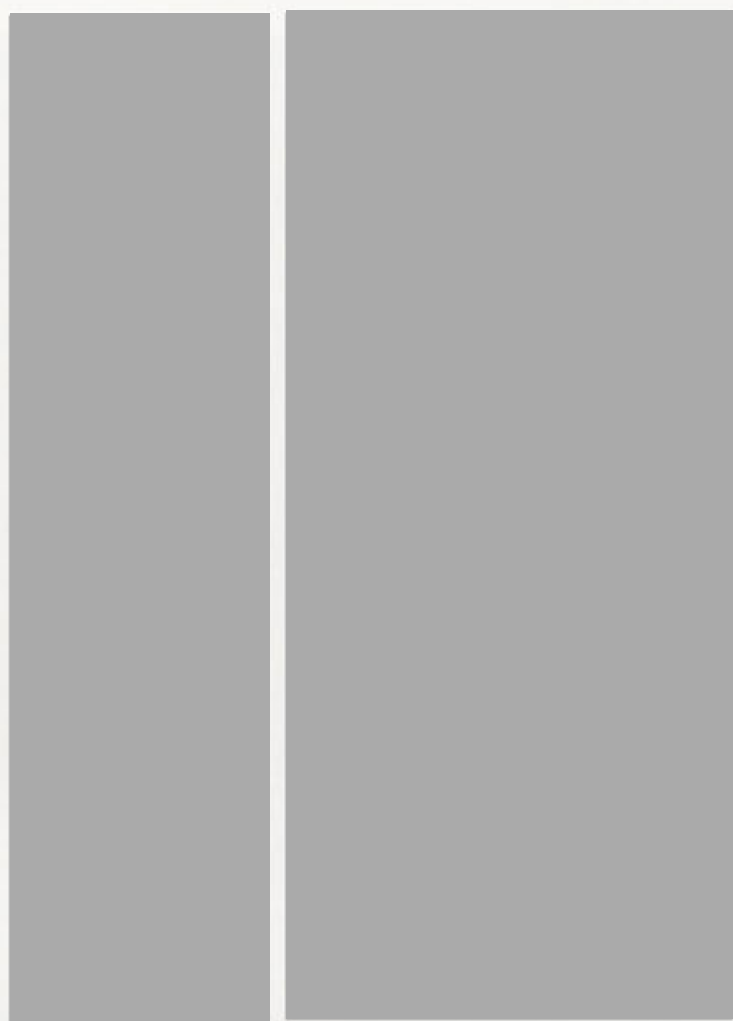


図 79~81 個人藏「達磨図」

(右上) 全図

(左上) 外箱蓋表

(右下、左下) 箱木口



図 83 相国寺所蔵「達磨像」全図



図 82 個人蔵「達磨図」



図 84、85 個人蔵「達磨図」(右)面相、(左)衣文



図 86 個人蔵「達磨図」岩座



図 87 京都国立博物館所蔵「探幽縮図」所載 達磨像



図 89 神奈川県歴史博所蔵「釈迦三尊図」僧祇支



図 88 個人蔵「達磨図」僧祇支



図 91 京博所蔵「釈迦三尊図」僧祇支



図 90 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」僧祇支



図 92 個人蔵「達磨図」文様



図 94 本覚寺所蔵「仏涅槃図」文様



図 93 神奈川県歴博所蔵「釈迦三尊図」文様

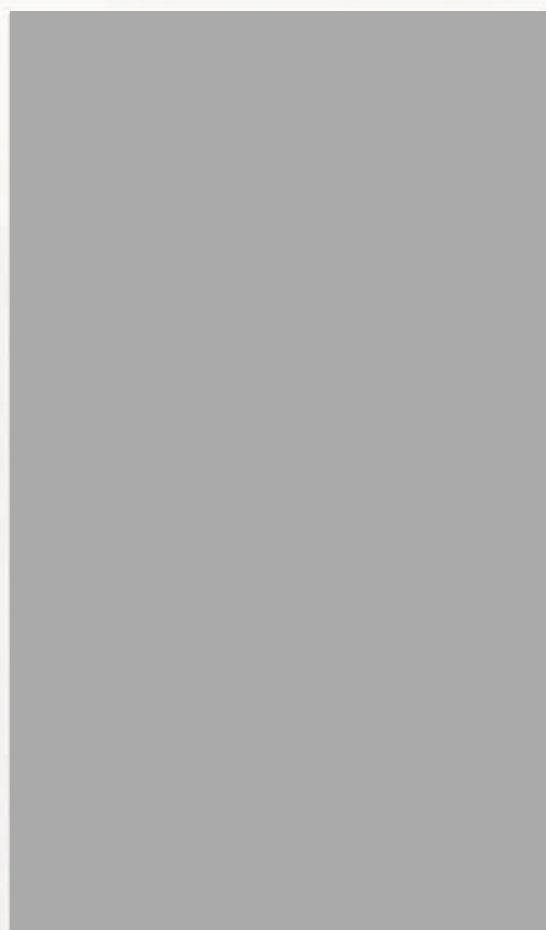


図 2 某家壳立出品「地藏尊」

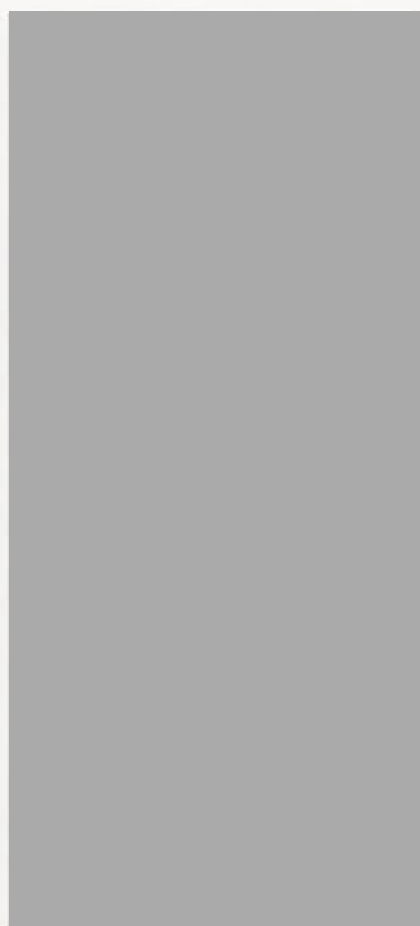


図 1 個人藏「羅漢図」全図



図 4 高橋男爵家壳立出品「金剛界大日如来」

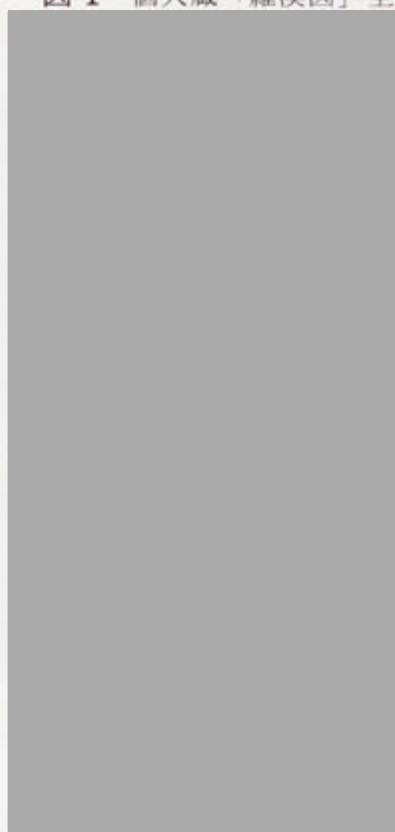


図 3 萩原家・某家壳立出品「十六善神図」

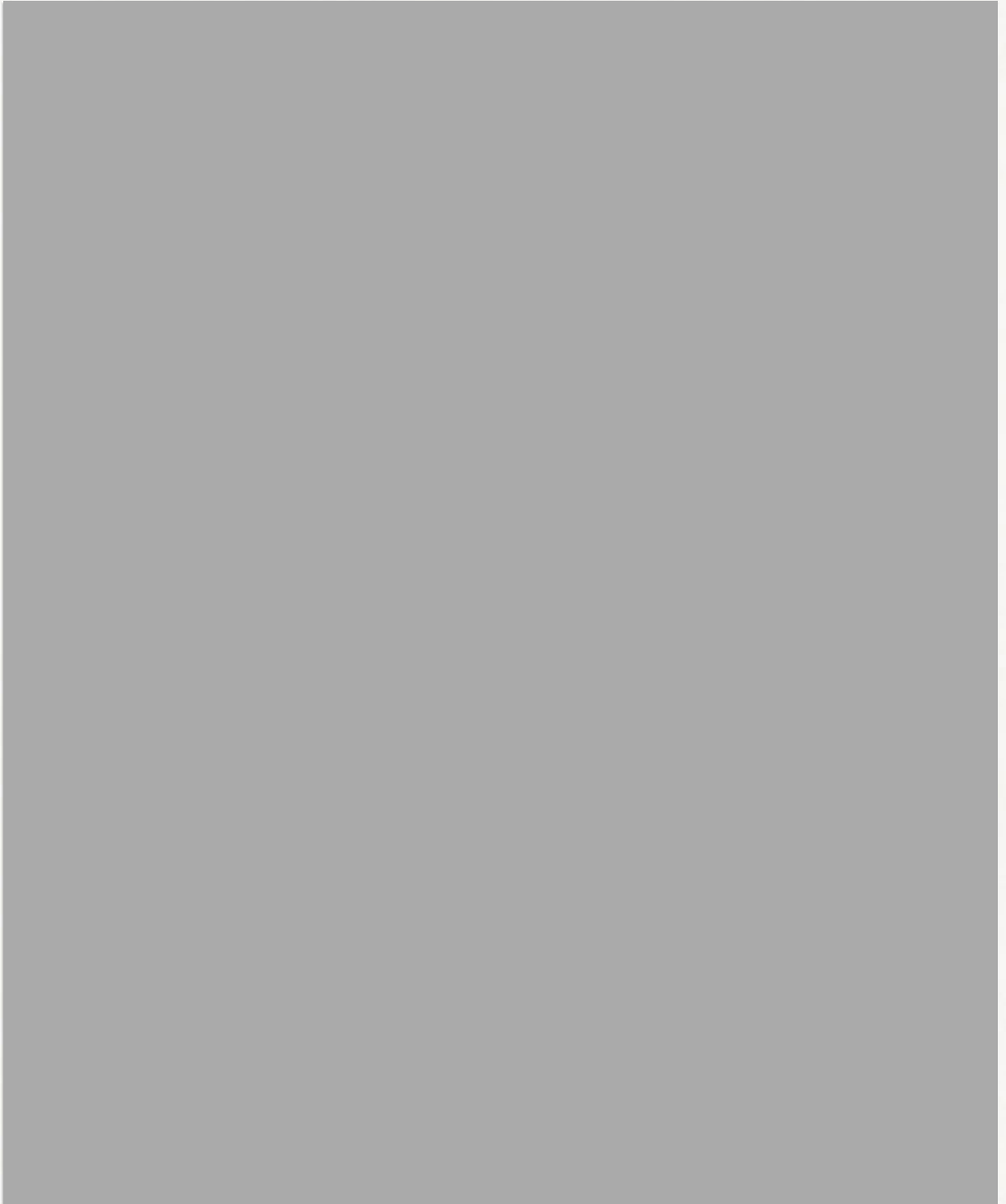


図 1 正法寺所蔵「仏涅槃図」全図

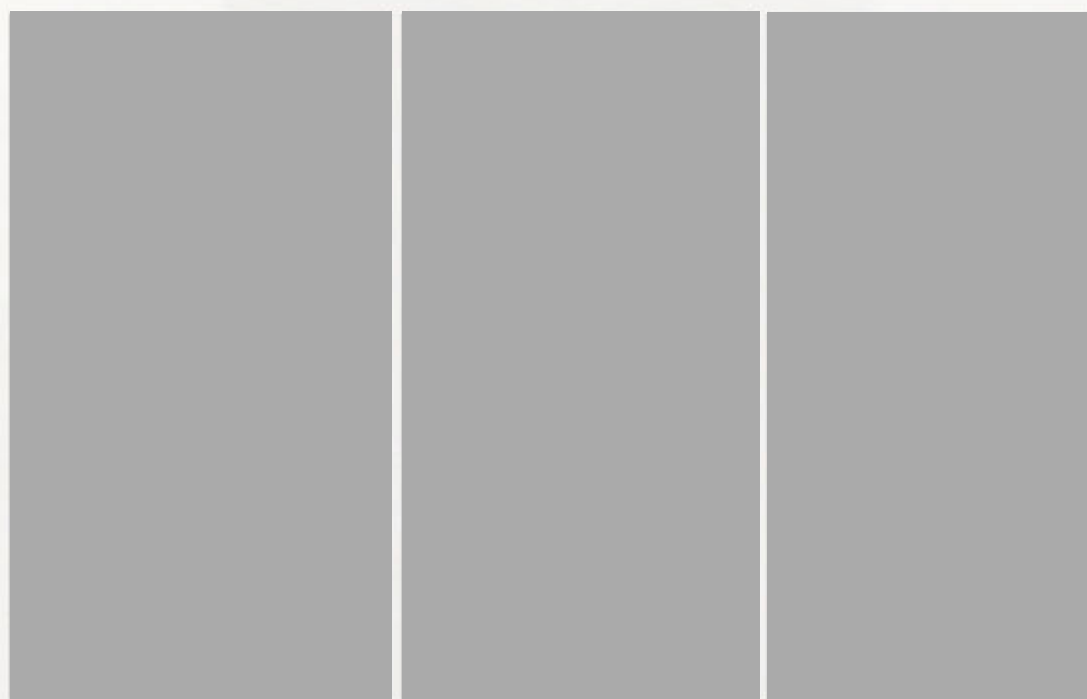


図 2~4 正法寺所蔵「仏涅槃図」銘文



図 5 正法寺所蔵「仏涅槃図」款記痕跡

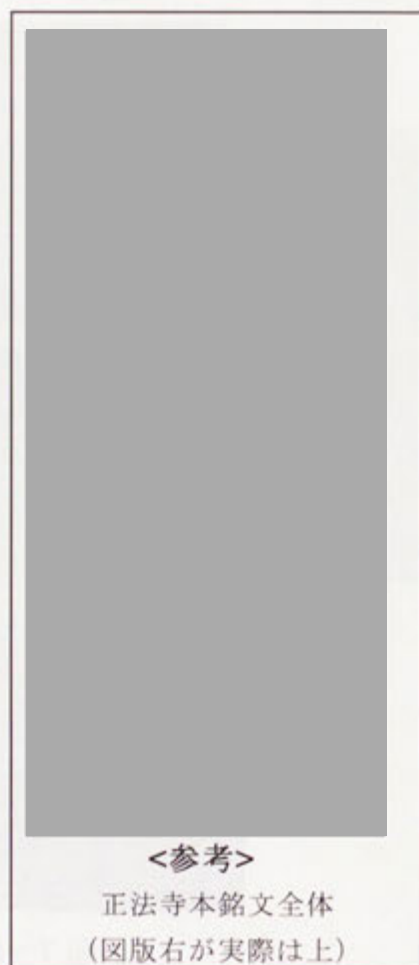




図 6 ケルン市東洋美術館所蔵「仏涅槃図」全図



図 7～8 正法寺所蔵「仏涅槃図」釈迦



圖 9~10 正法寺所藏「仏涅槃図」菩薩（右）、群衆（左）



圖 11~13 正法寺所藏「仏涅槃図」群衆



図 14~15 正法寺所蔵「仏涅槃図」沙羅双樹

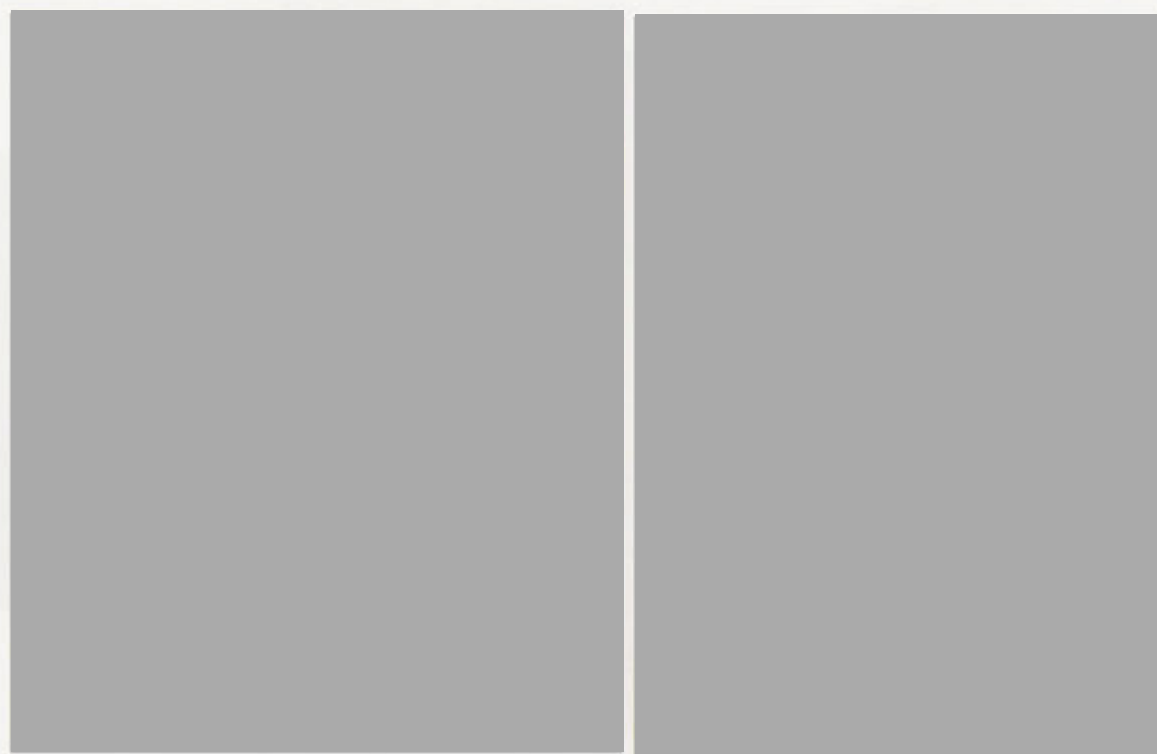


図 17 正法寺所蔵「仏涅槃図」全図

図 16 大樹寺所蔵「仏涅槃図」全図



図 19 大樹寺所蔵「仏涅槃図」異形



図 18 正法寺所蔵「仏涅槃図」異形



図 21 フリア美所蔵「二童子像」制吒迦の足



図 20 ケルン市東洋美所蔵「仏涅槃図」異形



図 23 大樹寺所蔵「仏涅槃図」鉢多羅囊



図 22 正法寺所蔵「仏涅槃図」鉢多羅囊

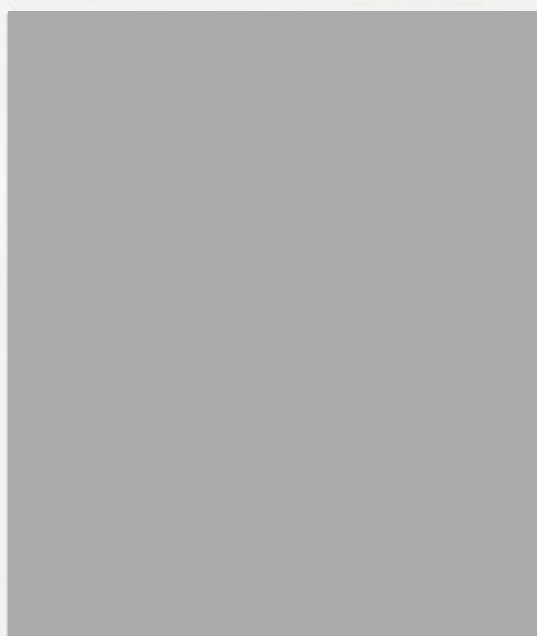
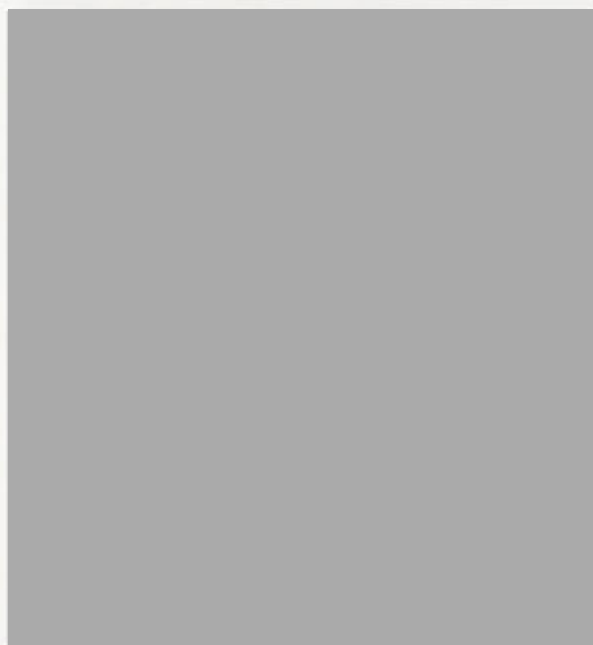


図 24 (右上)
正法寺所蔵「仏涅槃図」、文様

図 25 (左上)
京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」文様

図 26 (左下)
大樹寺所蔵「仏涅槃図」文様



図 28 京博所蔵
「釈迦三尊・羅漢図」文様



図 27 正法寺所蔵「仏涅槃図」文様



図 30 静嘉堂所蔵「不動明王二童子像」文様

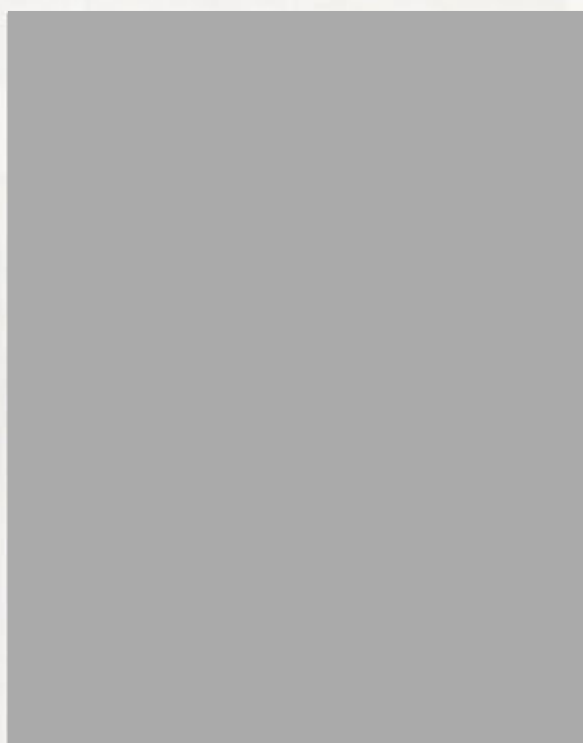


図 29 正法寺所蔵「仏涅槃図」文様



図 31 伊勢を流れる雲出川 画像右が北、左が南を指す



図 32～33 智願寺所蔵「宝篋印塔」(右)、「北畠房兼寄進状」(左)

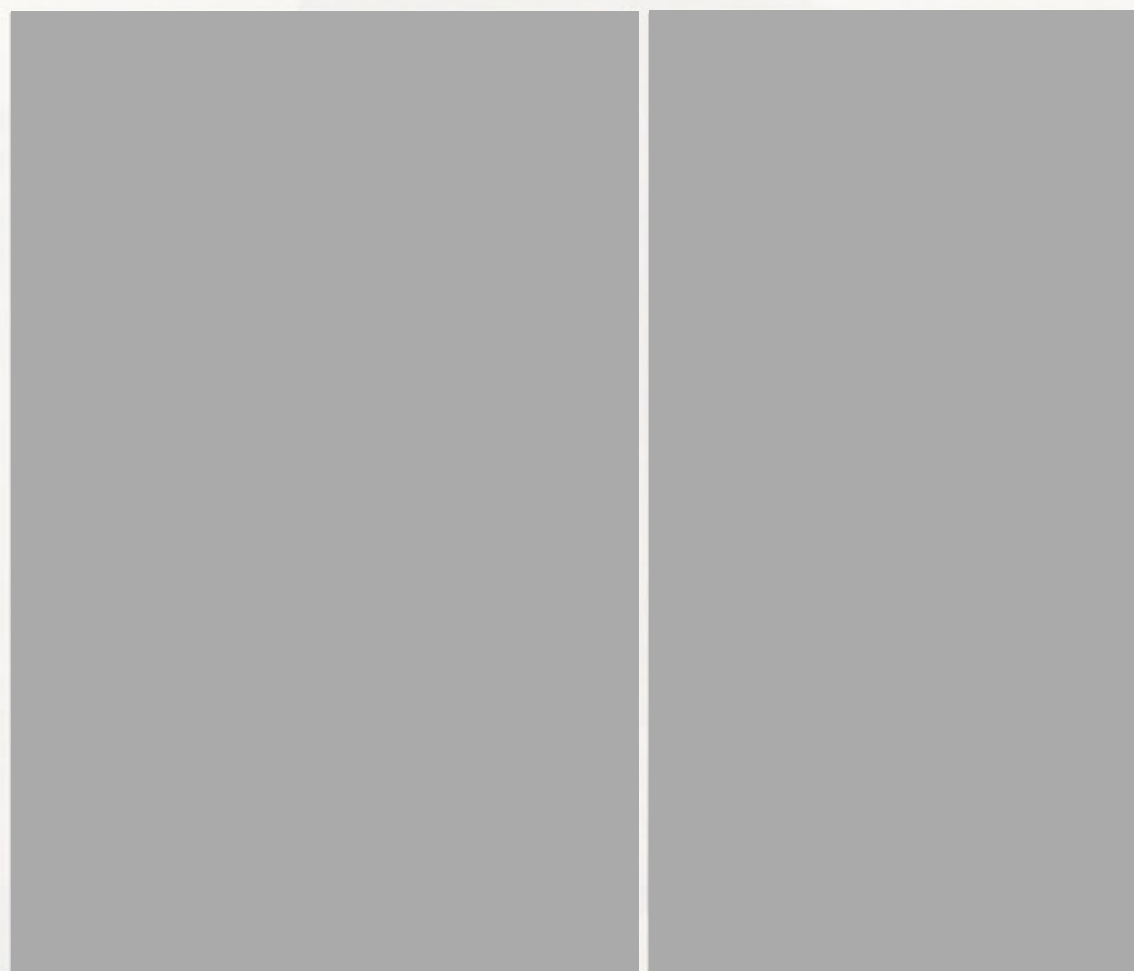


図 33～35 智禪寺所藏「阿彌陀來迎図」全図（右上）、阿彌陀（左上）、菩薩（下）

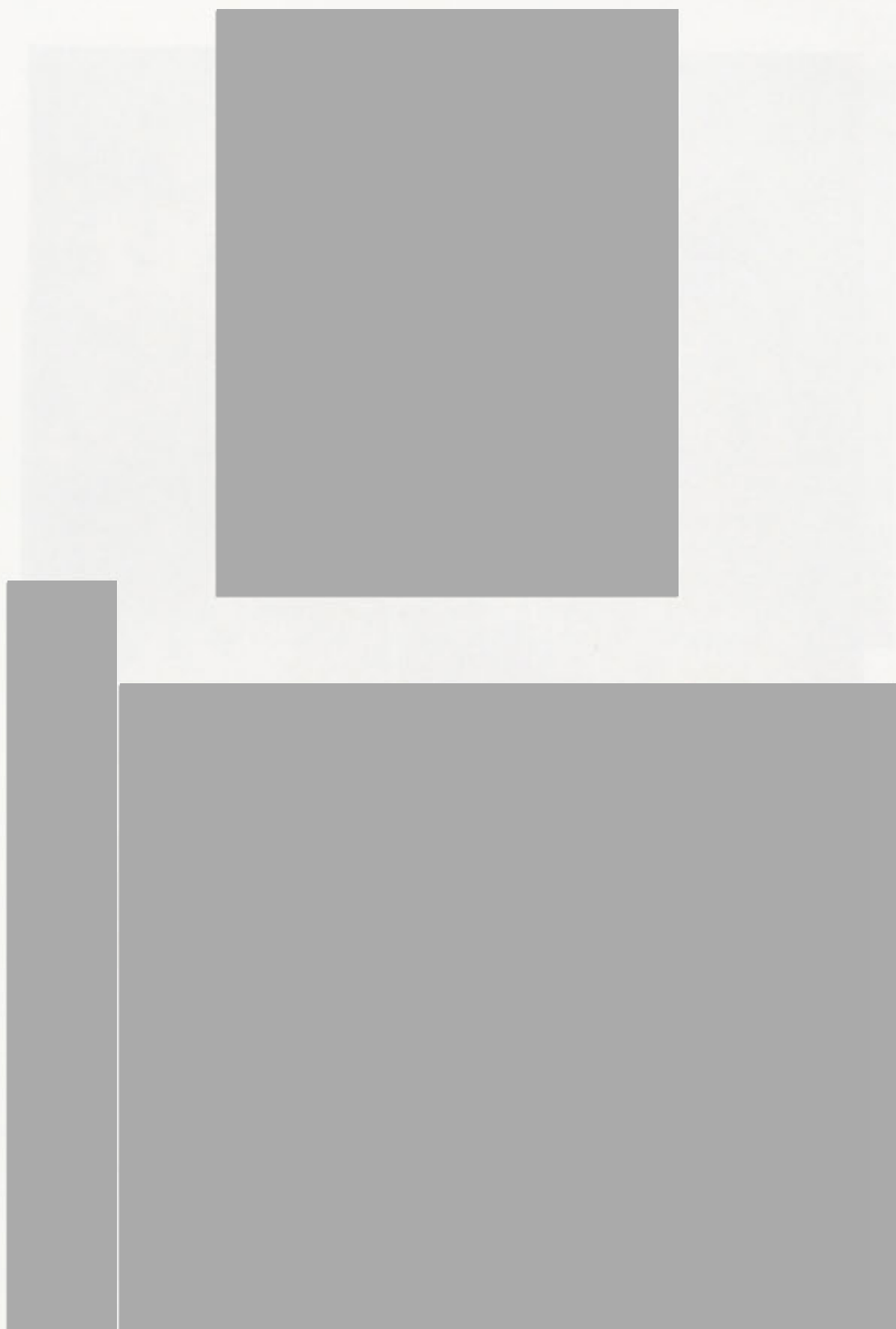


図 37~38 智禪寺所藏『奉為上候御書附』



図 39~40 十念寺所蔵「仏涅槃図」全図（右）、銘文（左）



図 41 十念寺所蔵「仏涅槃図」釈迦



図 42～43 十念寺所藏「仏涅槃図」釈迦面相（右）、菩薩（左）



図 44～45 十念寺所藏「仏涅槃図」群衆（右）、沙羅双樹（左）



図 46 十念寺所藏「仏涅槃図」雲



図 47 本覚寺所藏「仏涅槃図」雲



圖 48 十念寺所藏「仏涅槃図」眉毛



圖 50 大藏經寺所藏「仏涅槃図」眉毛



圖 49 高成寺所藏「仏涅槃図」眉毛

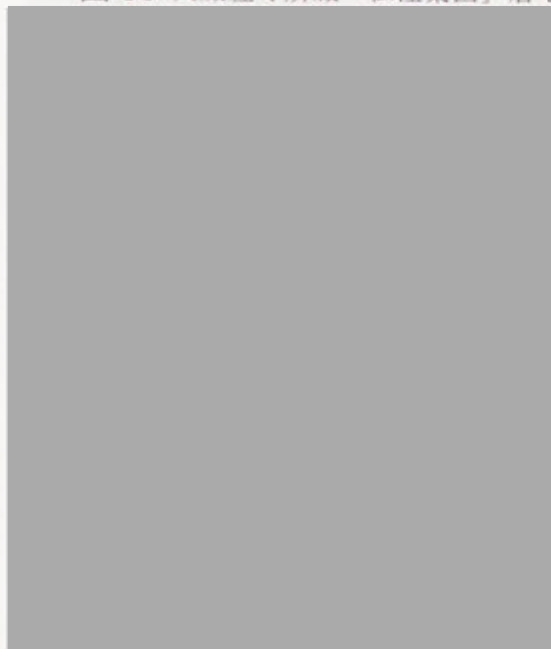


圖 52 静嘉堂所藏「不動明王二童子像」眉毛



圖 51 正法寺所藏「仏涅槃図」眉毛



図 54 正法寺所蔵「仏涅槃図」群衆



図 53 十念寺所蔵「仏涅槃図」群衆

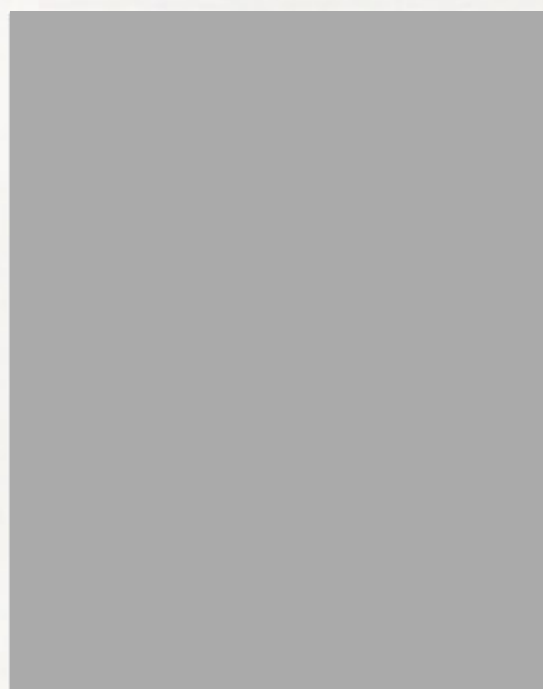


図 56 正法寺所蔵「仏涅槃図」文様



図 55 十念寺所蔵「仏涅槃図」文様



圖 1 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」全圖

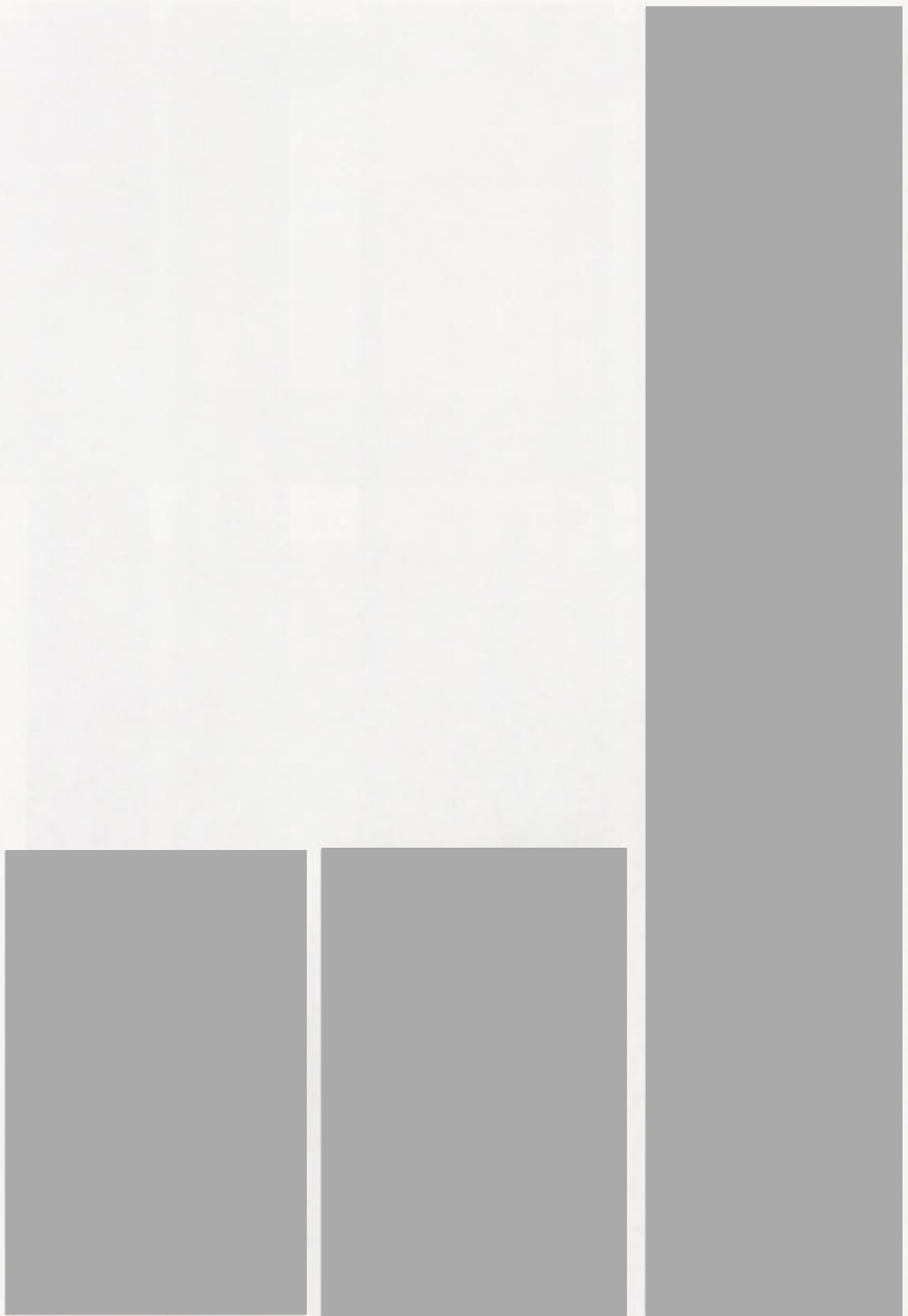


図 2~4 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」銘文

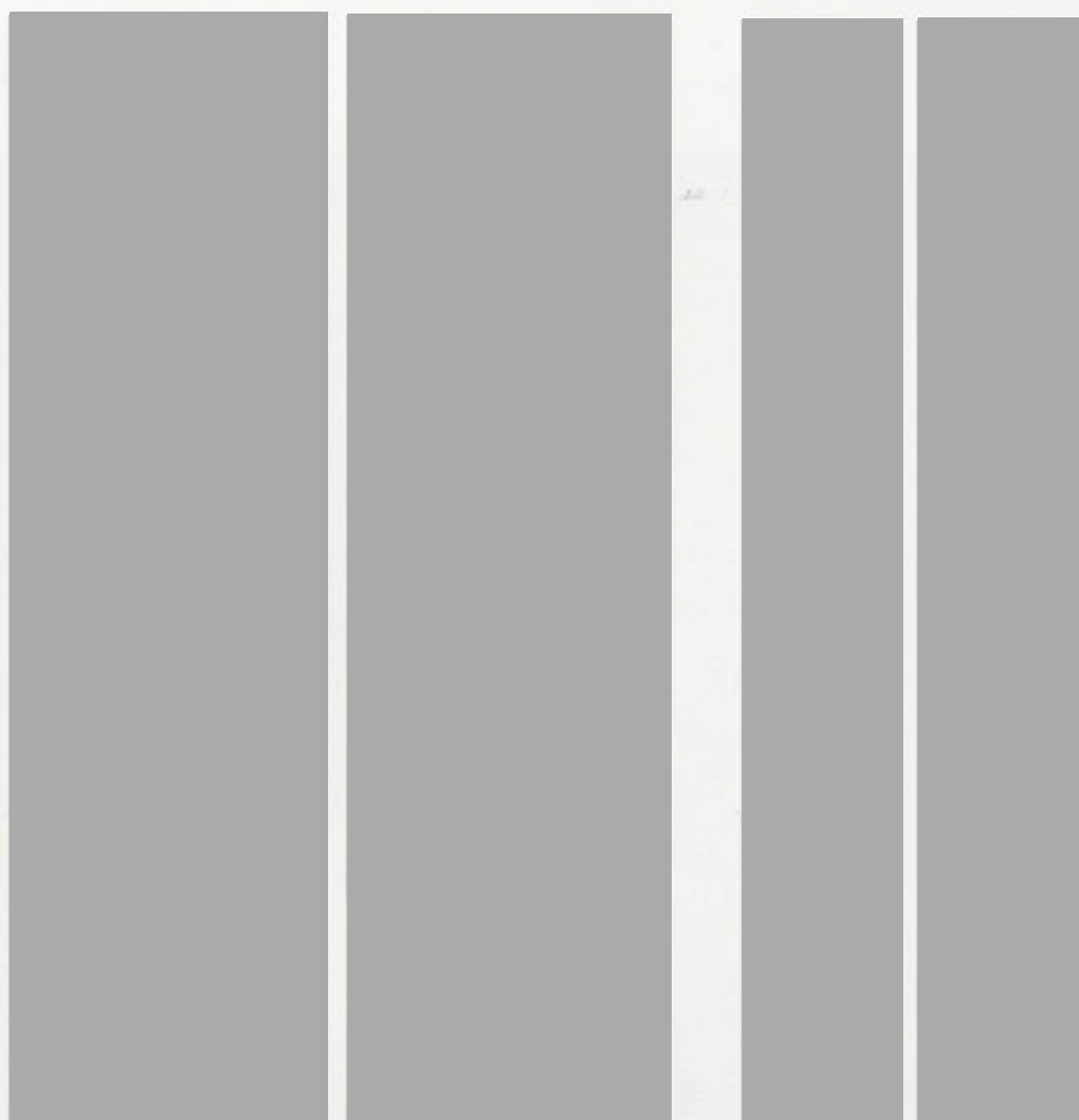


図 5~8 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」箱書



図 10 正法寺所蔵「仏涅槃図」款記痕跡



図 9 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」箱書



圖 11 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」鑑定書



圖 12 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」全圖



圖 13~16 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」

大威德 (右上)、地藏 (左上)、午神 (右下)、流水 (左下)

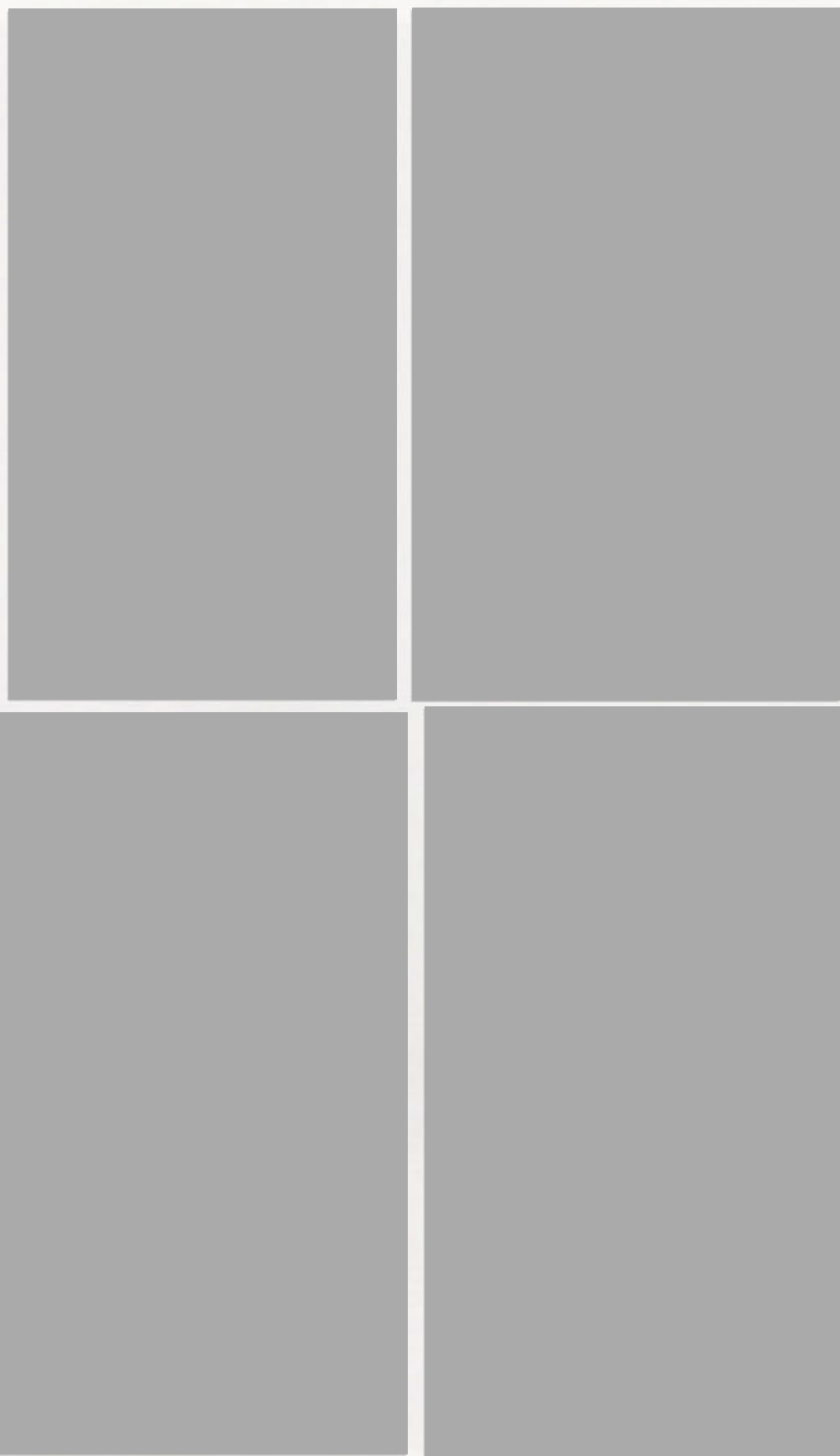


圖 17~20 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」四大明王

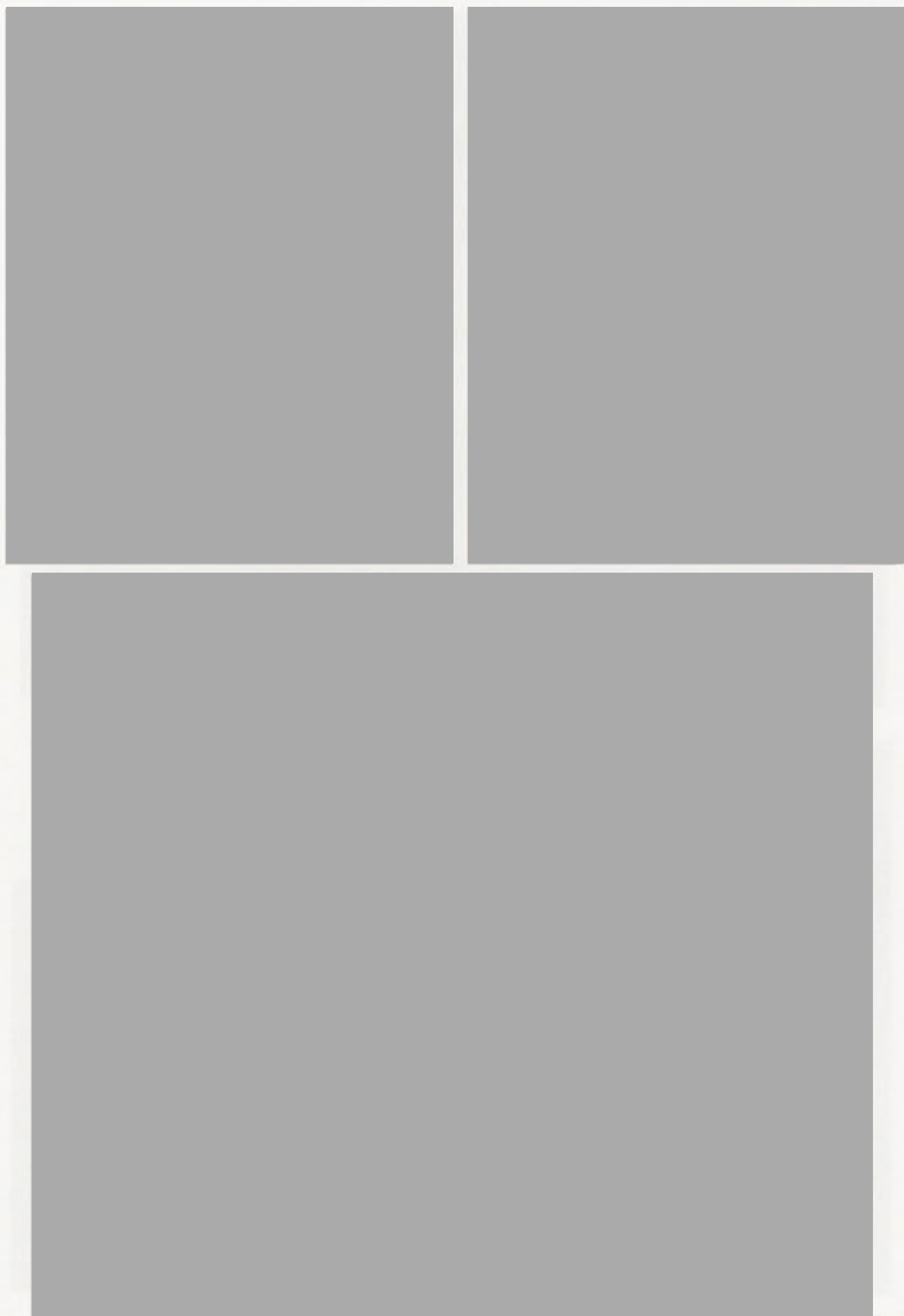


圖 21~23 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」童子（右上）、大威德（左上、下）

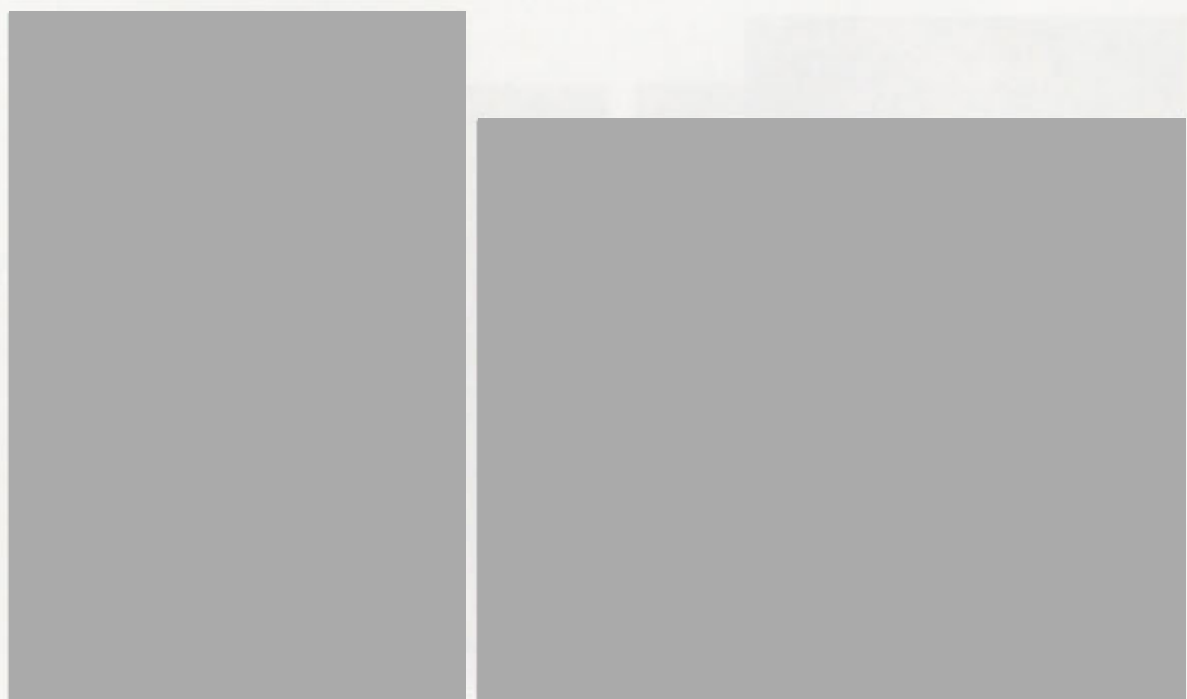
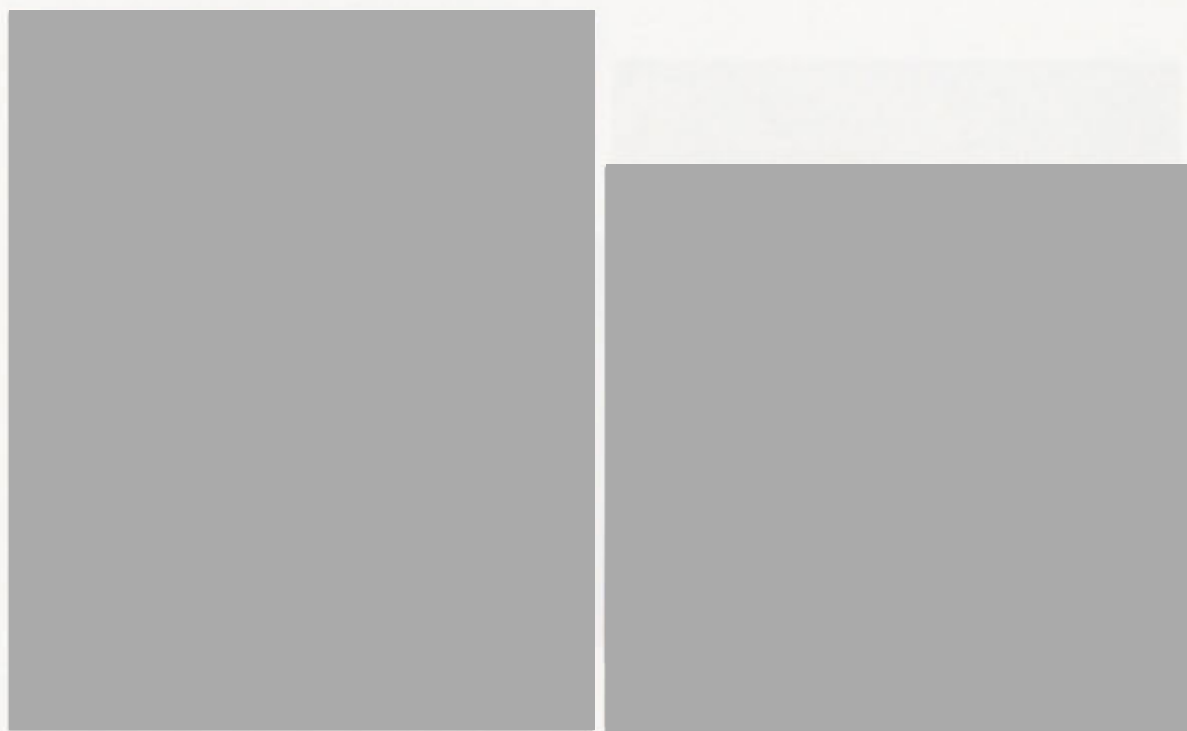


図 24~27 個人藏「大威徳転法輪曼荼羅」
手（右上）、足（左上）、条帛（右下）、裳（左下）

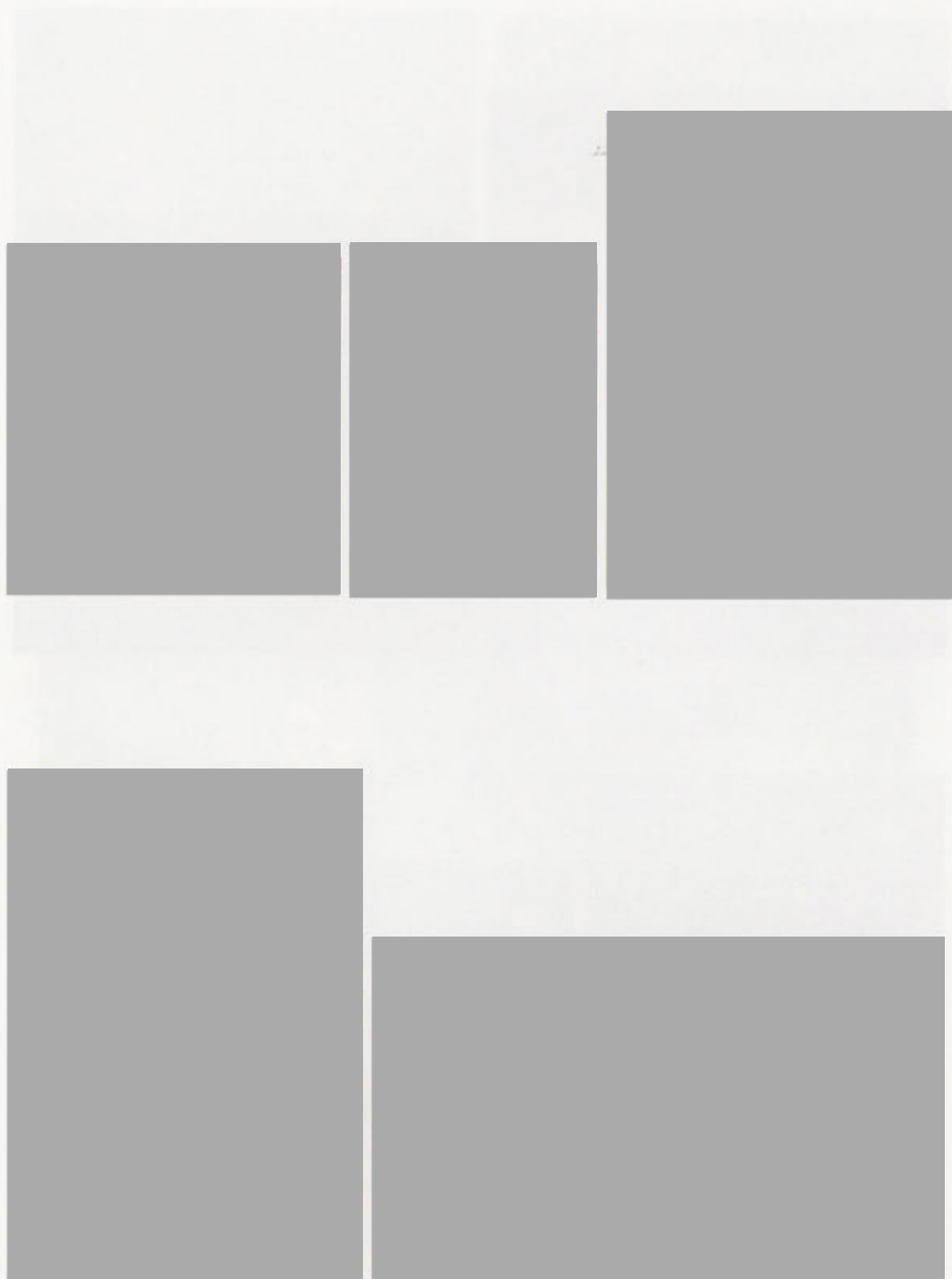


圖 28~32 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」

虎皮 (右上)、持物 (中上)、迦樓羅 (左上)、水牛 (右下)、鞍 (左下)

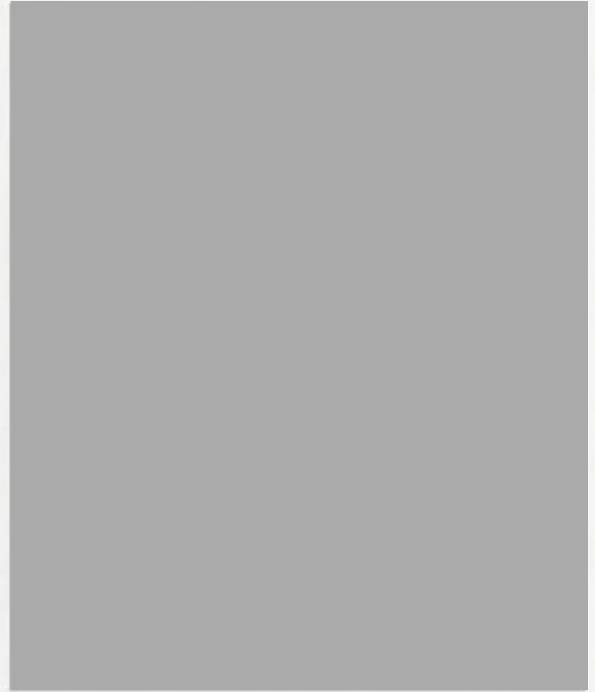


図 33～34 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」辰神

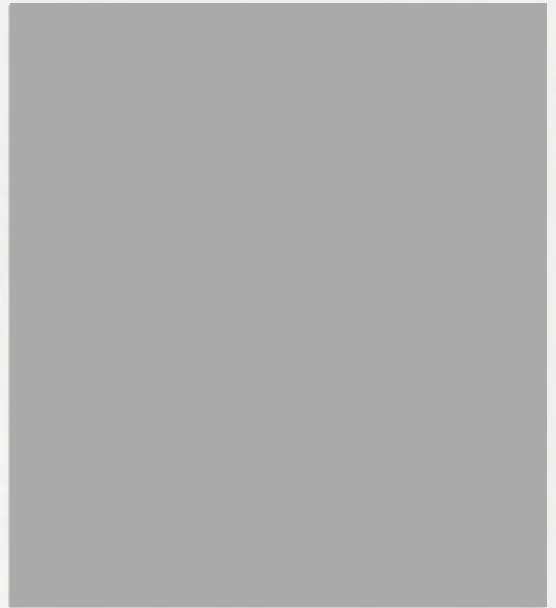


図 36 静嘉堂文庫美術館所蔵「摩尼宝珠図」龍

図 35 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」龍

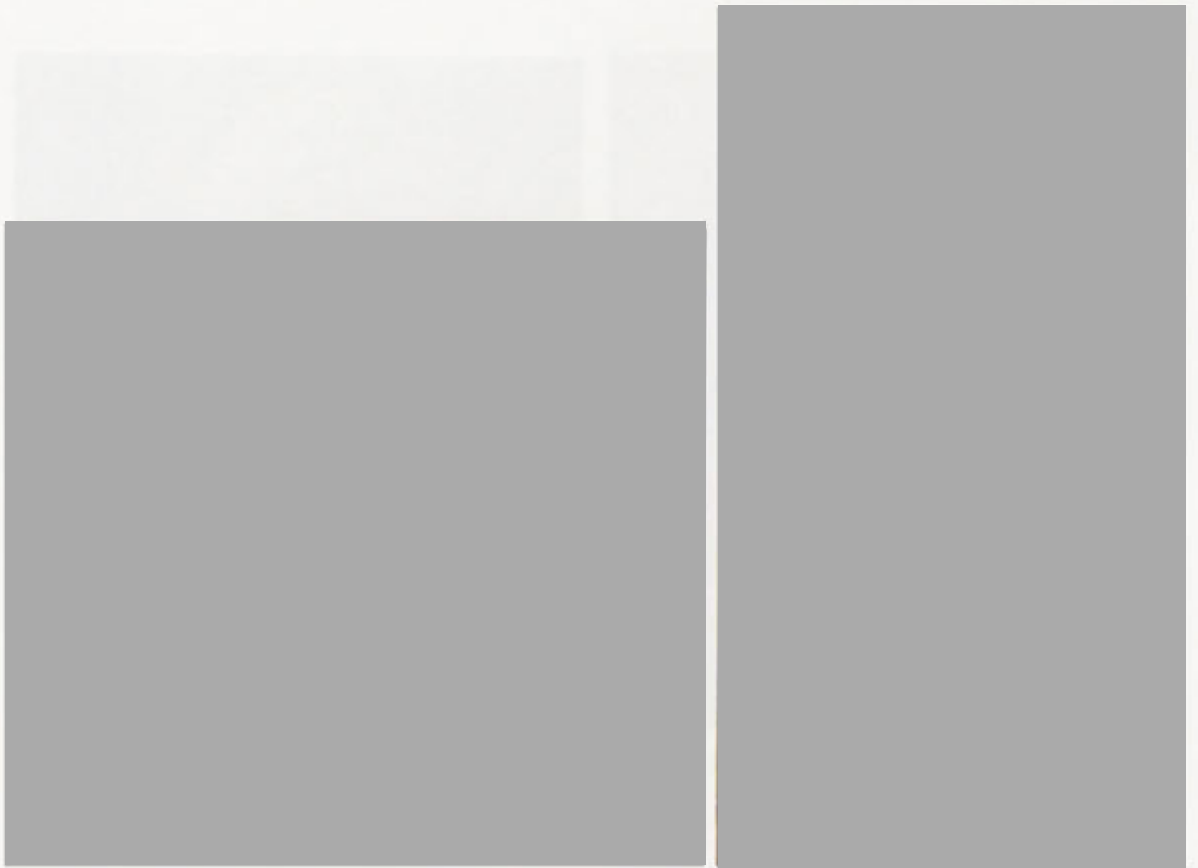


圖 37~38 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」金剛夜叉

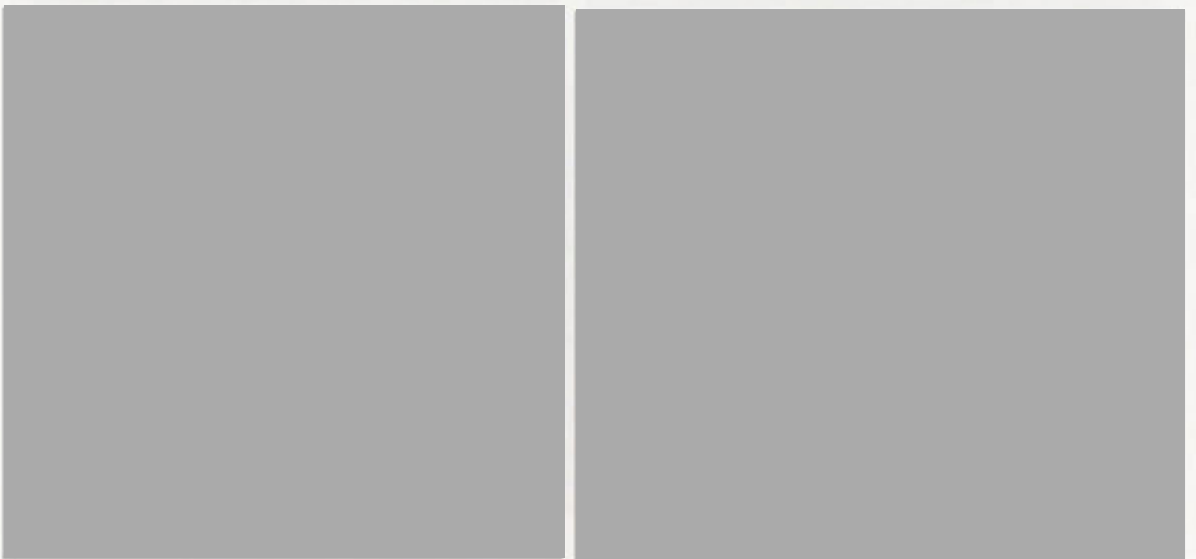


圖 39、40 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」背景描写

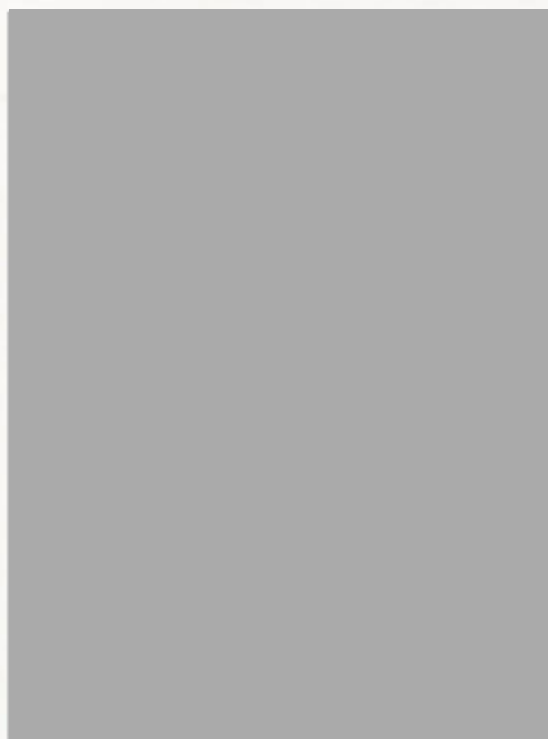


図 42 静嘉堂文庫美術館所蔵
「不動明王二童子像」 不動面相



図 41 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」大威徳面相



図 44 個人蔵
「不動明王二童子像」 不動面相



図 43 石山寺所蔵「不動明王二童子像」 不動面相

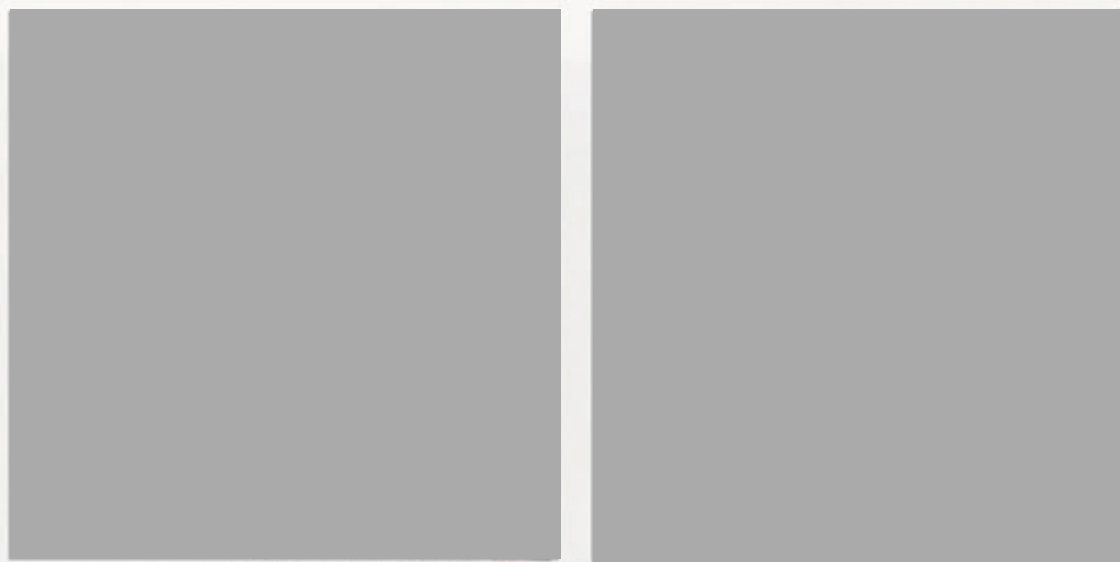


図 45～46 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」神将面相

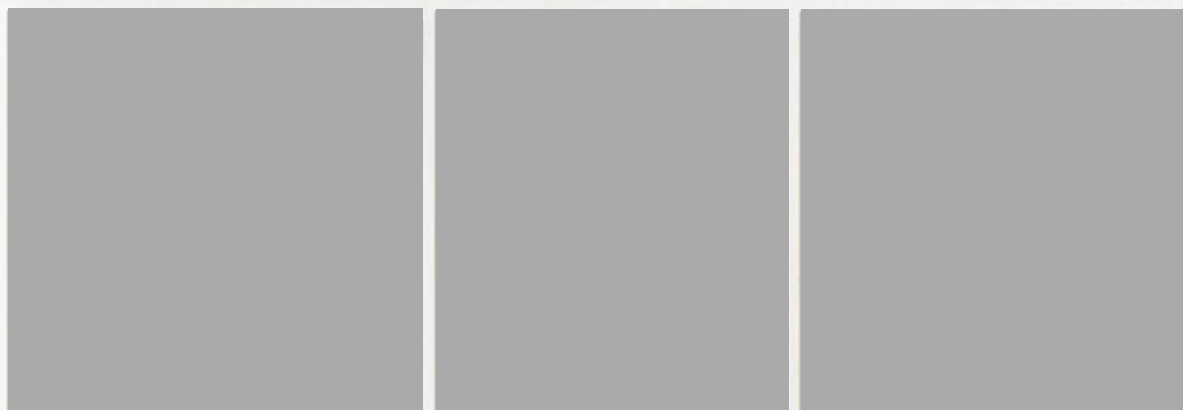


図 49 静嘉堂文庫美術館所蔵
「不動明王二童子像」制吨迦面相

図 47～48 大樹寺所蔵「仏涅槃図」群衆面相

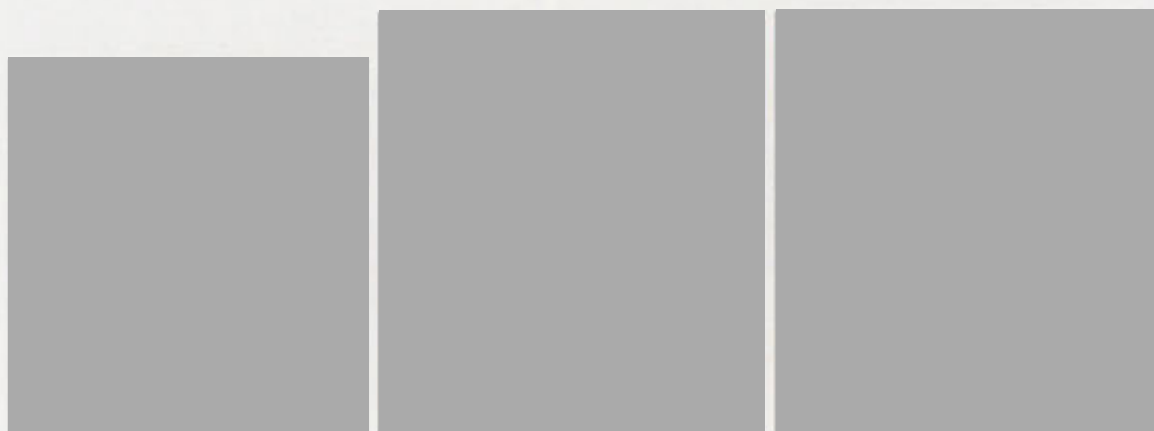


図 50 (右) クラーク財団所蔵「延命地藏菩薩像」童子面相

図 51 (中央) 個人蔵「不動明王二童子像」制吨迦面相

図 52 (左) 石山寺所蔵「不動明王二童子像」制吨迦面相

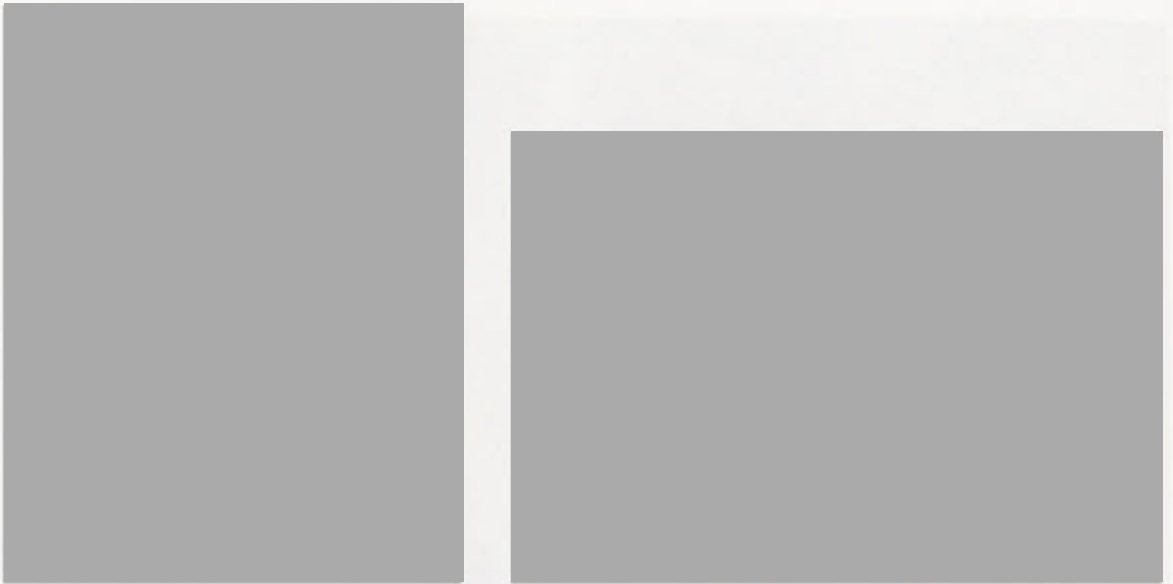


図 53～54 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」文様



図 56 正法寺所蔵「仏涅槃図」文様

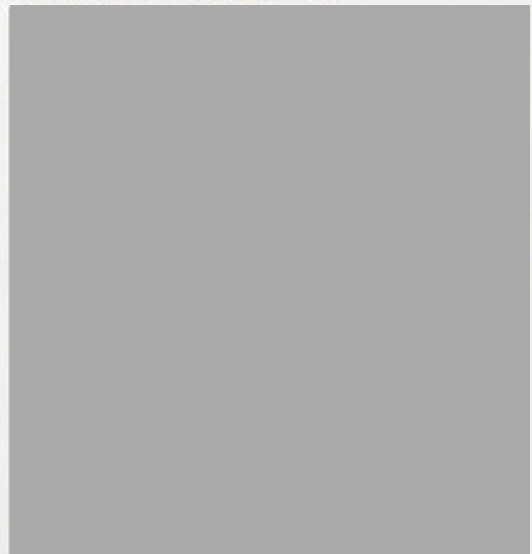


図 55 静嘉堂文庫美所蔵「不動明王二童子像」文様



図 59 正法寺所蔵
「仏涅槃図」文様



図 58 静嘉堂所蔵
「不動明王二童子像」文様

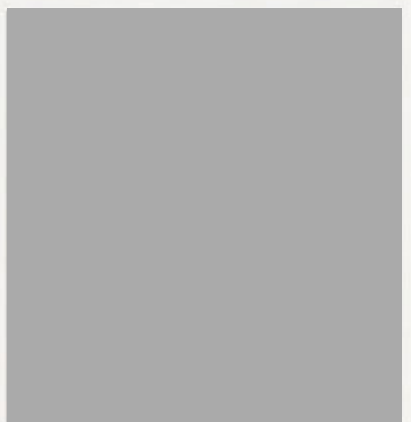


図 57 個人蔵
「大威徳転法輪曼荼羅」文様



図 61～62 個人蔵「八字文殊菩薩像」銘文（右）、全図（左）

図 60 静嘉堂所蔵
「不動明王二童子像」款記

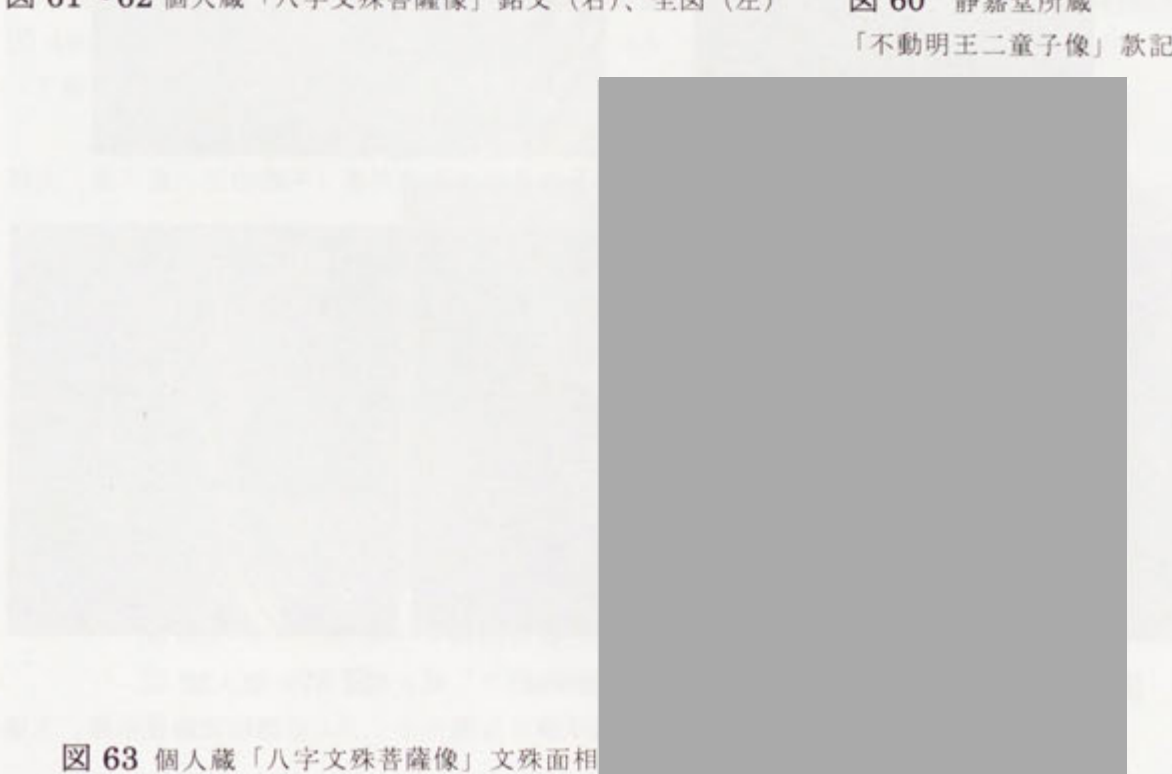


図 63 個人蔵「八字文殊菩薩像」文殊面相

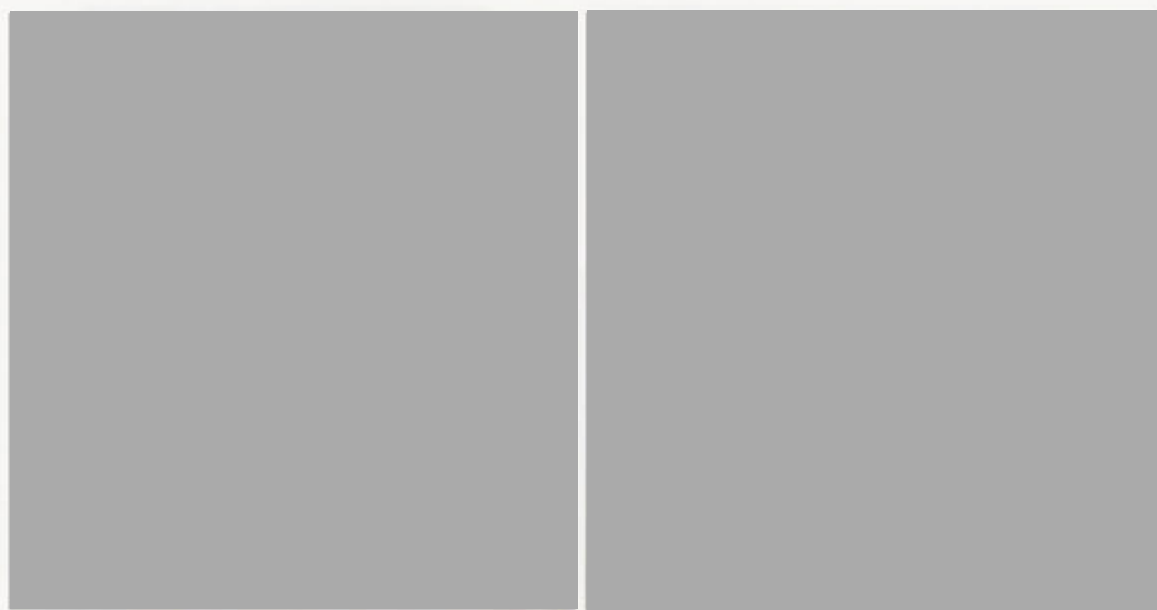


圖 64~65 個人藏「八字文殊菩薩像」童子面相

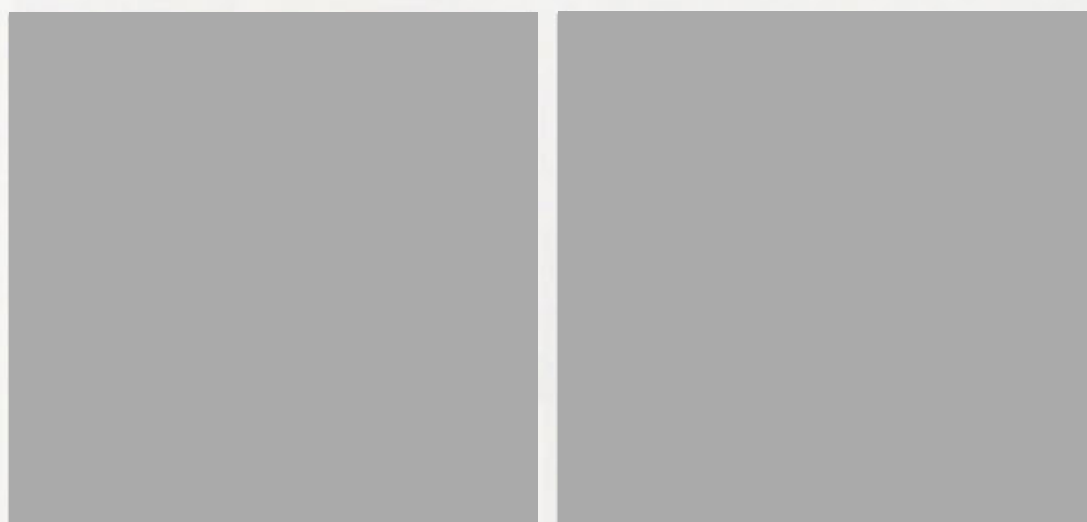


圖 66 (右上)

個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」童子面相

圖 67 (左上)

靜嘉堂所藏「不動明王二童子像」矜羯羅面相

圖 68 (右下)

正法寺所藏「仏涅槃図」群衆面相





図 69 妙法寺所蔵「仏涅槃図」全図



図 2 常盤山文庫所蔵「柿本人麻呂像」全図

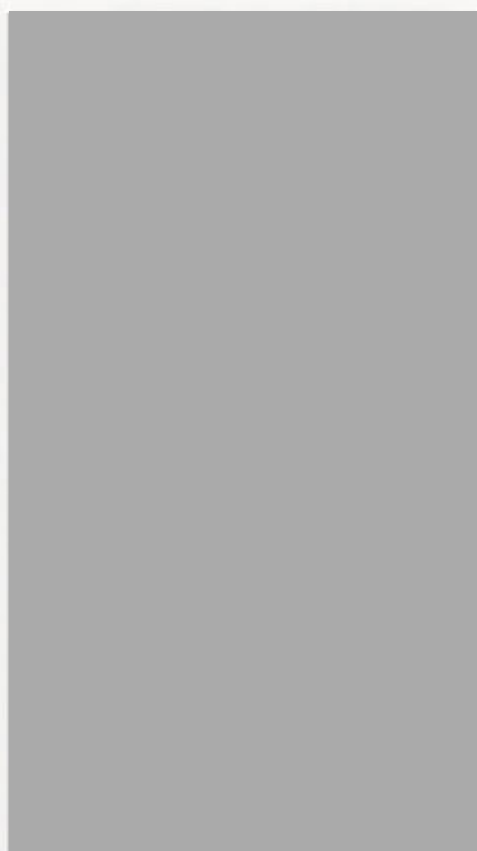


図 1 大慈恩寺所蔵「愛染明王像」全図

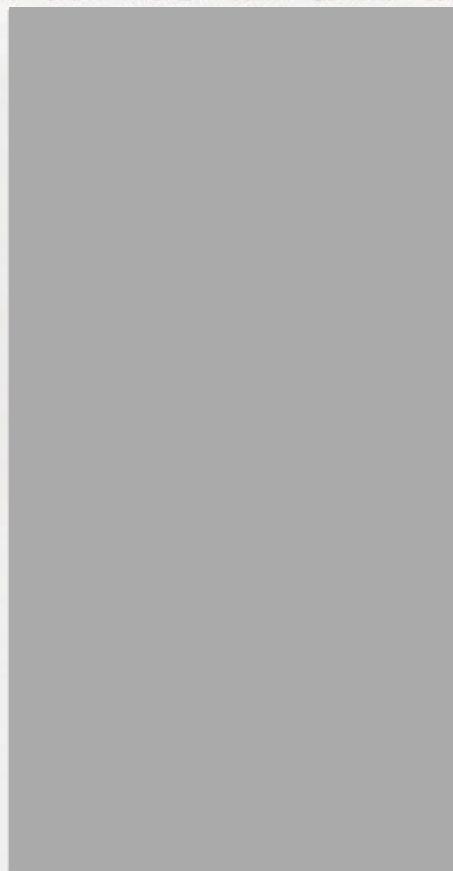


図 3~4 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」全図



図 6 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」全図



図 5 藤田美術館所蔵「一六羅漢図」全図



図 7 大樹寺所蔵「仏涅槃図」全図

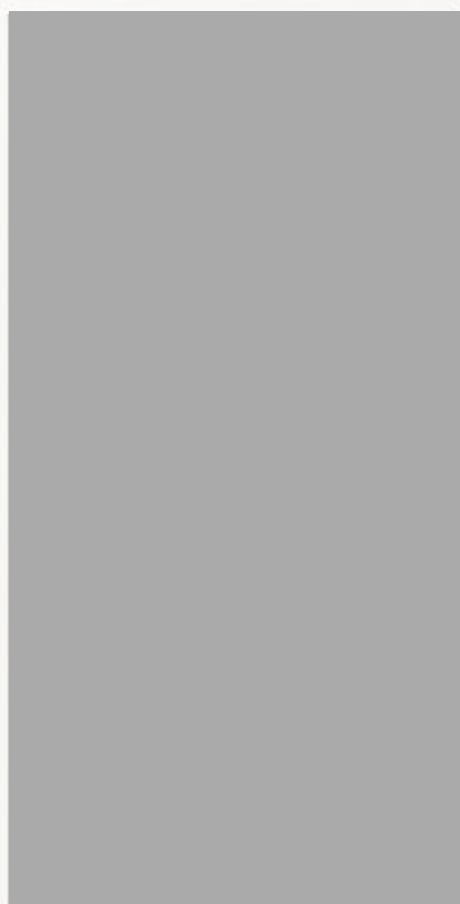


圖 9 個人藏「布袋圖」全圖

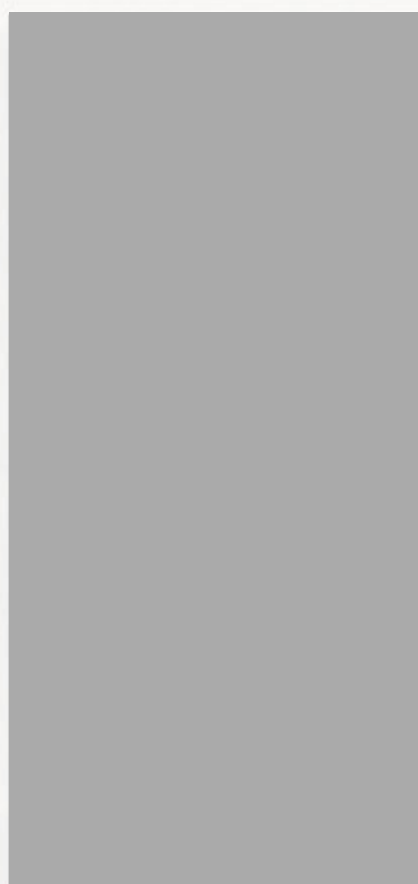


圖 8 靜嘉堂文庫美術館所藏「不動明王二童子像」全圖



圖 10 靜嘉堂文庫美術館所藏「山越阿彌陀圖」全圖



図 11 法海寺所蔵「三千仏図」全図



図 13 法海寺所蔵「三千仏図」箱書

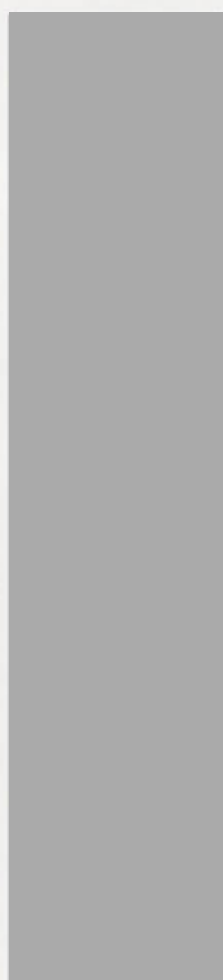


図 12 法海寺所蔵「三千仏図」銘文

※左は明度とコントラストをアップした部分図



圖 14~15 法海寺所藏「三千仏圖」阿彌陀面相（上）、阿彌陀衣文（下）

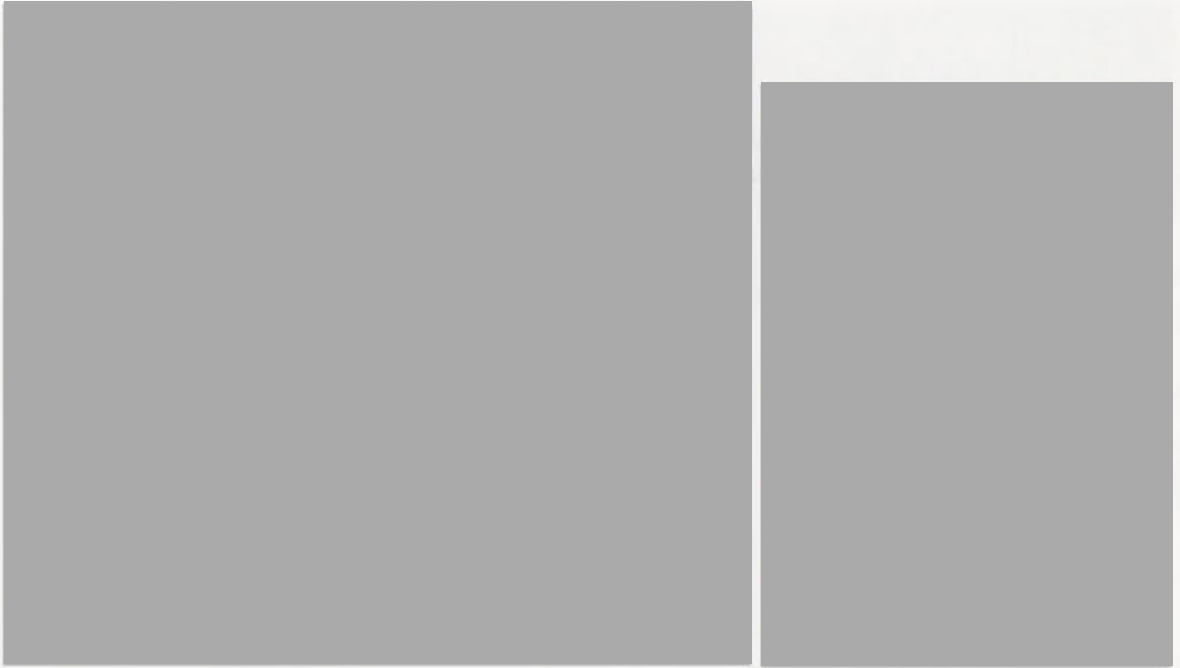


図 16～17 市田理八氏売立目録・同所載「源琦泥引雪中松屏風」

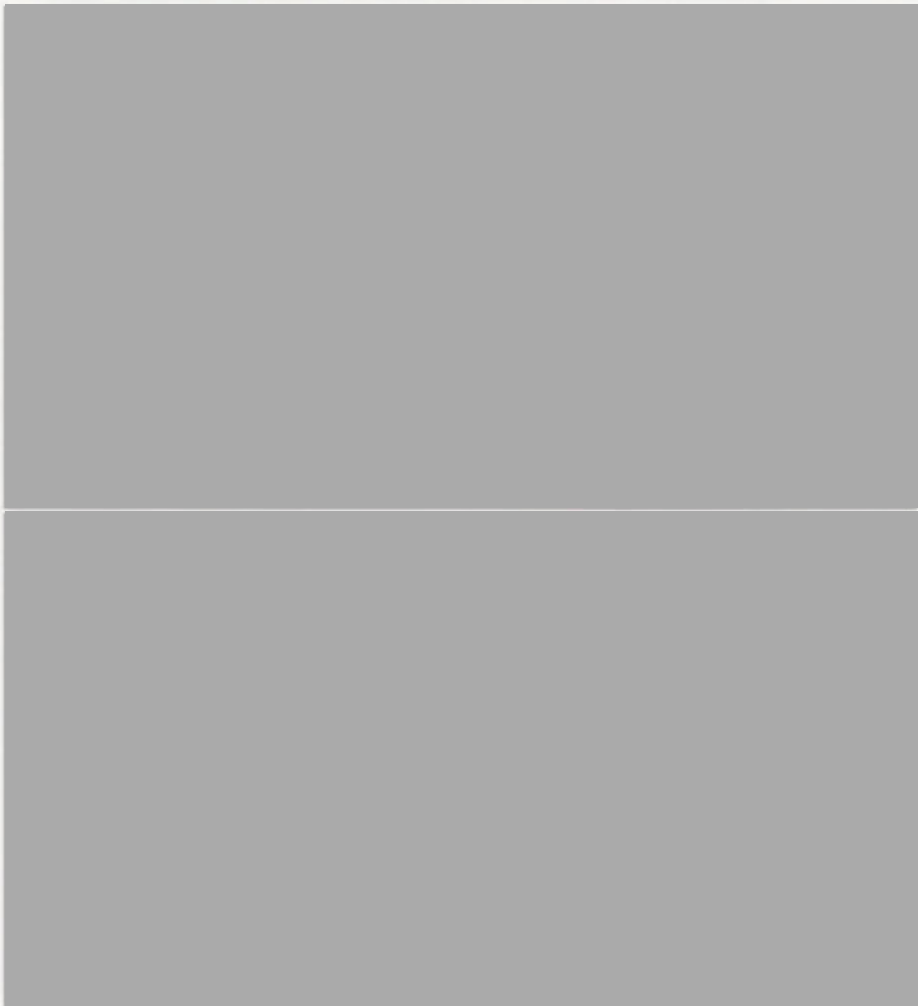


図 18～19 プライス財団所蔵「雪松図屏風」全図

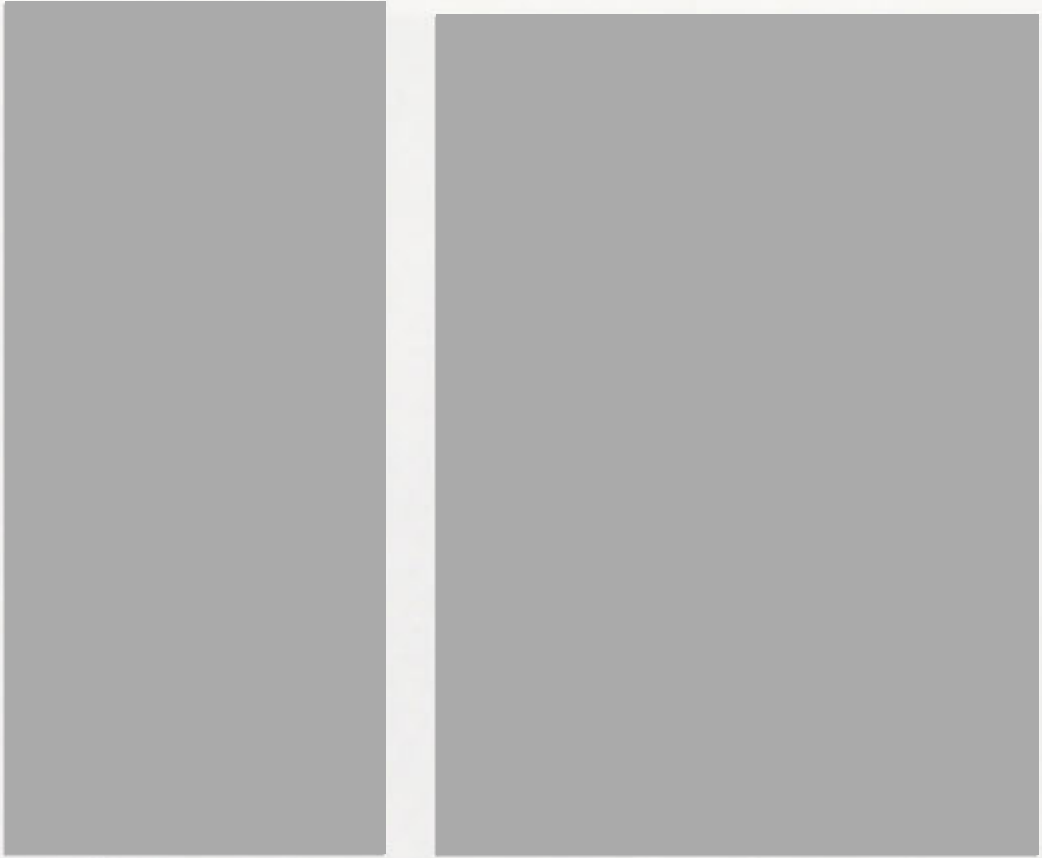


図 20～21 某旧家売立目録・同所載「古画地藏尊像 伝金岡」



図 22～23 クラーク財団所蔵「地藏菩薩像」全図（右）、箱木ロラベル（左）

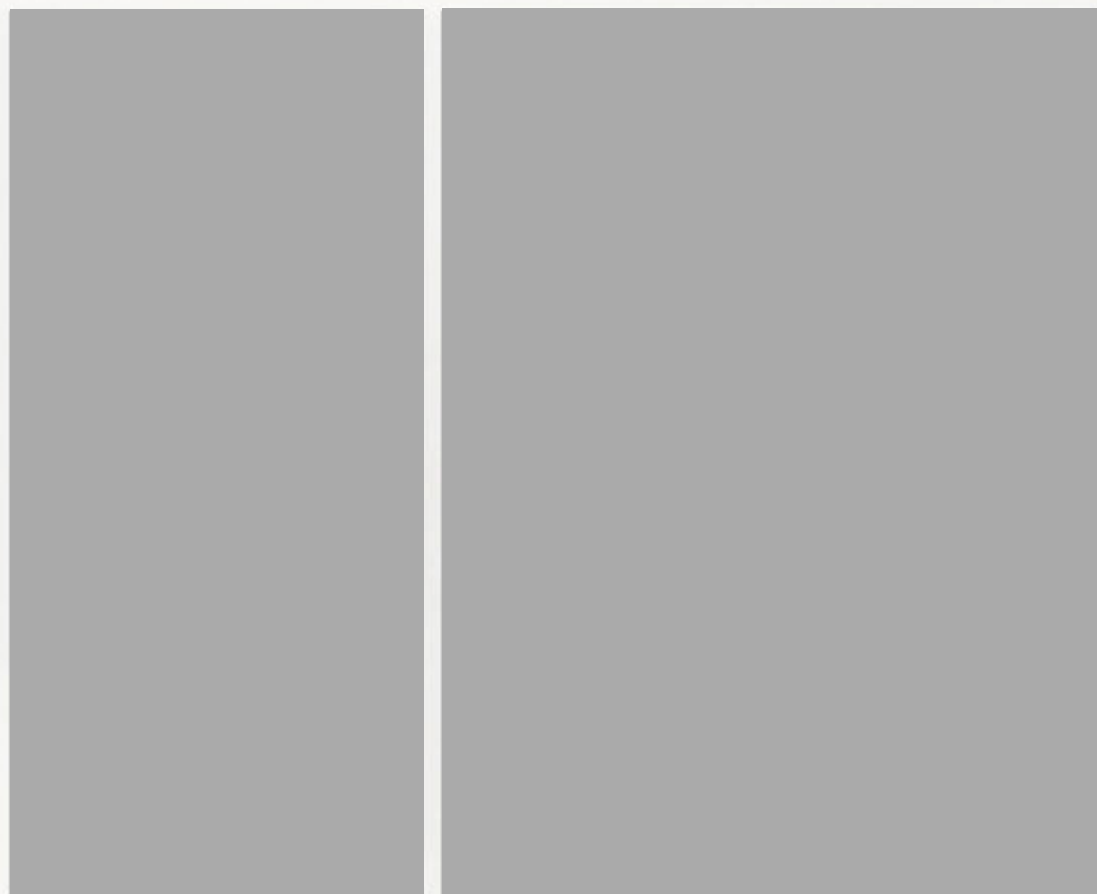


図 24～25 積翠庵壳立目録・同所載「宅磨栄賀 岩上瀧見弁財天」

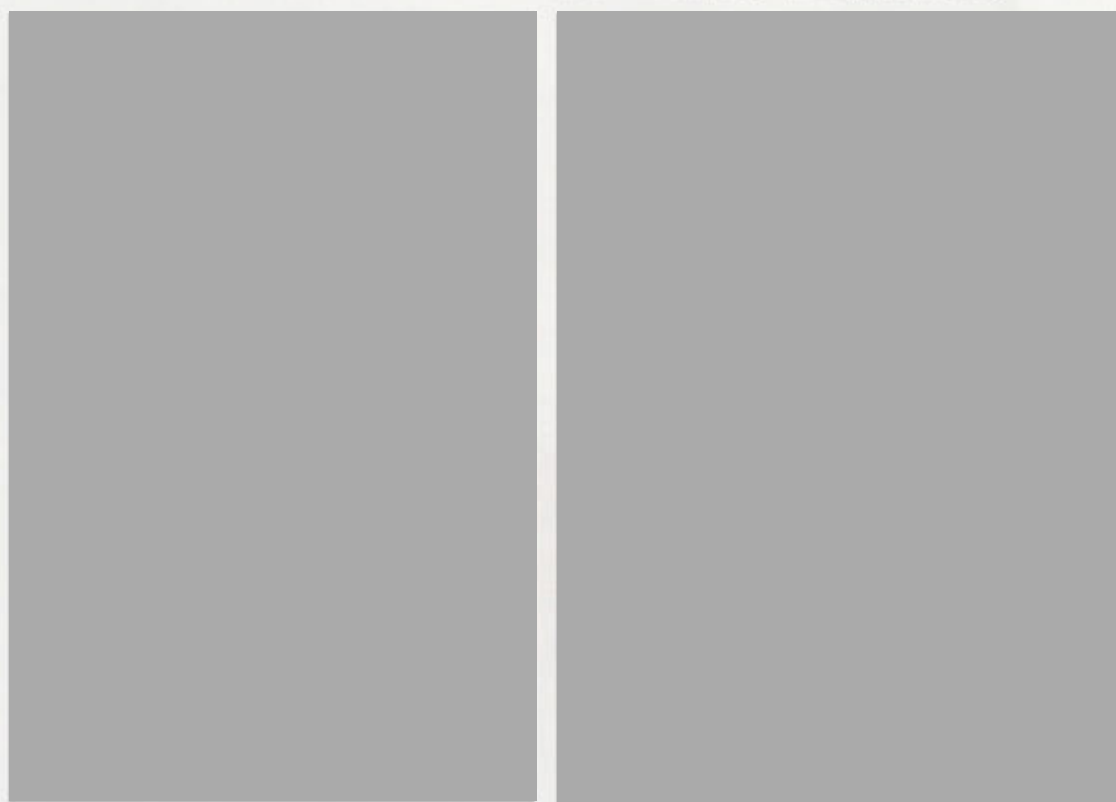


図 26～27 中島家壳立目録・同所載「栄賀 羅漢」



図 29 『弁玉集』所収
「松溪」と読める「栄賀印」



図 28 ポストン美術館所蔵
「文殊菩薩図」全図



図 31 『本朝画史』所収「松溪印」



図 30 『集古十種』所収
「松溪」と読める「栄賀印」

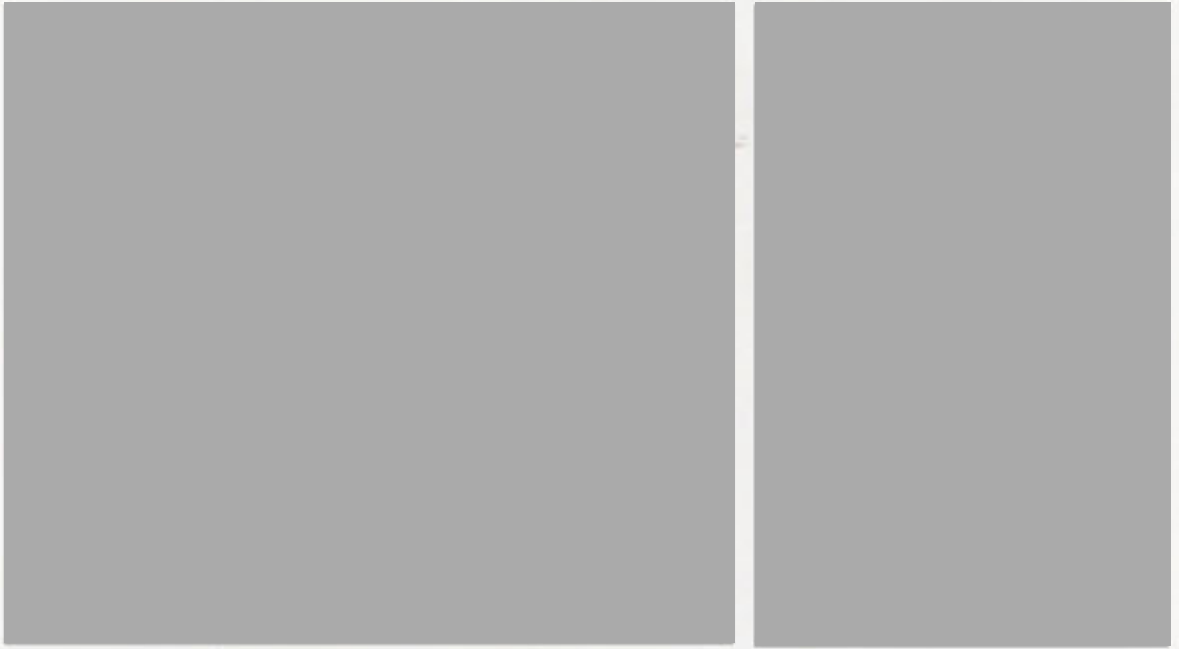


図 32～33 「詫磨勝賀墓碑」石柱（右）、墓碑と墓（左）



図 34 「詫磨勝賀墓碑」碑文部分（コントラストアップ）

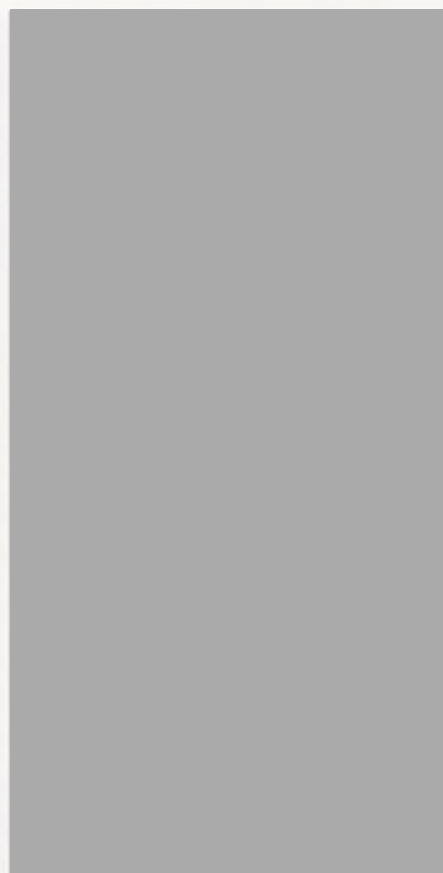


図 2 常盤山文庫所蔵「柿本人麻呂像」全図



図 1 大慈恩寺所蔵「愛染明王像」全図



図 3～4 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」全図

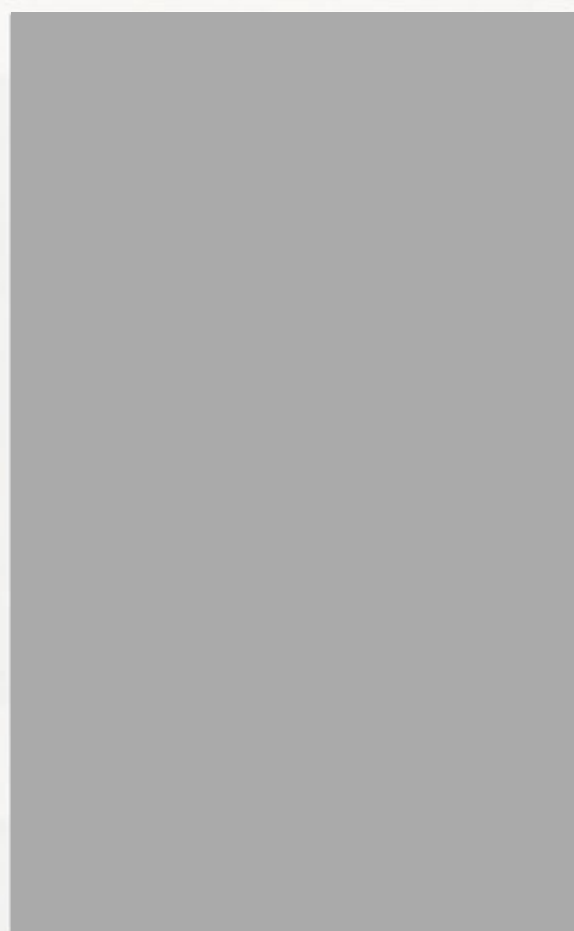


図 6 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」全図

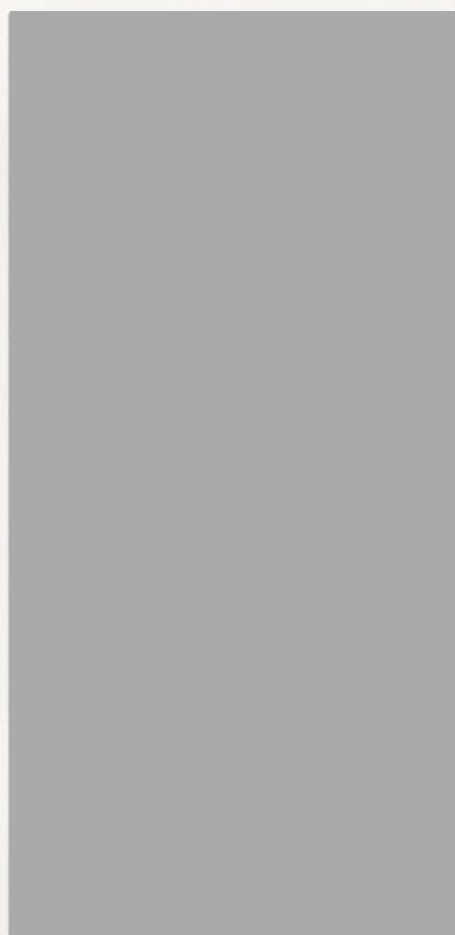


図 5 藤田美術館所蔵「一六羅漢図」全図



図 7 大樹寺所蔵「仏涅槃図」全図



圖 9 個人藏「布袋圖」全圖



圖 8 靜嘉堂文庫美術館所藏「不動明王二童子像」全圖



圖 10 靜嘉堂文庫美術館所藏「山越阿彌陀圖」全圖





図 12 『集古十種』所収 栄賀印



図 11 『弁玉集』所収 栄賀印

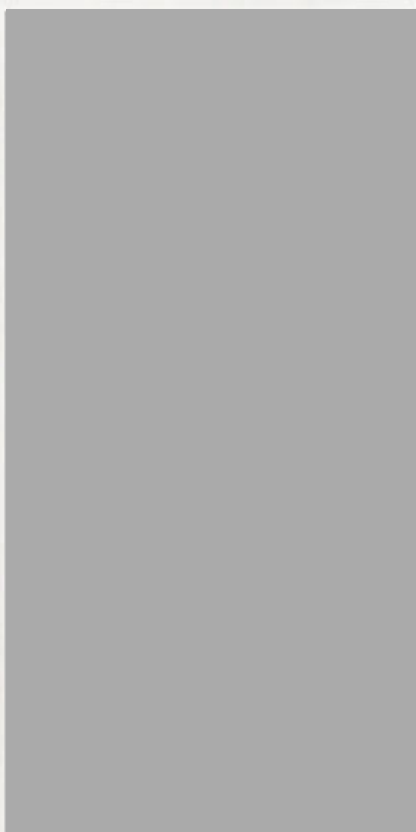


図 13～14 ポストン美術館所蔵「文殊菩薩図」全図（右）、印章（左）

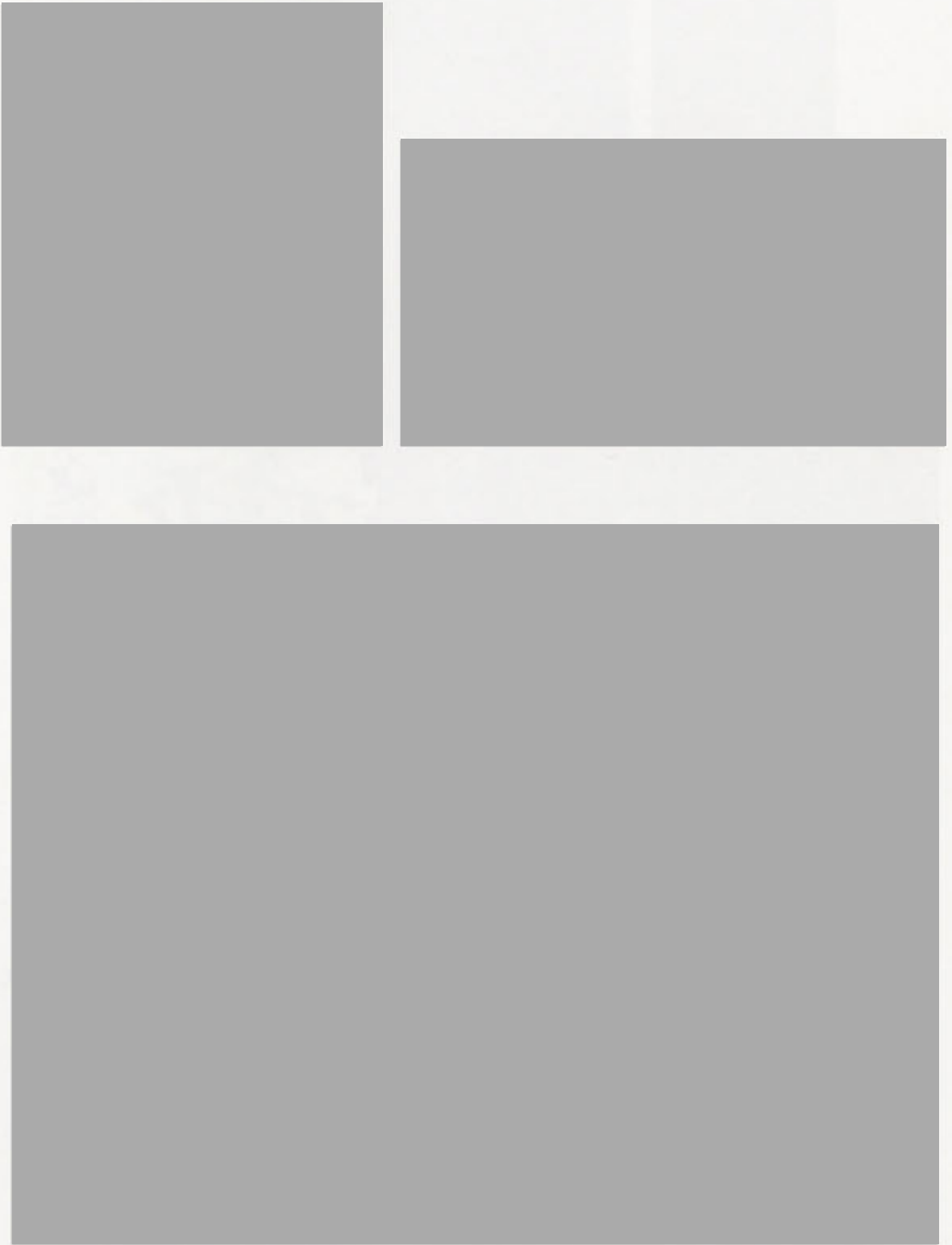


図 15~17 個人蔵「四睡図」全図（右上）、印章（左上）、鑑定書（下）



図 19 大樹寺所藏「仏涅槃図」印章



図 18 藤田美術館所藏「一六羅漢図」印章

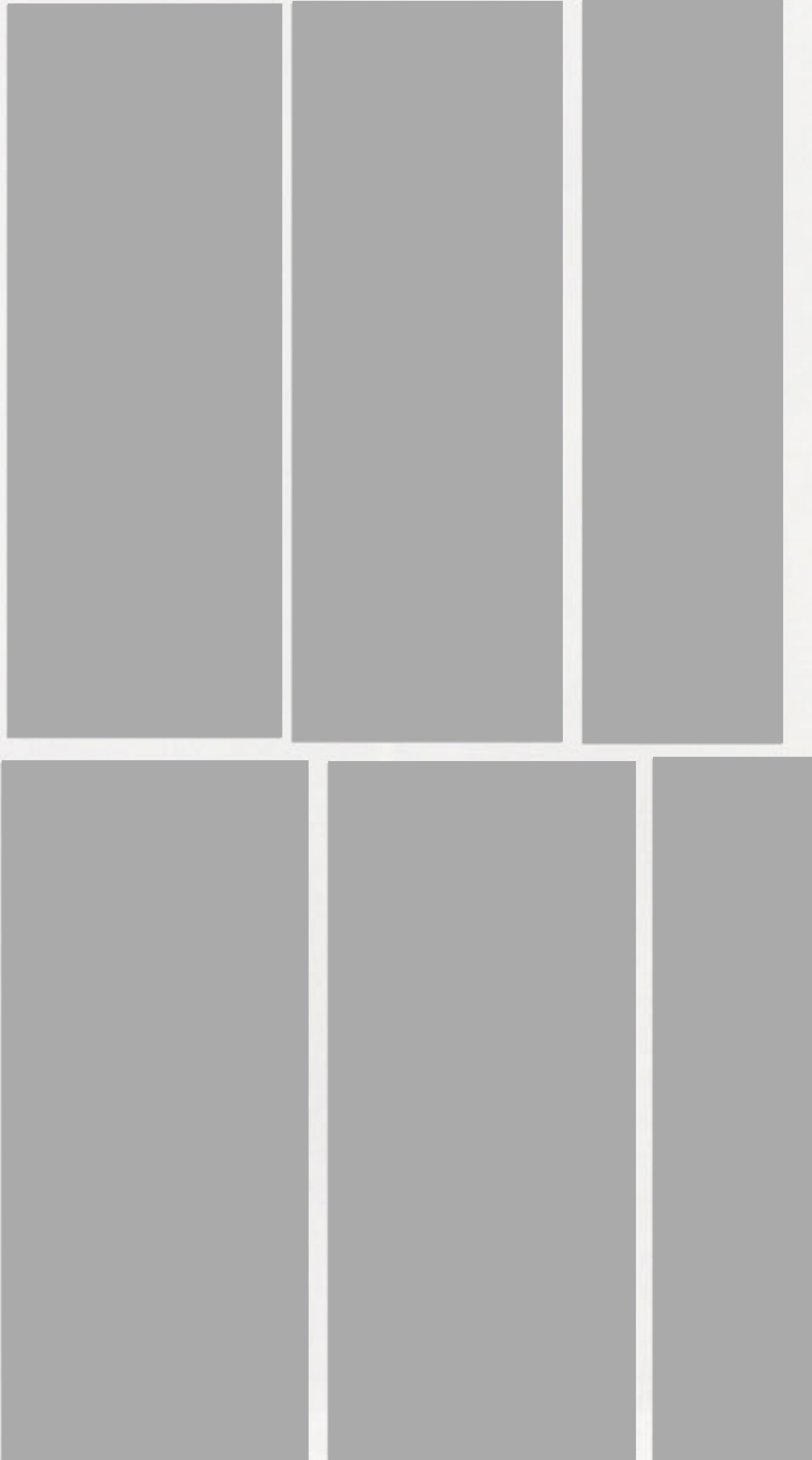


図 20~25 (右上より左下に) 栄賀の款記



圖 27 大樹寺所藏「佉涅槃圖」款記 圖 26 大慈恩寺所藏「愛染明王像」款記

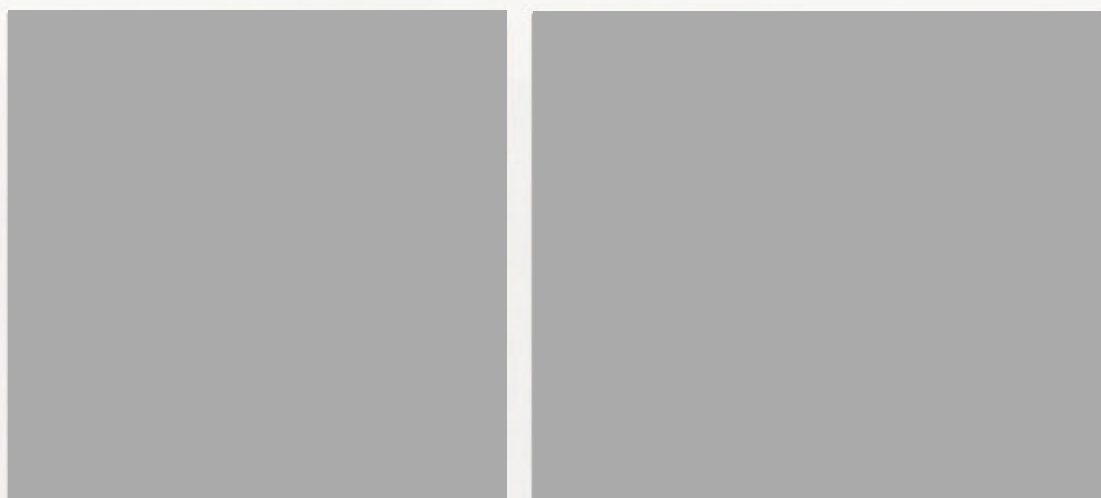


図 28～29 款記「詫」字 大慈恩寺本（右）、大樹寺本（左）

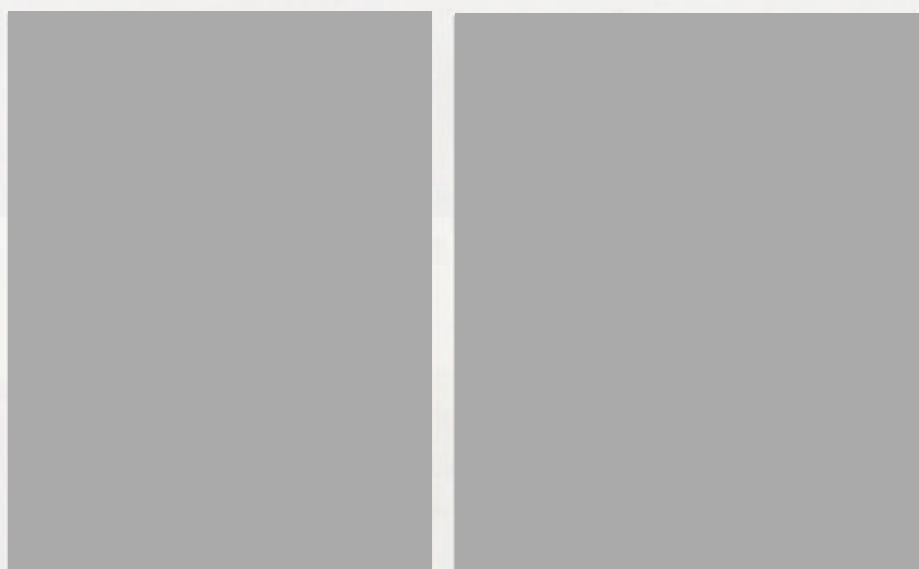


図 30～31 款記「筆」字 大慈恩寺本（右）、大樹寺本（左）

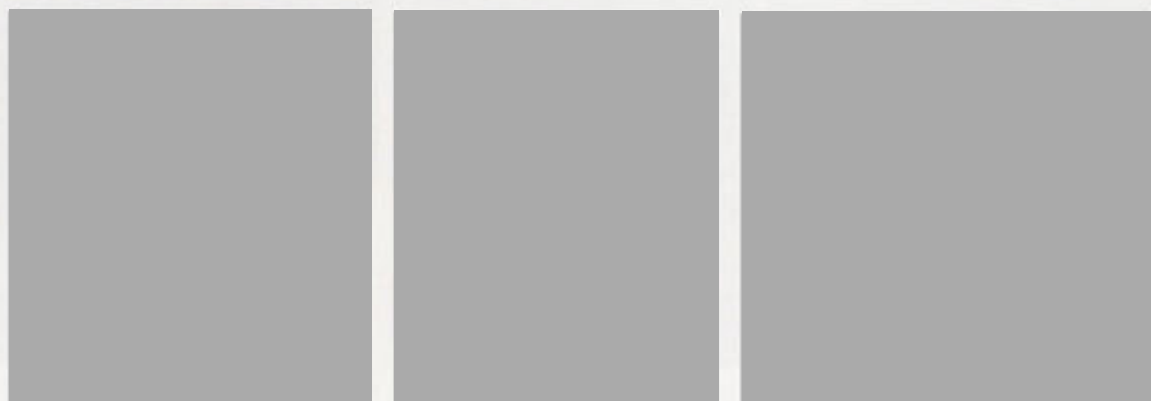


図 32～34 款記「筆」字 大慈恩寺本（右）、静嘉堂本（中央）、出光本（左）



図 36 静嘉堂文庫美術館
「不動明王二童子像」明王面相



図 35 大慈恩寺所藏「愛染明王像」明王面相

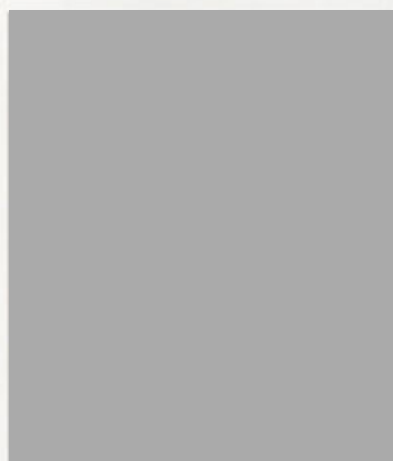


図 39 個人蔵
「大威徳転法輪曼荼羅」
明王面相



図 38 醍醐寺所蔵
「太元帥明王像（八臂）」
明王面相

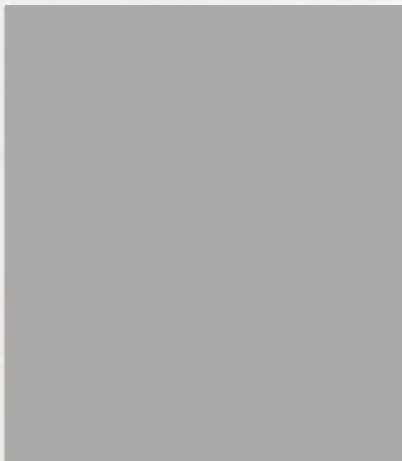


図 37 フリア美術館所蔵
「二童子像」制吒迦面相



図 41 静嘉堂所藏「不動明王二童子像」眉毛



図 40 大慈恩寺所藏「愛染明王像」眉毛



図 43 醍醐寺所藏「太元帥明王像 (四臂)」眉毛



図 42 個人藏「不動明王二童子像」眉毛

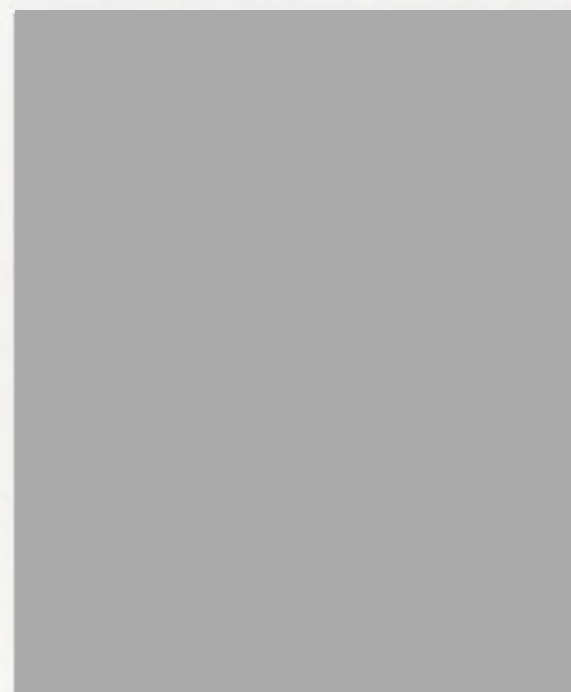


図 45 出光美所藏「山越阿彌陀図」阿彌陀面相



図 44 京博所藏「积迦三尊・羅漢図」积迦面相

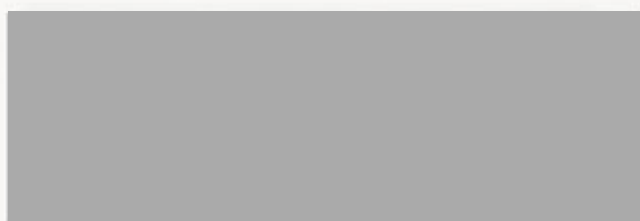


図 47 出光美所蔵「山越阿弥陀図」阿弥陀の眼



図 46 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」釈迦の眼

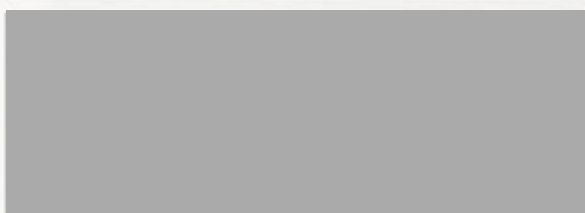


図 49 清澄寺所蔵「釈迦三尊図」釈迦の眼



図 48 金戒光明寺所蔵「山越阿弥陀図」阿弥陀の眼



図 50 京博本（一段）・出光本（二段）、金戒光明寺本（三段）、清澄寺本（四段）の眼の形状比較
※眼の左右の端を揃え、瞳孔——、虹彩の範囲——、黒眼と白眼の境界——を以上の色線で表した。

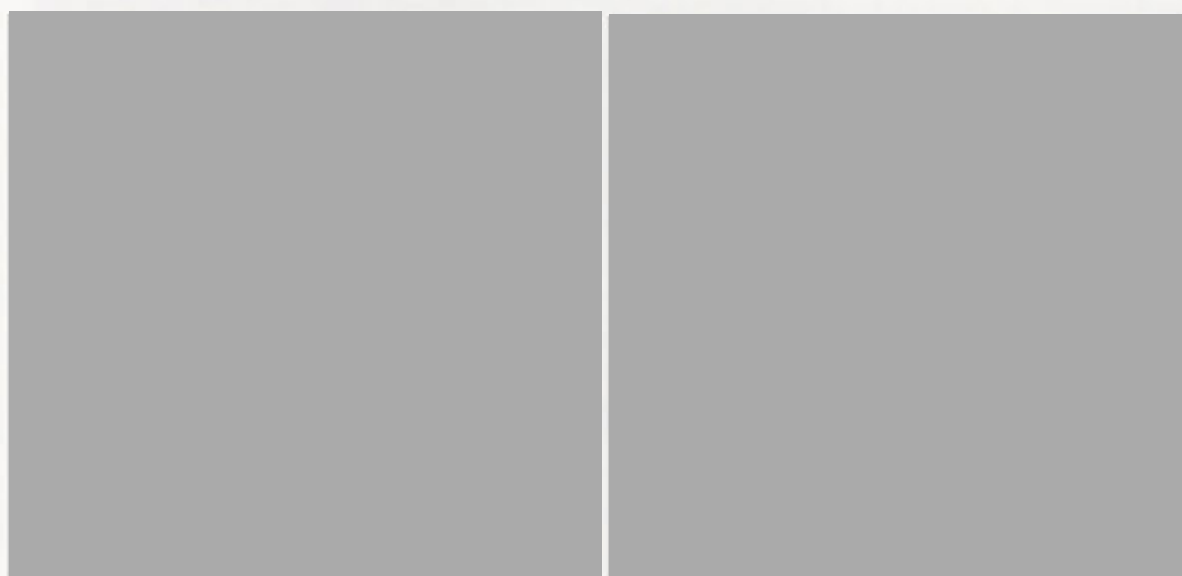


図 52 藤田美術館所蔵「一六羅漢図」岩座 図 51 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」岩座

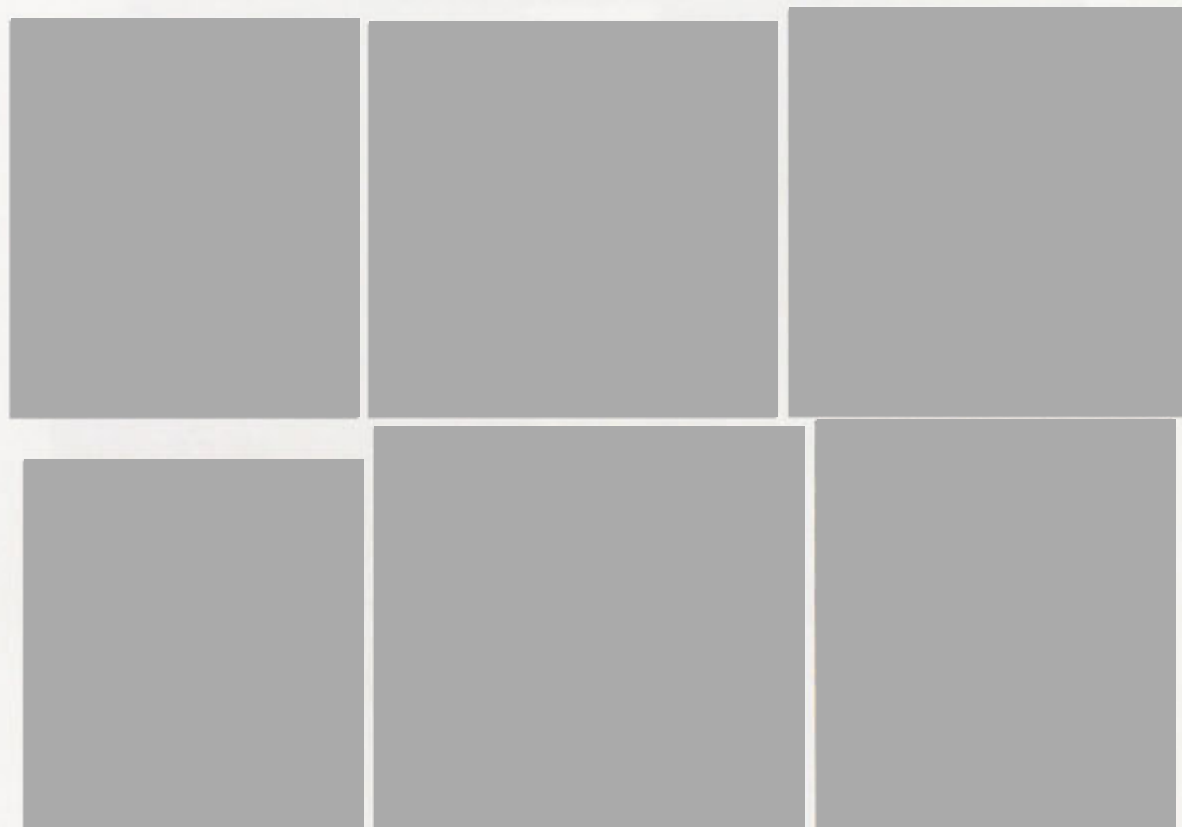


図 55 静嘉堂本制吒迦面相 図 54 大樹寺本群衆面相 図 53 大慈恩寺本明王面相
図 58 クラーク本童子面相 図 57 個人本神将面相 図 56 醍醐寺本從者面相

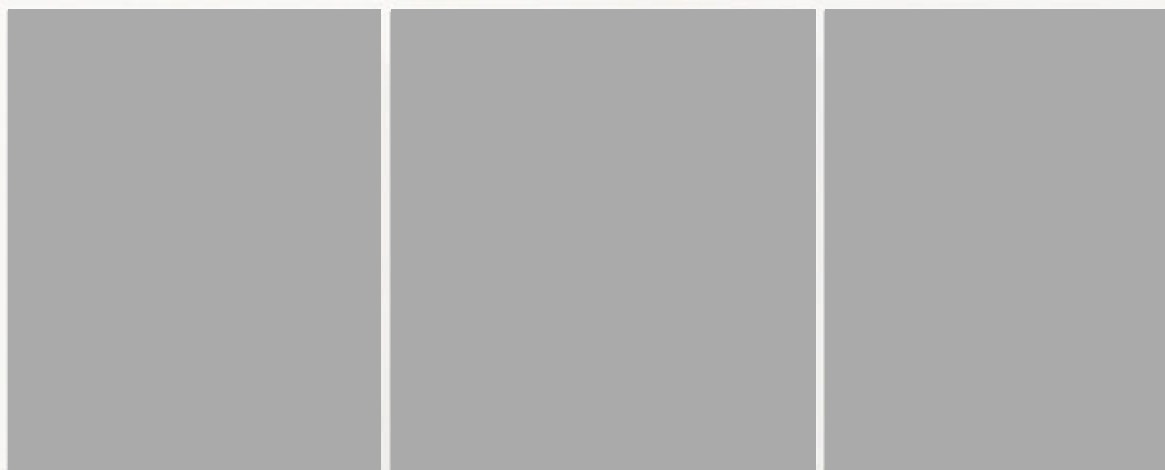


図 59～61 耳が折れている人物像 京博本（右）、藤田本（中央）、大樹寺本（左）

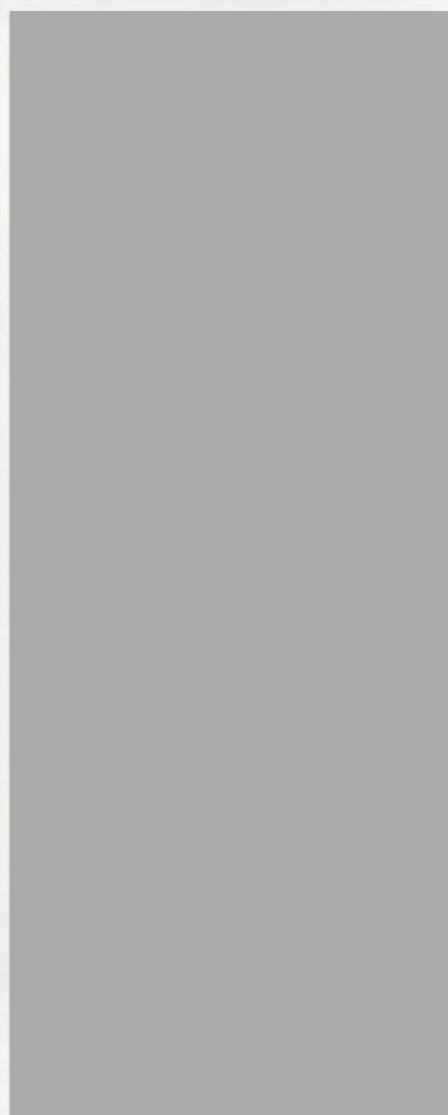


図 63 東博所蔵「蜺子和尚図」全図

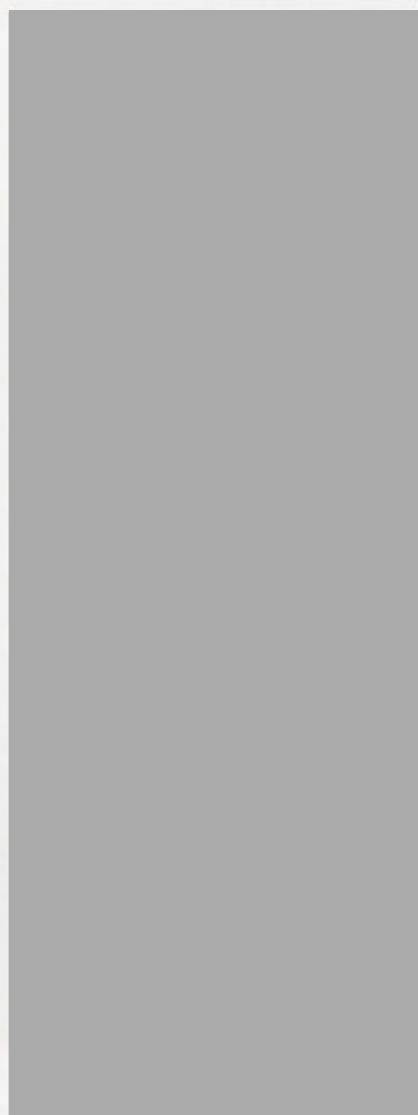


図 62 岡山県立美術館所蔵「老子図」全図



図 64 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」全図



図 66 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」普賢

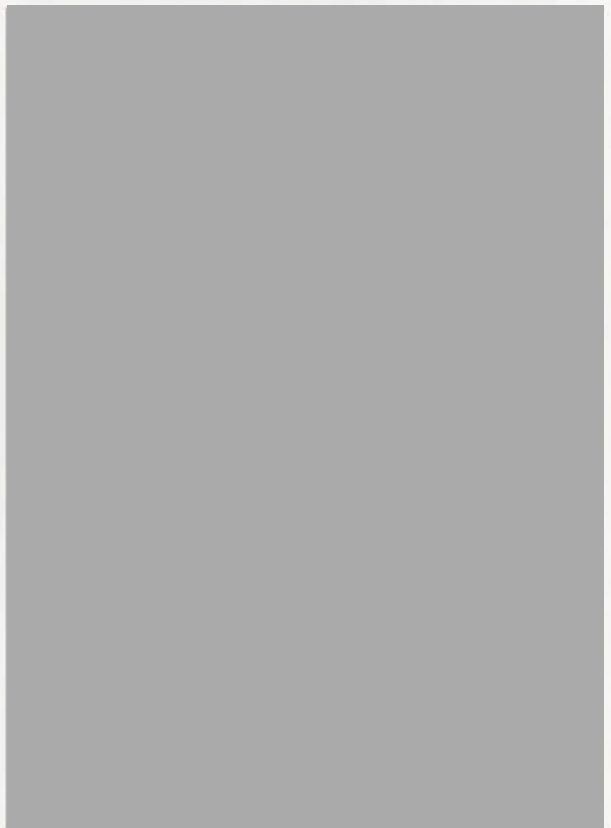


図 65 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」普賢



図 69 フリア美術館所蔵
「普賢菩薩図」普賢面相



図 68 京博所蔵



図 67 フリア美術館所蔵
「普賢菩薩図」樹石

「釈迦三尊・羅漢図」樹石



図 70～71 静嘉堂文庫美術館所蔵「不動明王二童子像」全図（右）、款記（左）



図 73 醍醐寺所蔵 円心様不動



図 72 静嘉堂本 不動明王



図 75 醍醐寺所蔵 玄朝様制吒迦



図 74 静嘉堂本 制吒迦

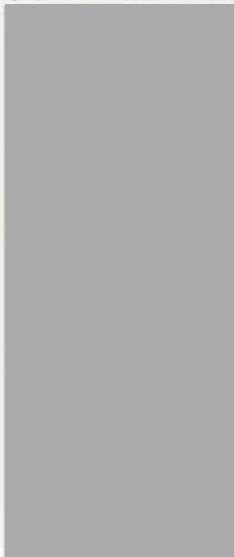


図 78 フリア本 矜羯羅



図 77 醍醐寺所蔵 延円様矜羯羅



図 76 静嘉堂本 矜羯羅



図 79 静嘉堂文庫美術館所蔵「不動明王二童子像」文様

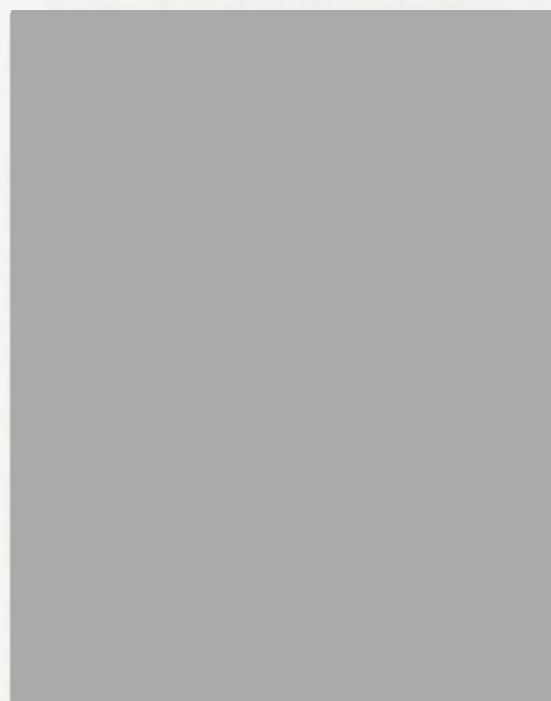


図 81 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」文様

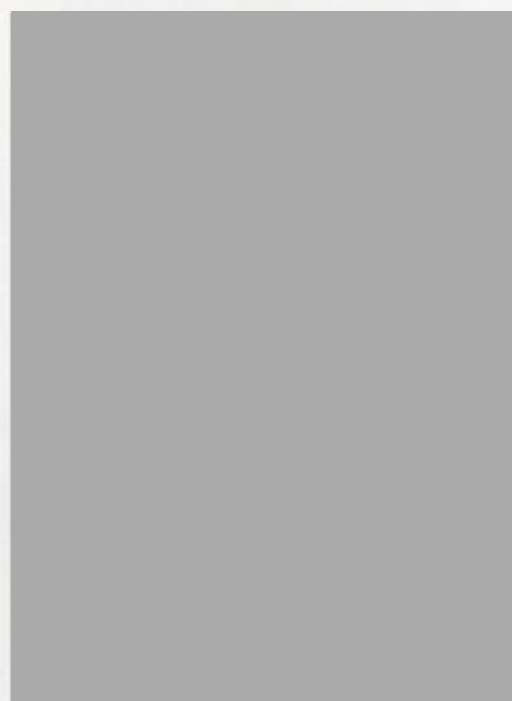


図 80 正法寺所蔵「仏涅槃図」文様

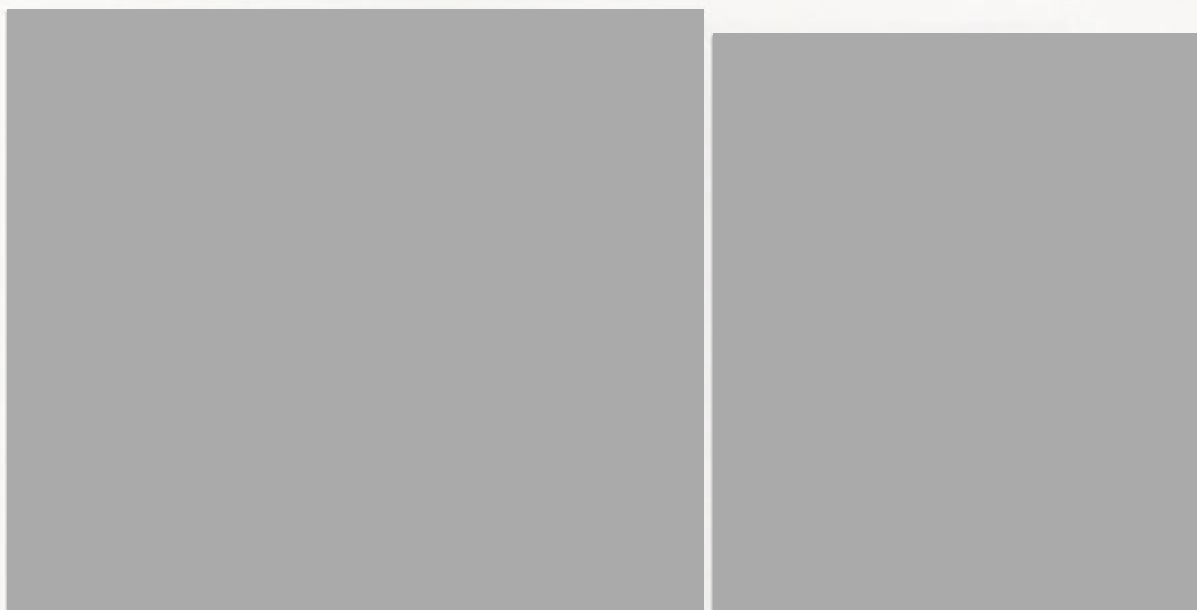


図 82～83 静嘉堂文庫美術館所蔵「不動明王二童子像」上空の龍（右）、水中の龍（左）



図 84 静嘉堂文庫美術館所蔵「不動明王二童子像」水中の龍の珠



図 85 奈良国立博物館所蔵「春日龍珠箱」外箱蓋裏全図



図 86 奈良国立博物館所蔵
「春日龍珠箱」外箱蓋裏の龍



図 87 下醍醐清滝宮



図 88 静嘉堂文庫美術館所蔵「不動明王二童子像」岩座



図 90 出光美所蔵「山越阿弥陀図」全図



図 89 大慈恩寺所蔵「愛染明王像」全図



図 93 藤田美術館所蔵
「一六羅漢図」の内

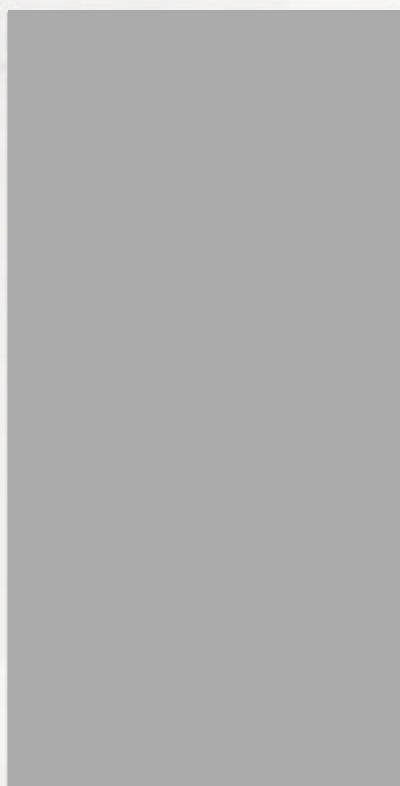


図 91～92 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」全図



図 94～95 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」岩（右）、菩薩の光背（左）



図 96 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」羅漢と龍

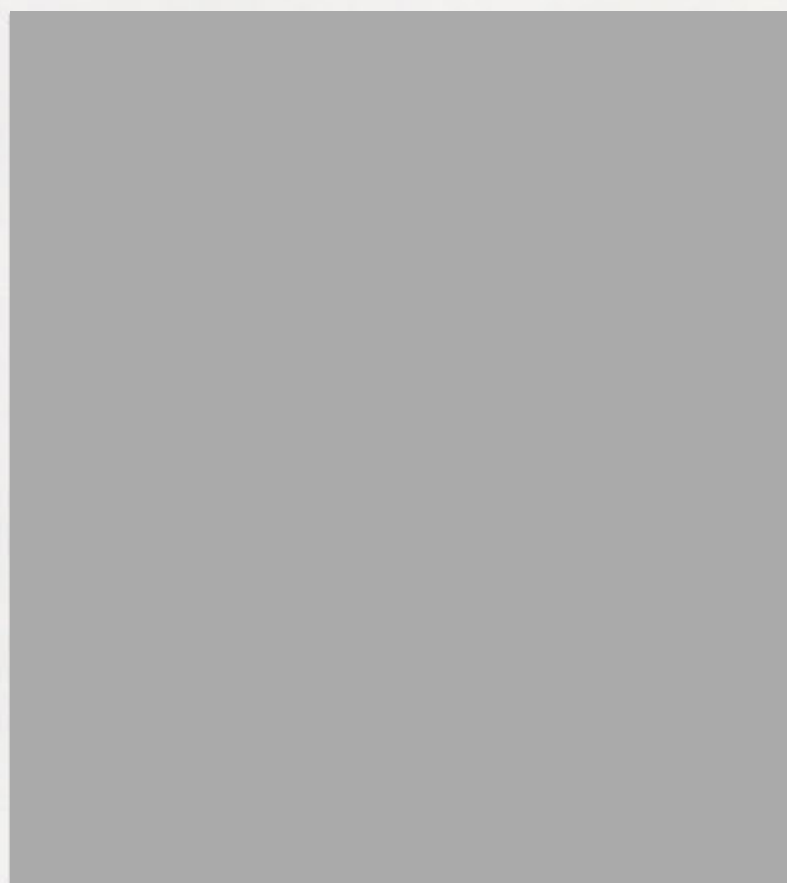


図 97 藤田美術館所蔵「一六羅漢図」羅漢と龍



図 99 出光美所蔵「山越阿彌陀図」阿彌陀の手



図 98 京博所蔵「釈迦三尊・羅漢図」
釈迦の手



図 100 大慈恩寺本 愛染の右足



図 101 京博本 釈迦の右足



図 102 清澄寺本 釈迦の右足



図 103 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」羅漢群像
(円で囲った羅漢の耳が折れている)



図 104 大樹寺所蔵「仏涅槃図」群衆
(円で囲った僧侶の耳が折れている)



図 105～106 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」写し崩れ

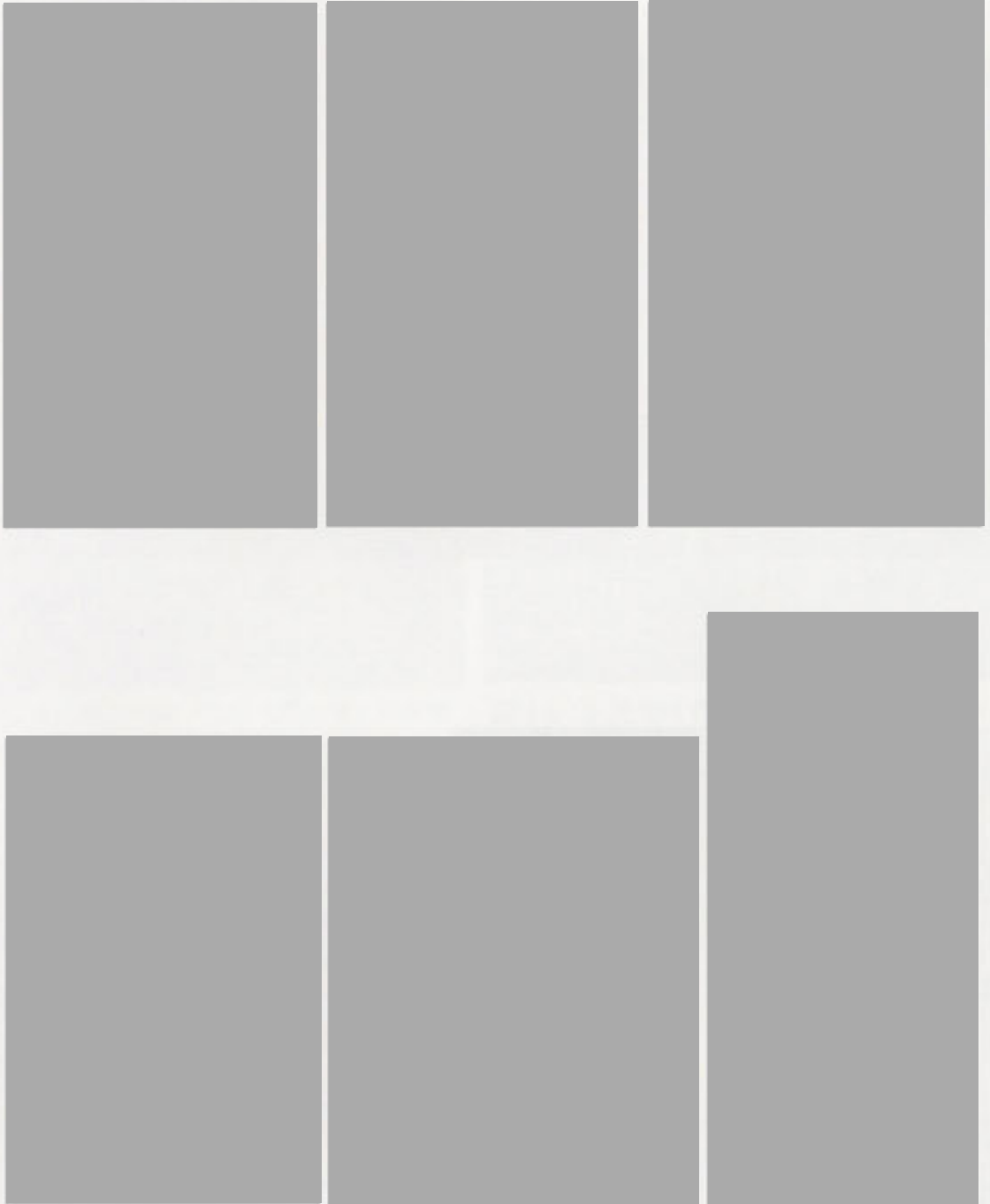


図 1~6 醍醐寺所藏「太元帥明王像」全図

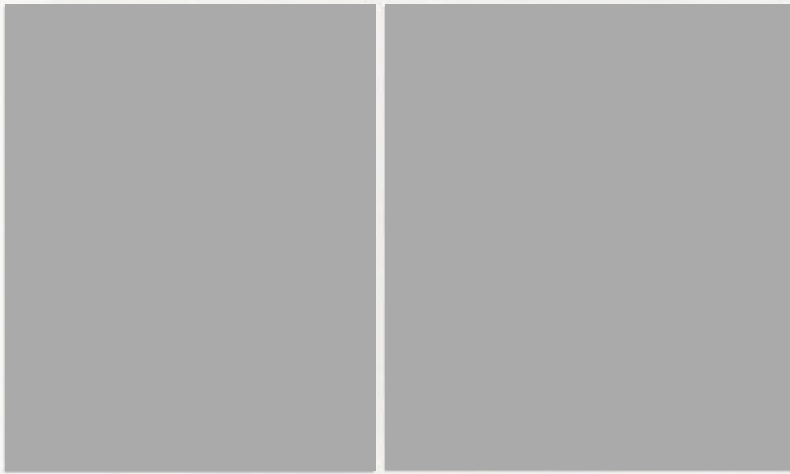


図 8~9 醍醐寺所藏「太元帥明王像」面相

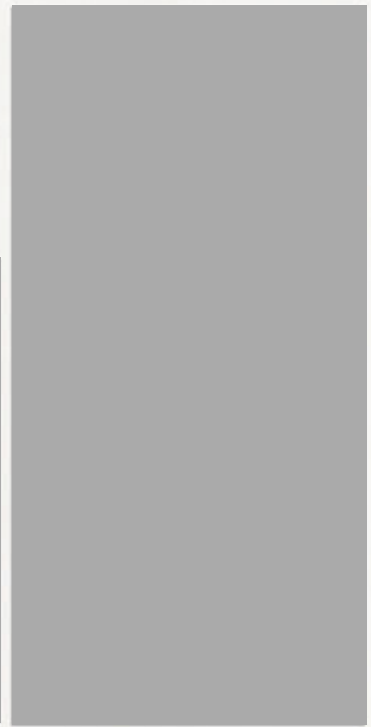


図 7 正智院所藏
「青面金剛圖像」



図 11 大慈恩寺所藏「愛染明王像」面相

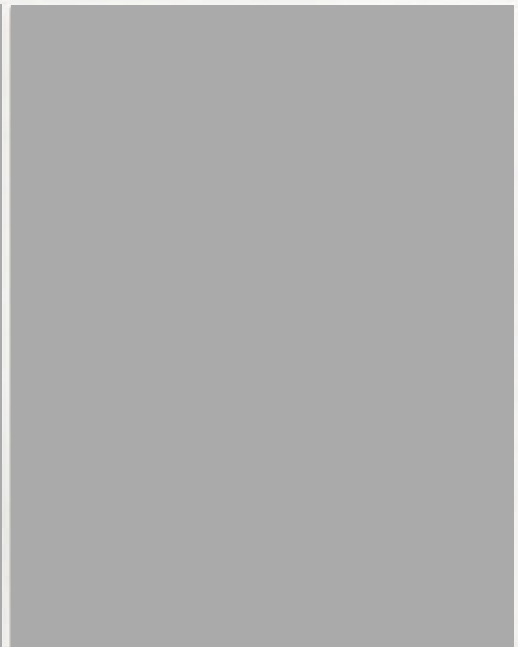


図 10 醍醐寺所藏「太元帥明王像」面相



図 14 醍醐寺所藏「太元帥明王像」四臂像

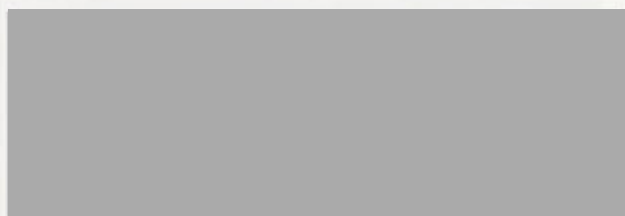


図 12 醍醐寺所藏「太元帥明王像」眉毛



図 13 静嘉堂所藏「不動明王二童子像」眉毛



図 17 静嘉堂所藏
「不動明王二童子像」面相



図 16 個人藏
「大威德轉法輪曼荼羅」面相



図 15 醍醐寺所藏
「太元帥明王像」四臂像面相

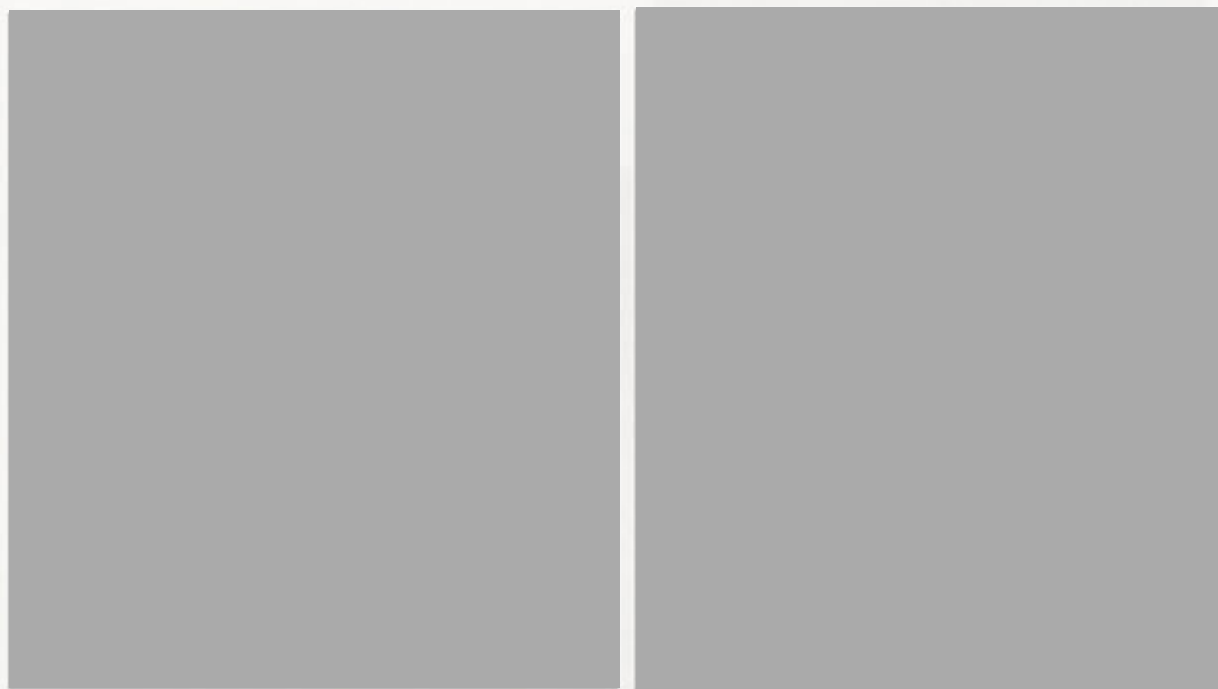


図 18～19 醍醐寺所藏「太元帥明王像」八臂像条帛（右）、四臂像条帛（左）



図 20 秋篠寺所藏「太元帥明王像」全図

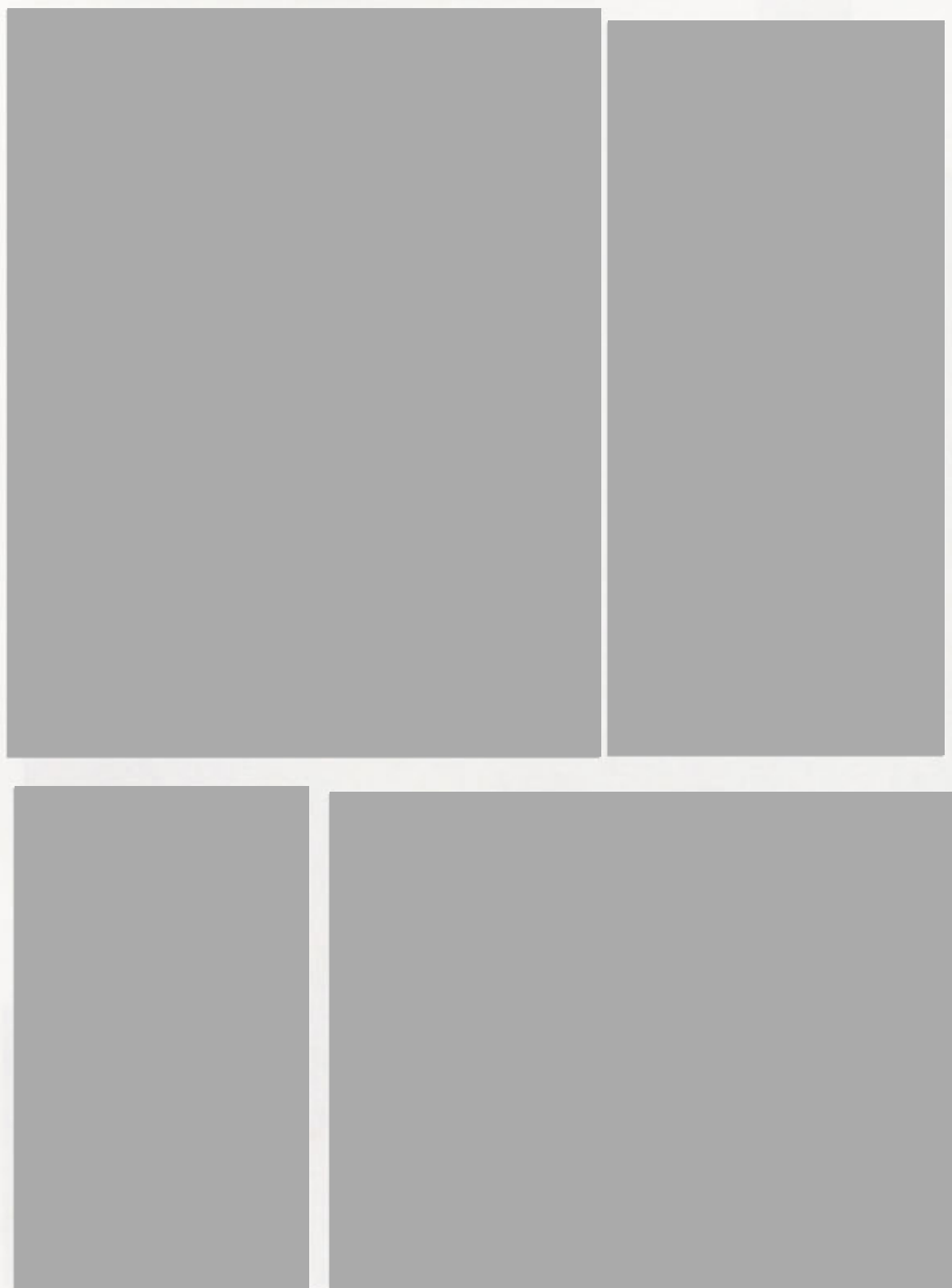


図 21～23 報国寺所蔵「文殊大士像」全図（右上）、面相（左上）、衣文（右下）

図 24 報国寺所蔵「十大弟子像」の内



図 25 法雲寺所藏「仏涅槃図」全図

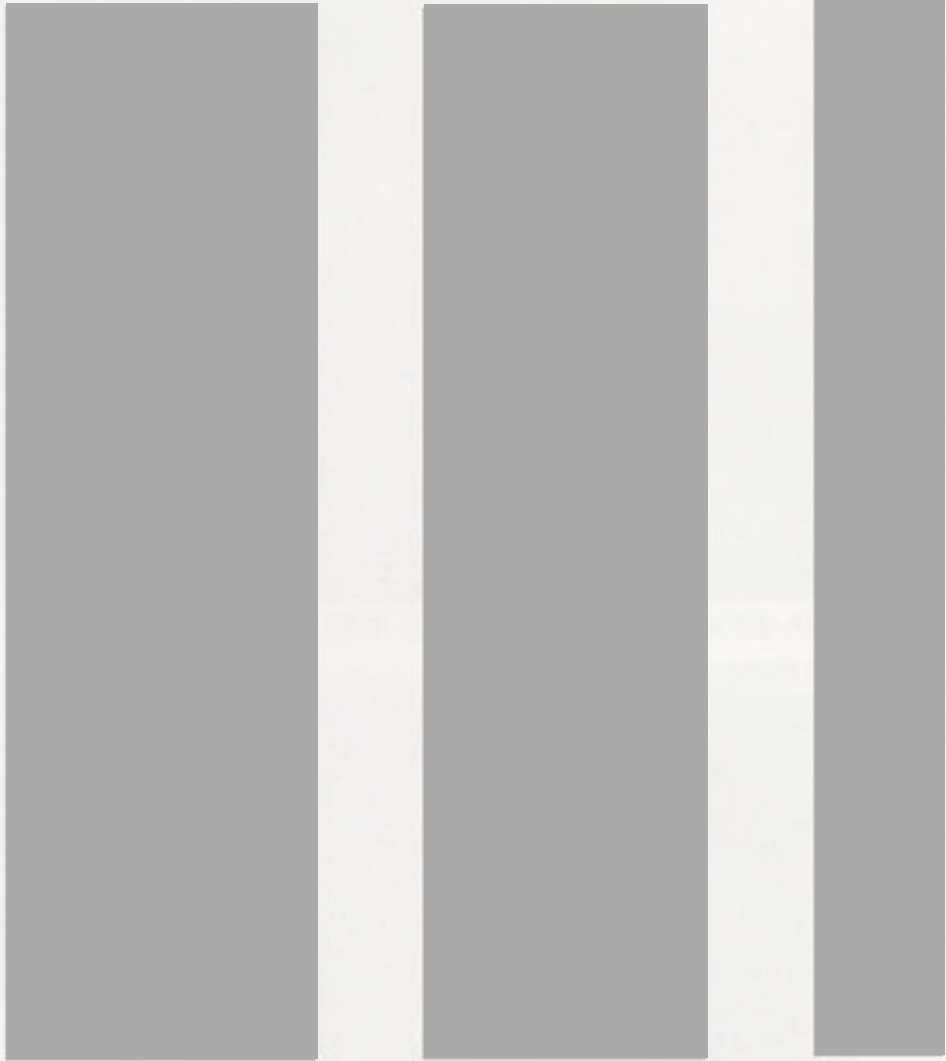


図 26~28 法雲寺所蔵「仏涅槃図」旧軸木



図 29~31 法雲寺所蔵「仏涅槃図」添付文書A (右)、B (中央)、C (左)



图 32~33 法雲寺所藏「仏涅槃図」全図（右）、動物（左）

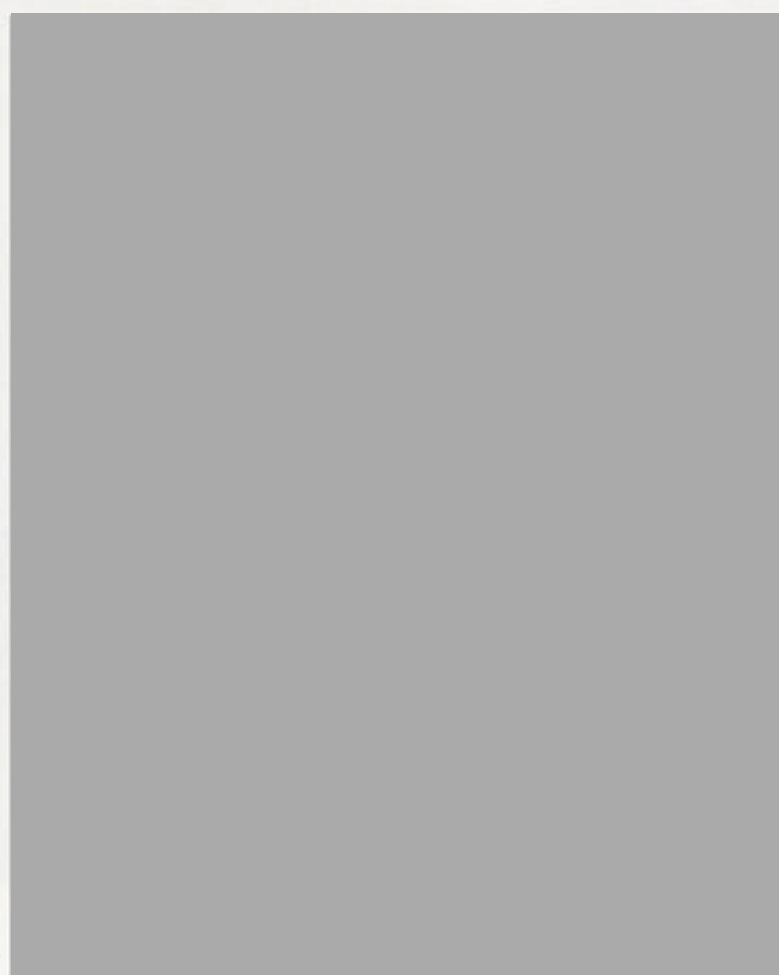


图 34 称名寺所藏「仏涅槃図」全図



图 36 称名寺所藏「仏涅槃図」摩耶夫人

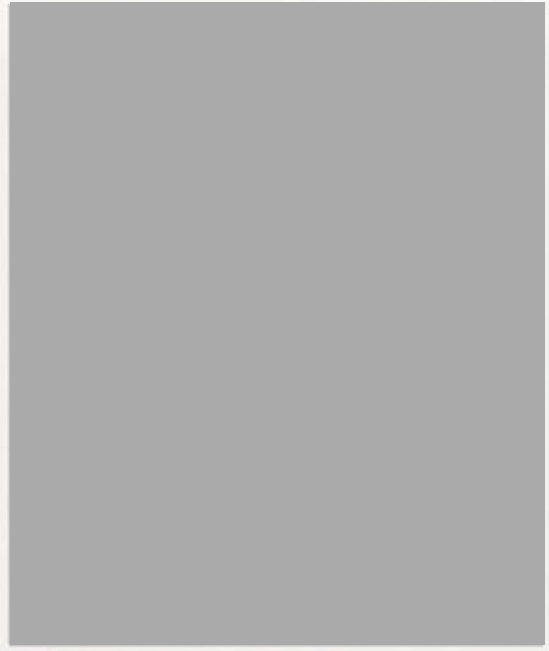


图 35 法雲寺所藏「仏涅槃図」摩耶夫人



图 38 称名寺所藏「仏涅槃図」迦陵頻伽



图 37 法雲寺所藏「仏涅槃図」迦陵頻伽



图 40 称名寺所藏「仏涅槃図」菩薩



图 39 法雲寺所藏「仏涅槃図」菩薩



図 41~42 法雲寺所藏「仏涅槃図」釈迦（上）、釈迦面相（下）



図 44 報国寺所蔵「文殊大士像」面相

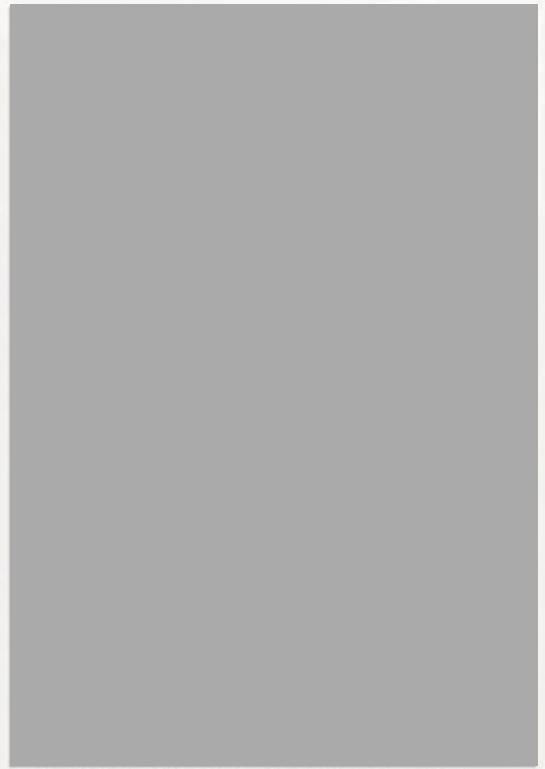
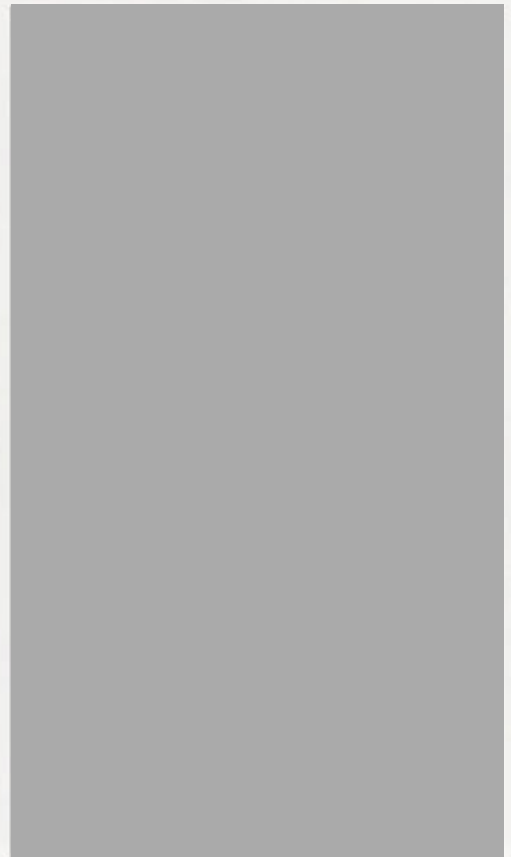


図 43 法雲寺所蔵「仏涅槃図」菩薩



図 45～46 法雲寺所蔵「仏涅槃図」沙羅双樹（右）、群衆の文様（左）



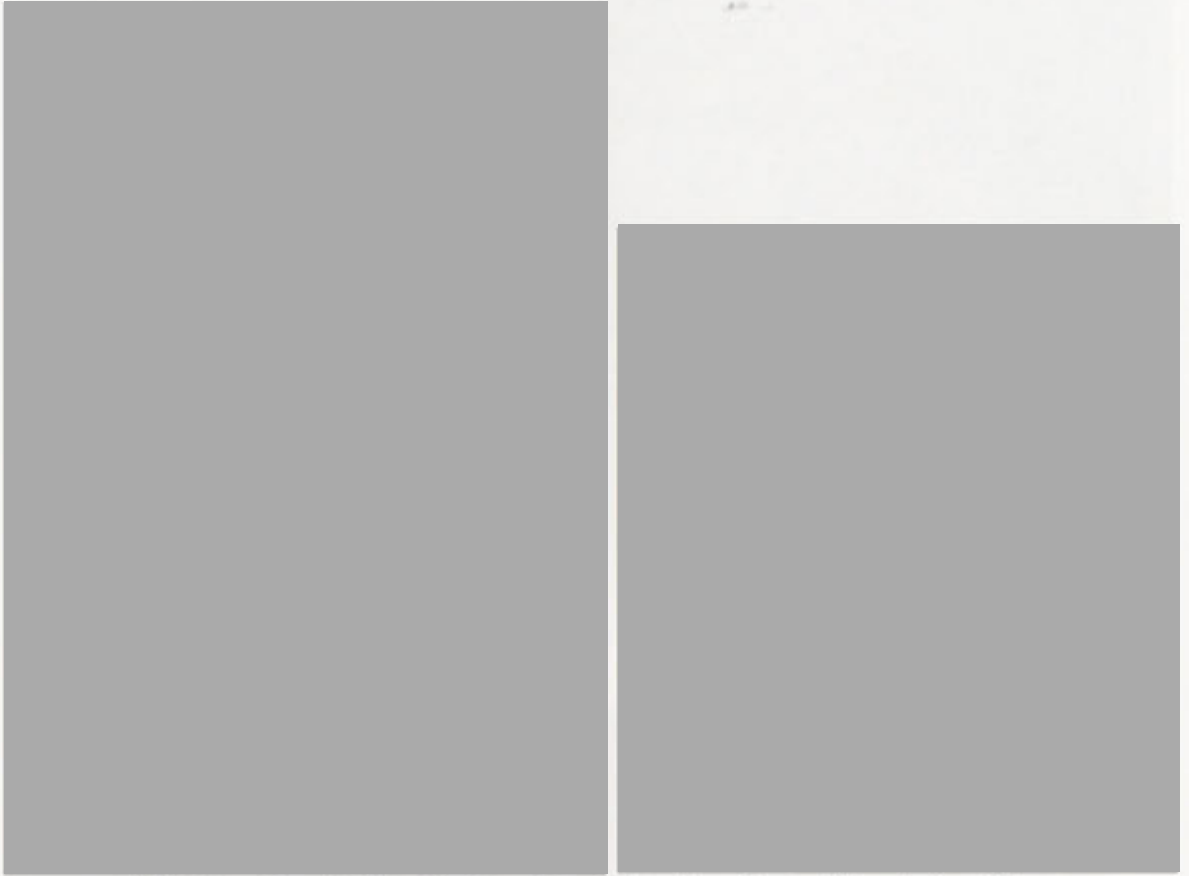


図 47、49 称名寺所蔵「三千仏図（甲本）」全図（右）、釈迦（左）



図 48 称名寺所蔵「三千仏図（甲本）」旧軸木



図 50 法雲寺所藏「仏涅槃図」釈迦面相



図 51 大樹寺所藏「仏涅槃図」釈迦面相

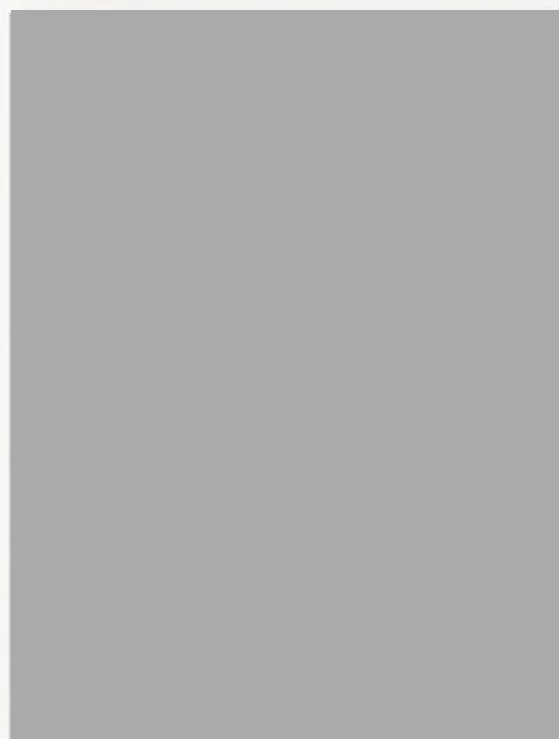


图 53 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」神將面相



图 52 法雲寺所藏「仏涅槃図」群衆



图 55 正法寺所藏「仏涅槃図」群衆



图 54 法雲寺所藏「仏涅槃図」群衆

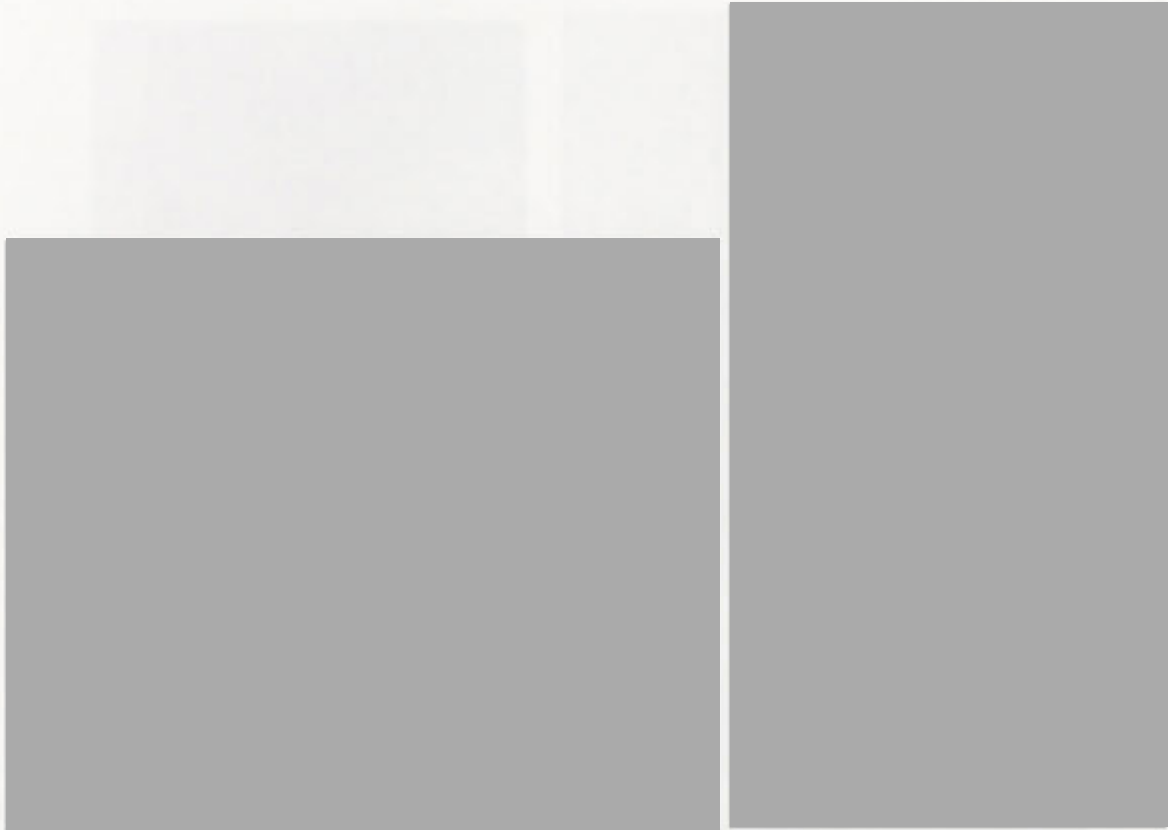


図 2 萬福寺所藏「一八羅漢像」の内

図 1 萬福寺所藏『黄檗什物帳』の内

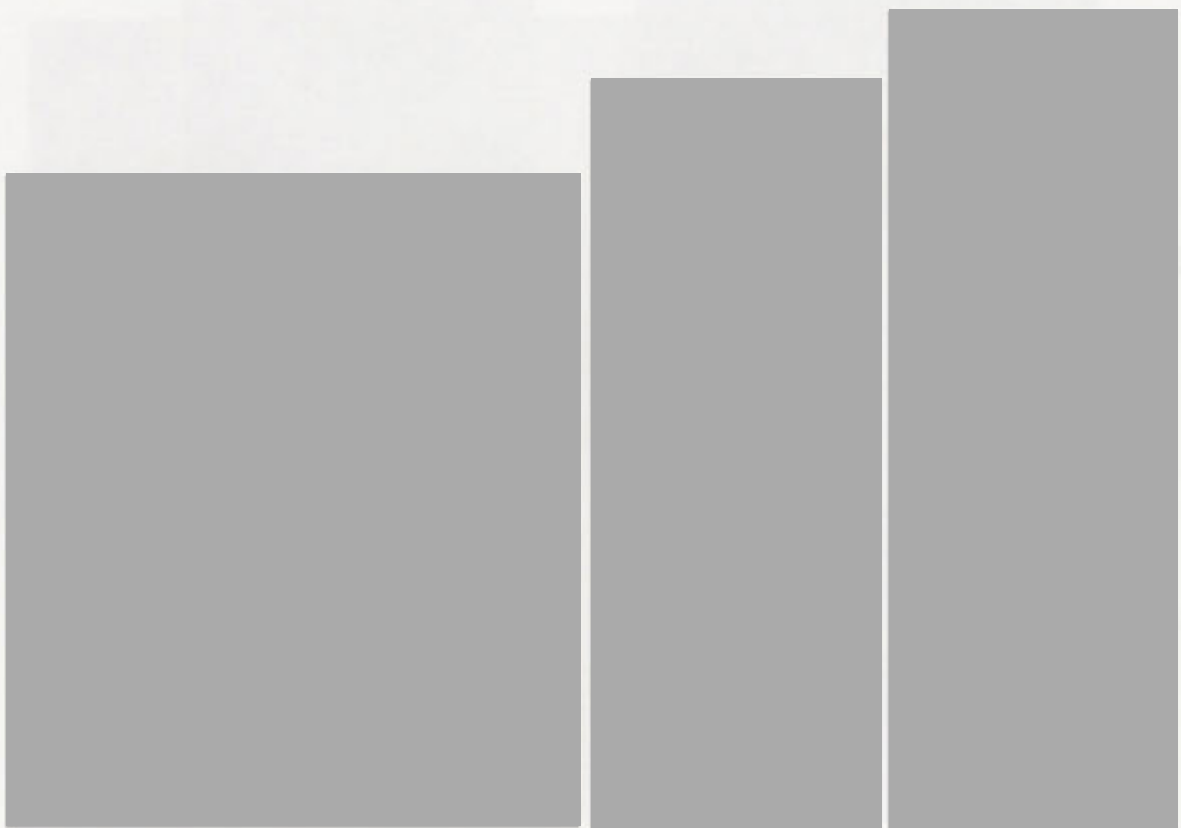


図 3、5 萬福寺所藏「一六羅漢図」全図（右）、印章（左）

図 4 萬福寺所藏『黄檗開山塔院什物数』の内（中央）

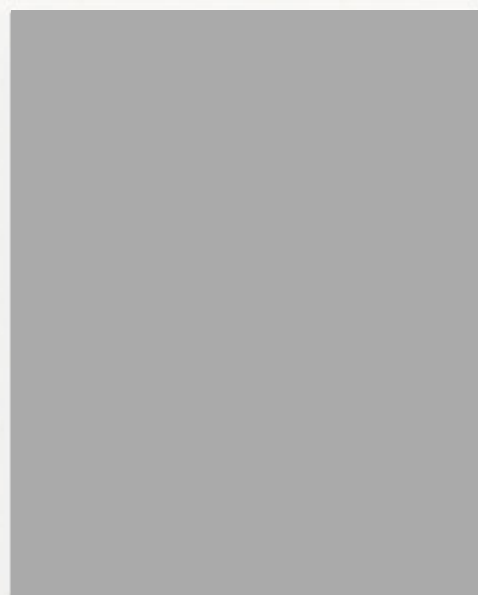


圖 7、9 大德寺所藏「五百羅漢圖」羅漢



圖 6、8 萬福寺所藏「一六羅漢圖」羅漢



圖 11 光明寺所藏「一八羅漢圖」羅漢



圖 10 萬福寺所藏「一六羅漢圖」羅漢



図 13 靈雲寺所藏「一六羅漢図」羅漢



図 12 萬福寺所藏「一六羅漢図」羅漢



図 15 東京藝大所藏「羅漢図」羅漢



図 14 萬福寺所藏「一六羅漢図」羅漢



図 16 萬福寺所藏「一六羅漢図」羅漢

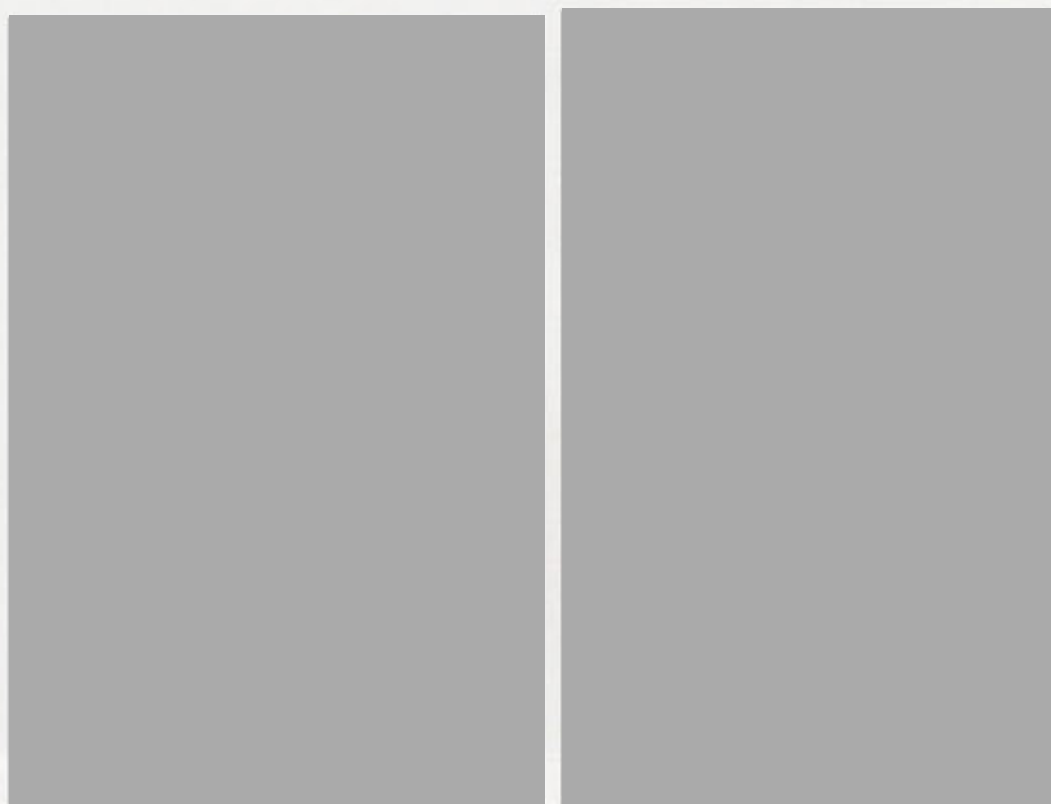


図 17~18 萬福寺所藏「一六羅漢図」龍（右）、虎（左）

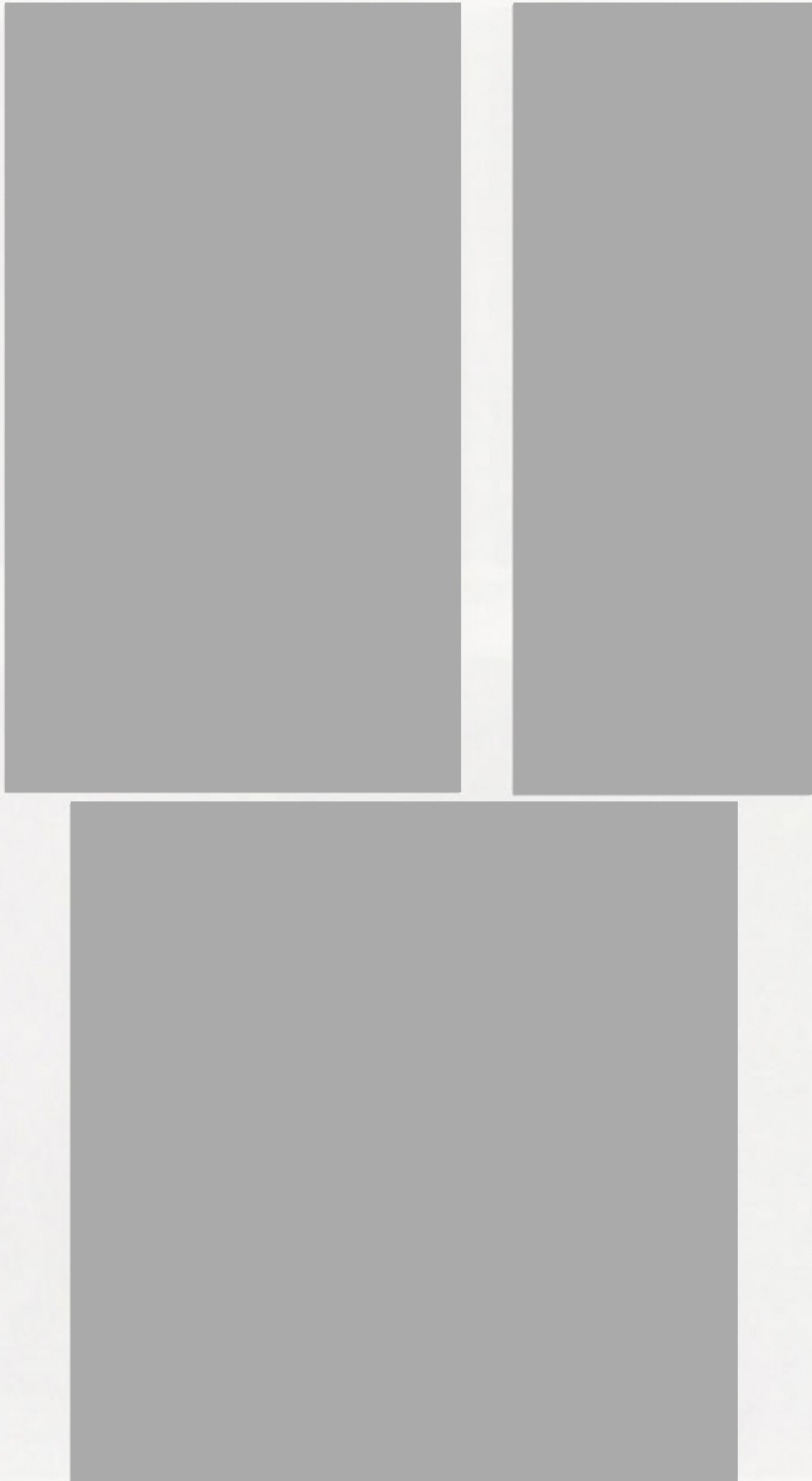


図 19～21 萬福寺所藏「一六羅漢図」全図（右上）、羅漢（左上）、面相（下）

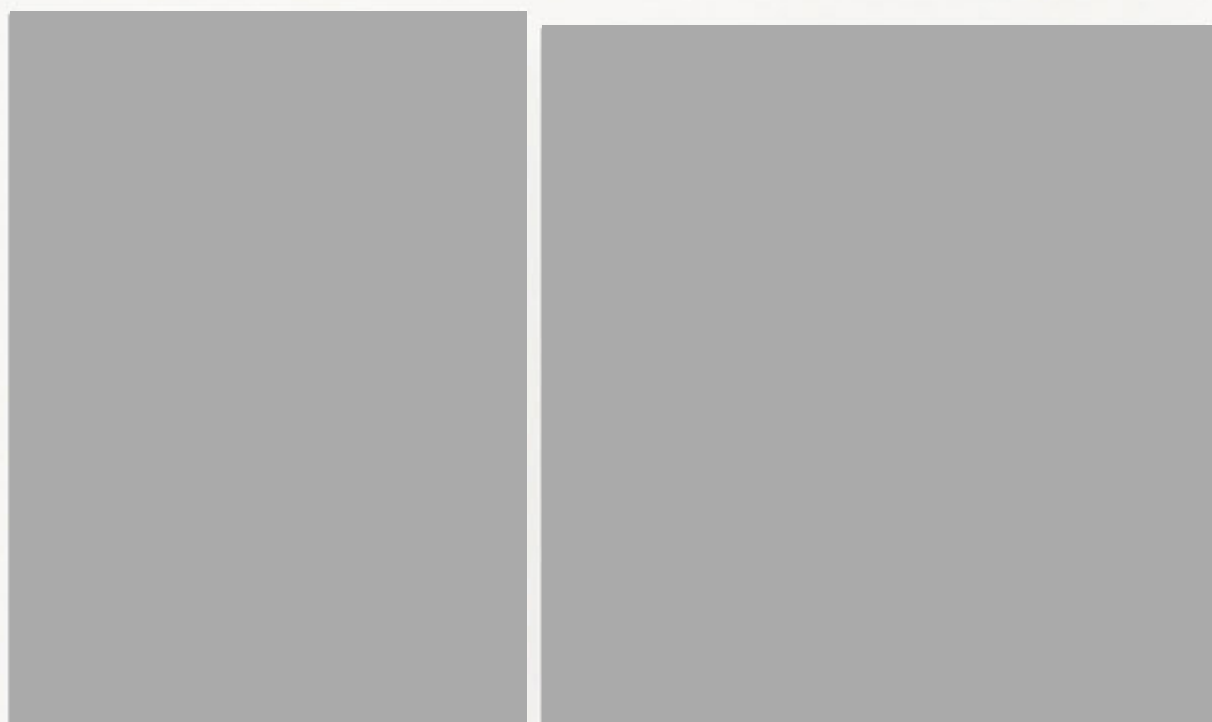


図 22～23 萬福寺所藏「一六羅漢図」衣文



図 24～25 萬福寺所藏「一六羅漢図」從者



図 27 相国寺所蔵「一六羅漢図」松樹

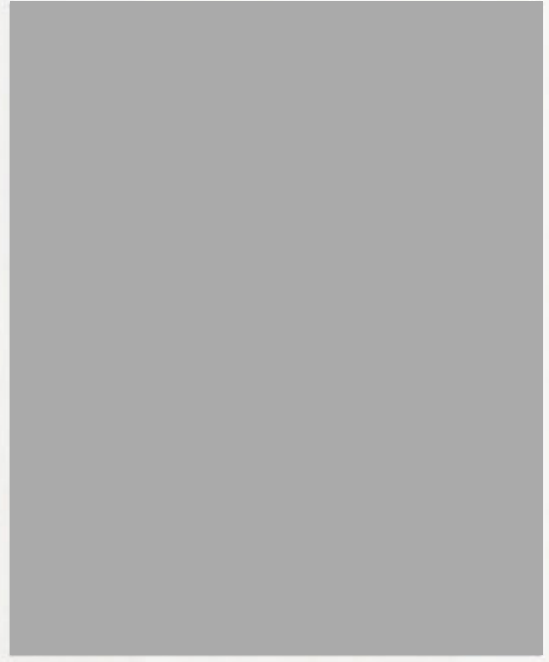


図 26 萬福寺所蔵「一六羅漢図」松樹

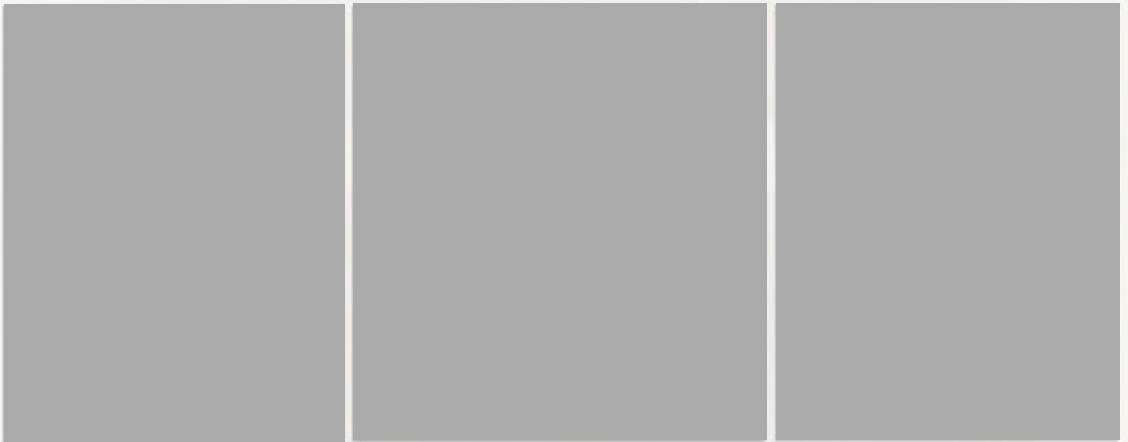


図 28～30 文様の比較 萬福寺本（右）、静嘉堂本（中央）、個人本（左）

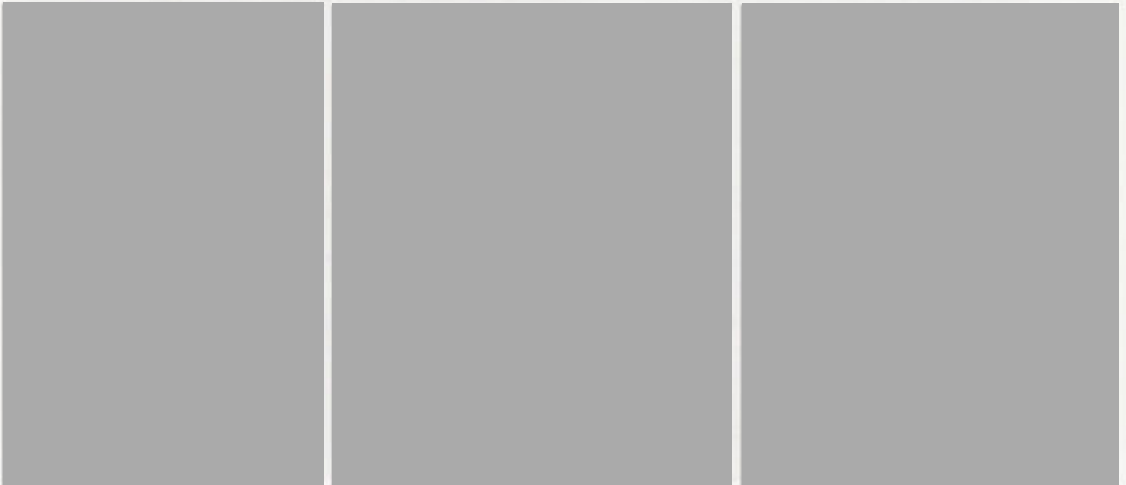


図 31～33 文様の比較 京博本（右）、正法寺本（中央）、萬福寺本（左）

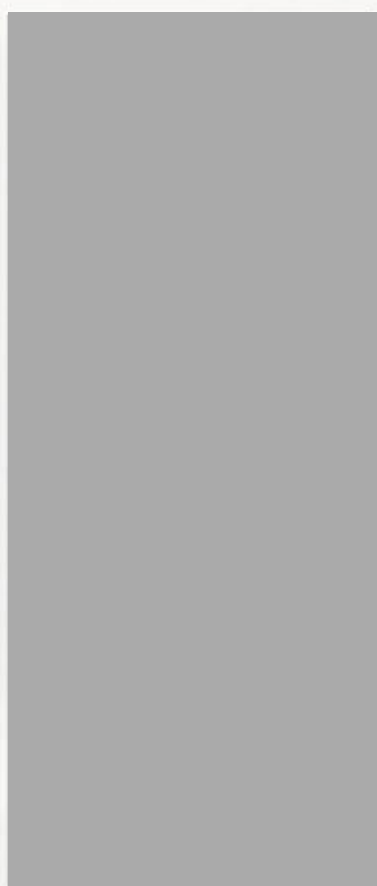


図 34 プライス財団所蔵「地天図」全図



図 36 東寺所蔵「一两天屏風」月天

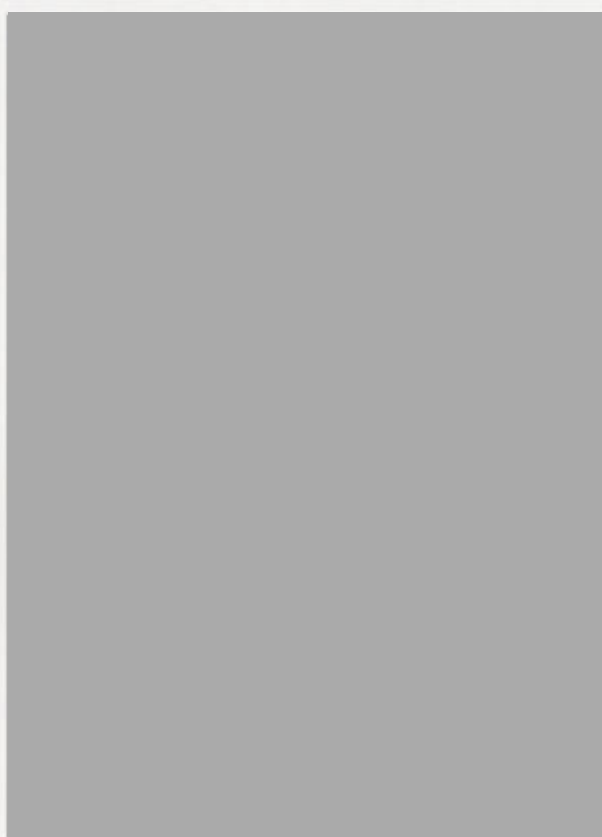


図 35 西大寺所蔵「一两天図」水天



図 38 東寺所蔵「一两天屏風」地天

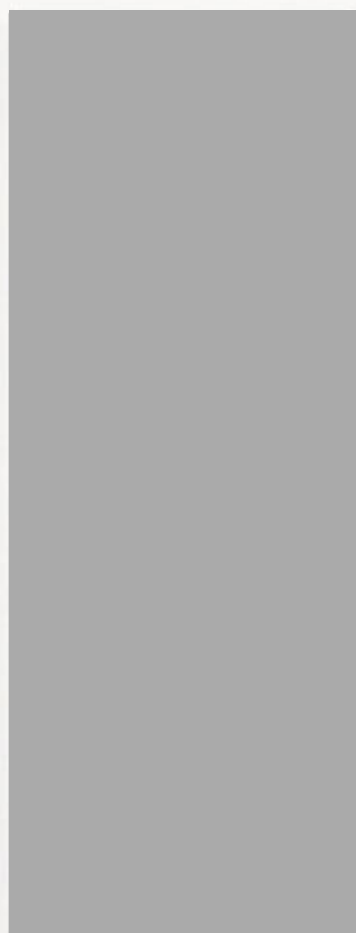


図 37 プライス財団所蔵「地天図」全図



図 39 プライス財団所蔵「地天図」面相



圖 40 プライス財団所蔵「地天図」器



圖 42 クラーク財団所蔵「地天図」器



圖 41 プライス財団所蔵「地天図」踏割蓮華



図 43 プライス財団所蔵「地天図」衣文

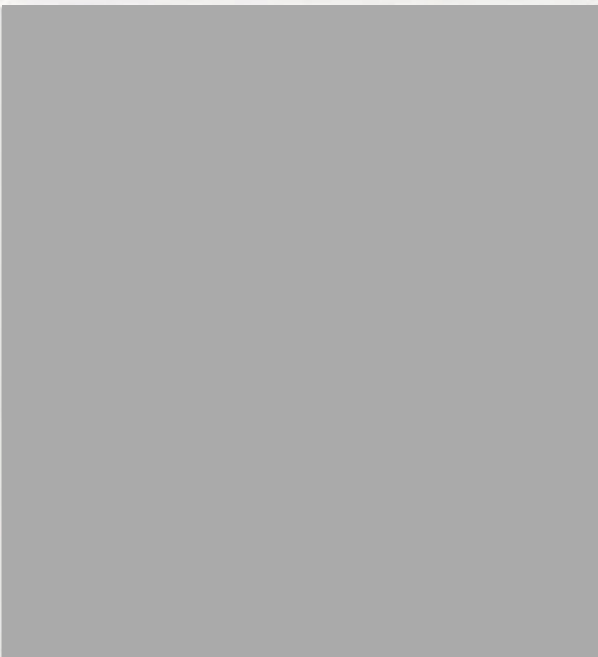


図 45 クラーク財団所蔵「地天図」雲

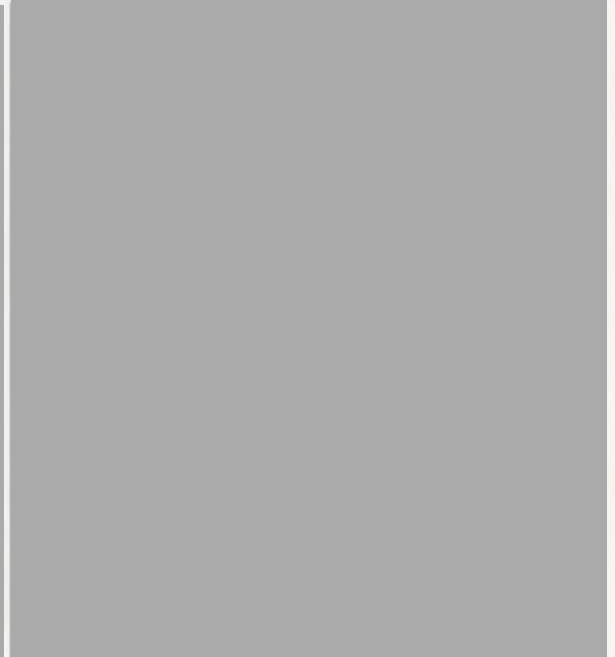


図 44 プライス財団所蔵「地天図」雲

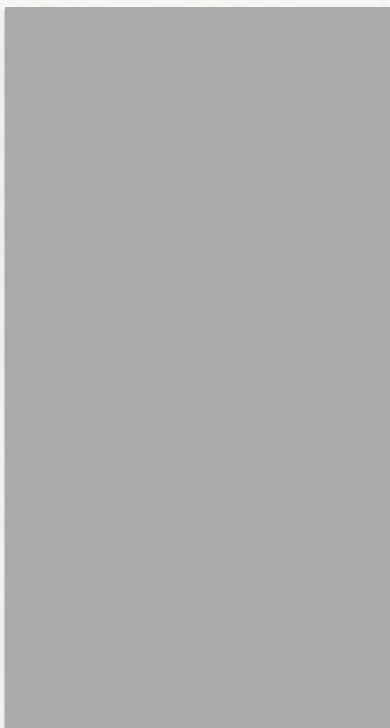


図 46～47 東寺所蔵の復古的作風の仏像 金堂薬師如来（右）、五重塔宝生如来（左）



図 49 プライス財団所蔵「地天図」文様



図 48 東寺所蔵「真言八祖像」（御影堂）龍猛



図 50 個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」文様

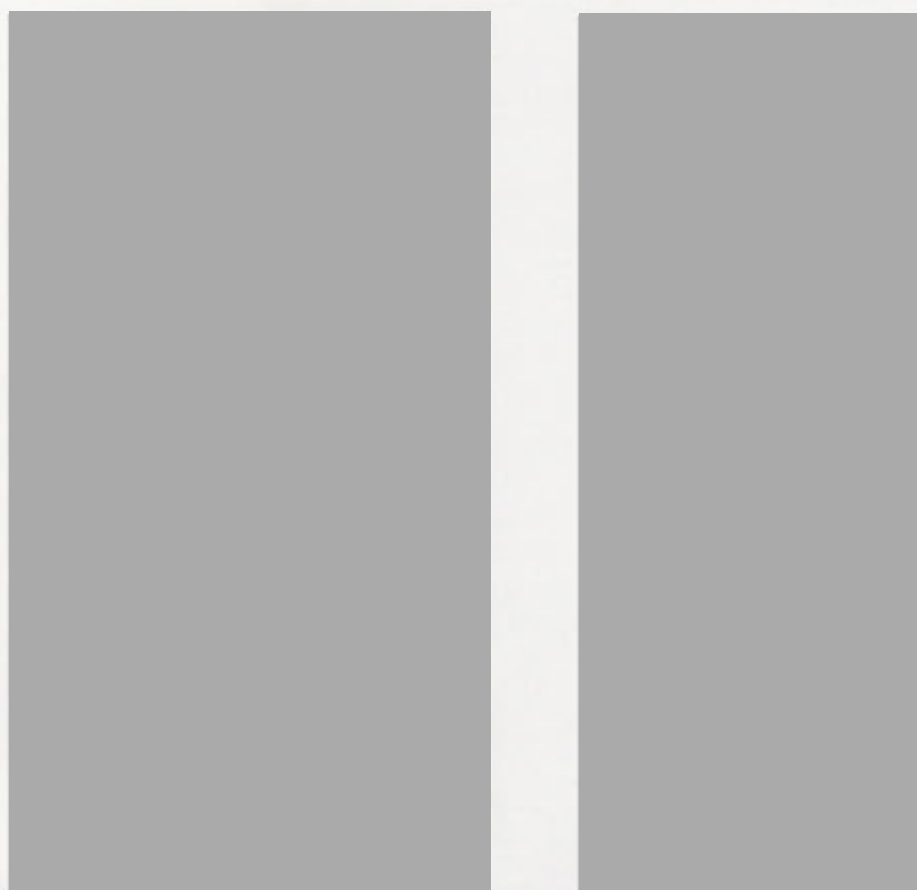


図 51～52 個人蔵「羅刹天図像」全図（右）、銘文（左）

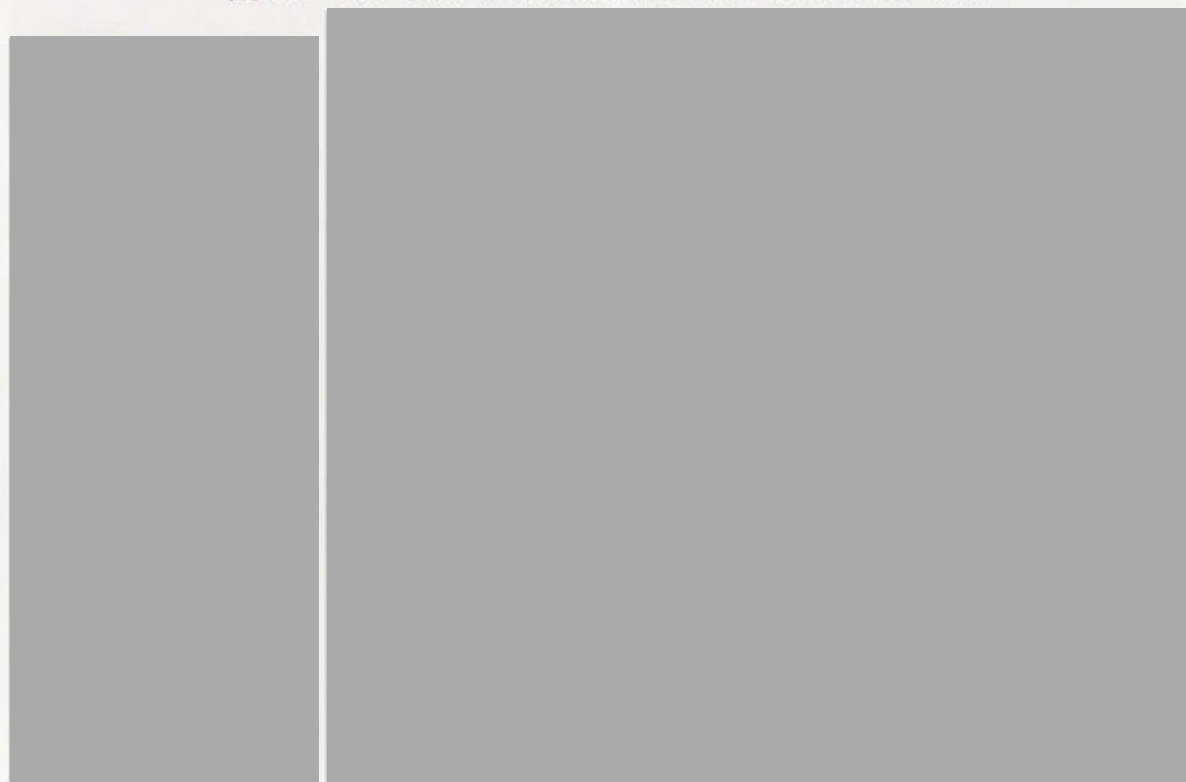


図 53～55 個人蔵「羅刹天図像」銘文（中央の図 54 は反転像）



図 56 東寺所蔵「一两天屏風」羅刹天



(東寺本 突起あり)



(個人本 突起あり)



(聖衆来迎寺本 履物を履く)



(神護寺本 履物を履く)

図 57～60 足の比較



図 61~62 個人蔵「羅刹天図像」衣文

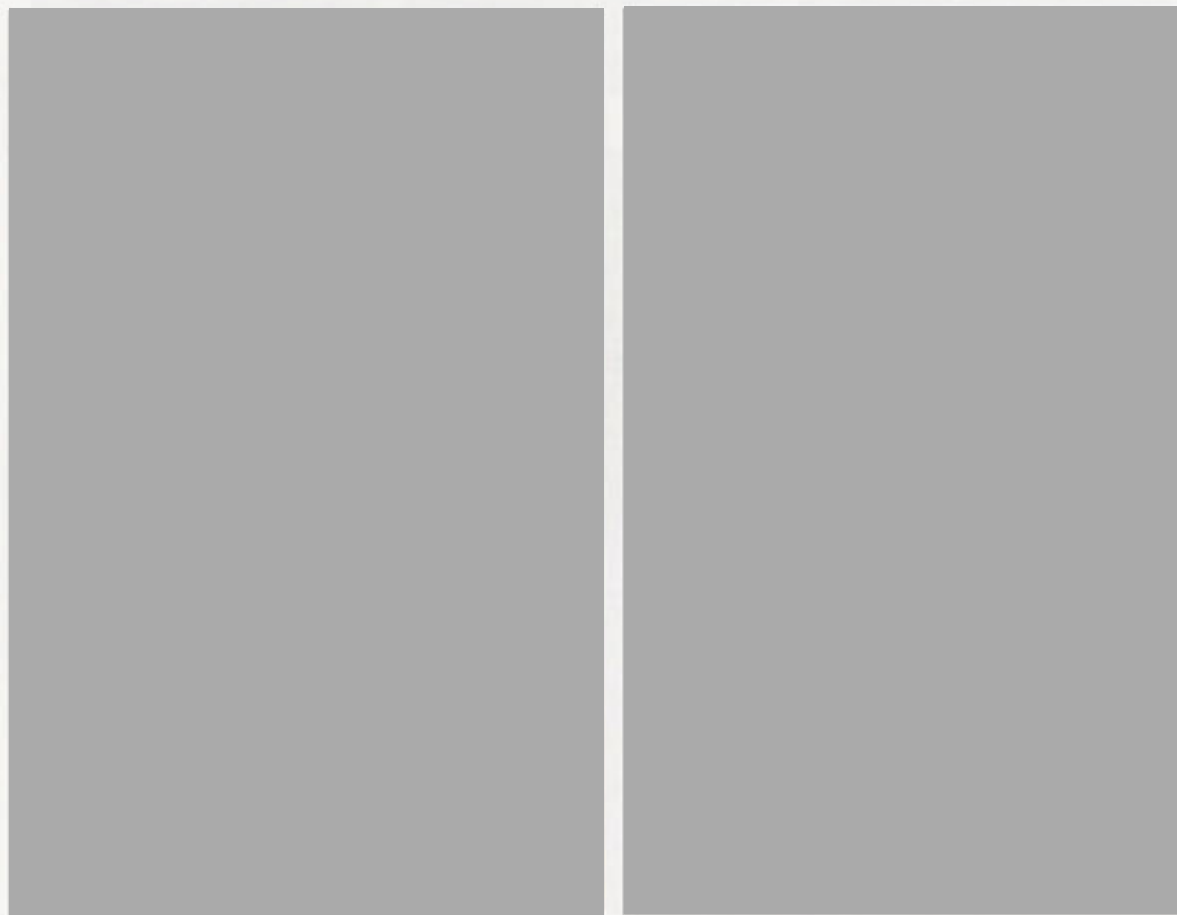


図 63~64 個人蔵「羅刹天図像」面相（右）、衣文（右）

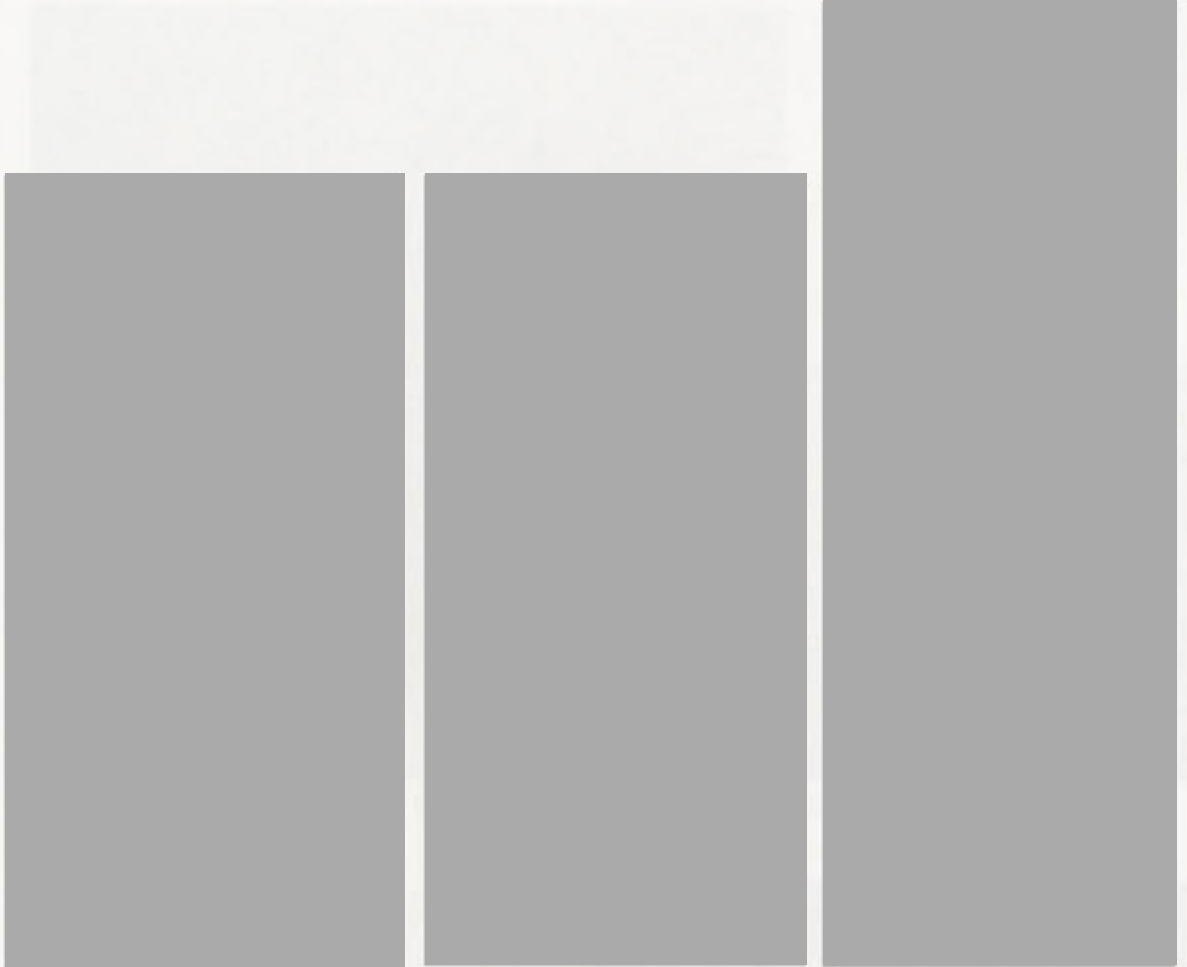


図 65～67 個人蔵「焰魔天図像」銘文（左の図 67 は反転像）



図 68 個人蔵「焰魔天図像」銘文



圖 69 個人藏「焰魔天圖像」面相



圖 70 個人藏「焰魔天圖像」手



図 1 宮内庁所蔵「繪師草子」繪師の子供の手習い場面

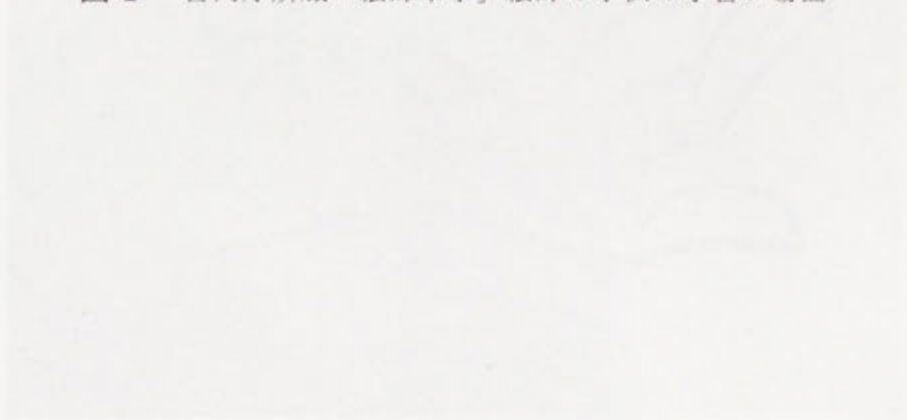




図 2 鹿王院所藏「釈迦三尊三十祖像」釈迦



図 4 福島美術館所藏
狩野常信筆「稚児文殊図」文殊

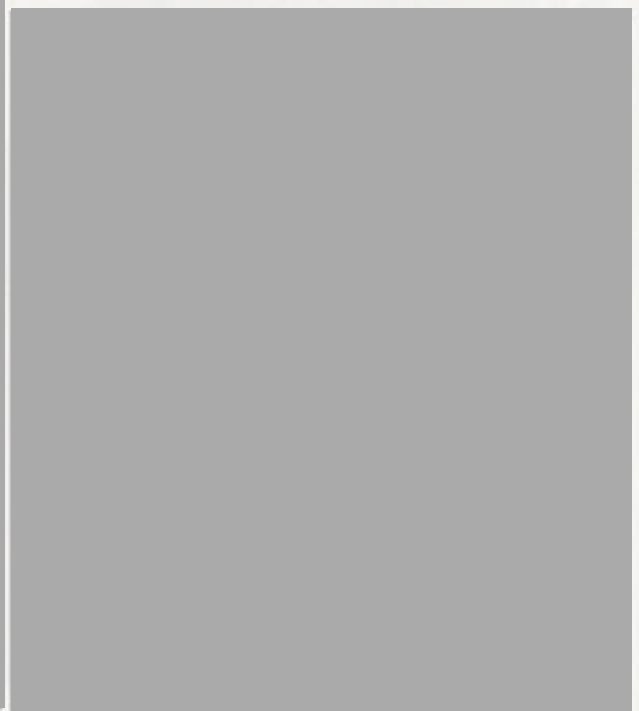


図 3 齋年寺所藏「慧可断臂図」人物

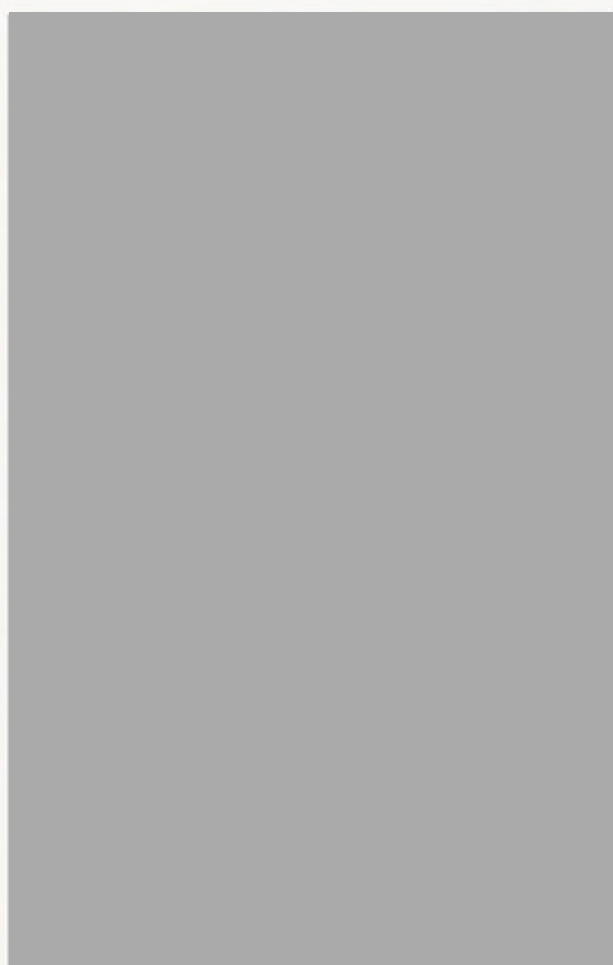


図 6 玉泉寺所蔵「白衣観音図」観音



図 5 東博所蔵「騎獅文殊図」全図



(伝赤脚子筆 静嘉堂本)



(明兆筆 東福寺本)



(良詮筆 妙興寺本)

図 7~9 明兆流の白衣観音



図 10 大東急記念文庫所蔵「寒山図」寒山



図 12 玉泉寺所蔵「白衣観音図」観音



図 11 東博所蔵「騎獅文殊図」文殊



図 14 東博所蔵「寒山拾得図」寒山



図 13 東福寺所蔵「寒山拾得図」寒山



図 16 妙興寺所蔵「如意輪観音図」観音

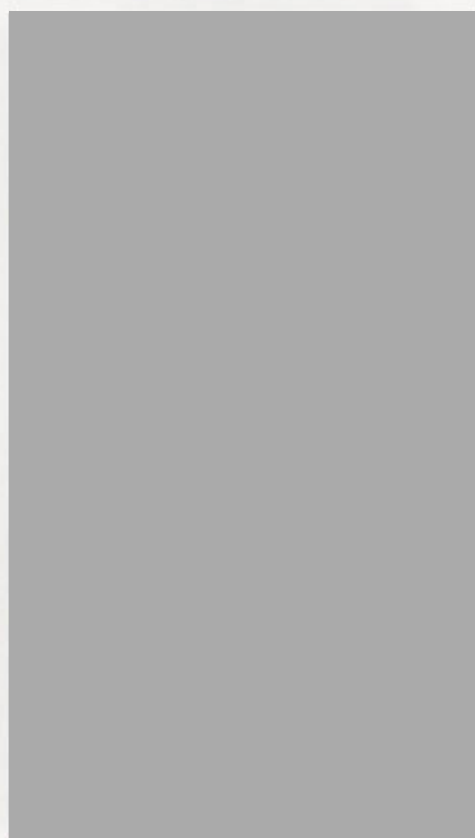


図 15 東博所蔵「騎獅文殊図」文殊

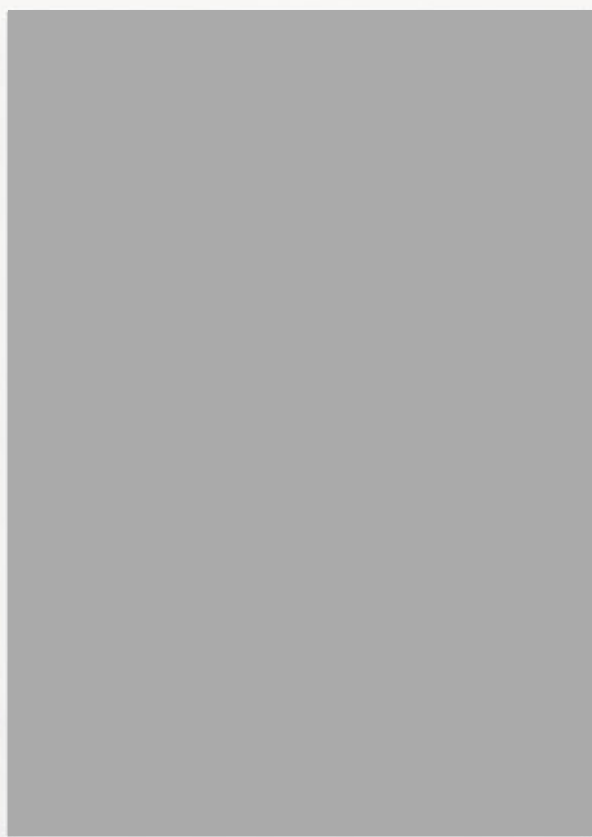


図 17~18 大蔵経寺所蔵「仏涅槃図」全図（右）、古文書（左）



図 19 正法寺所蔵「仏涅槃図」全図



図 20～22 大藏經寺所藏「仏涅槃図」全図（上）、群衆（下）

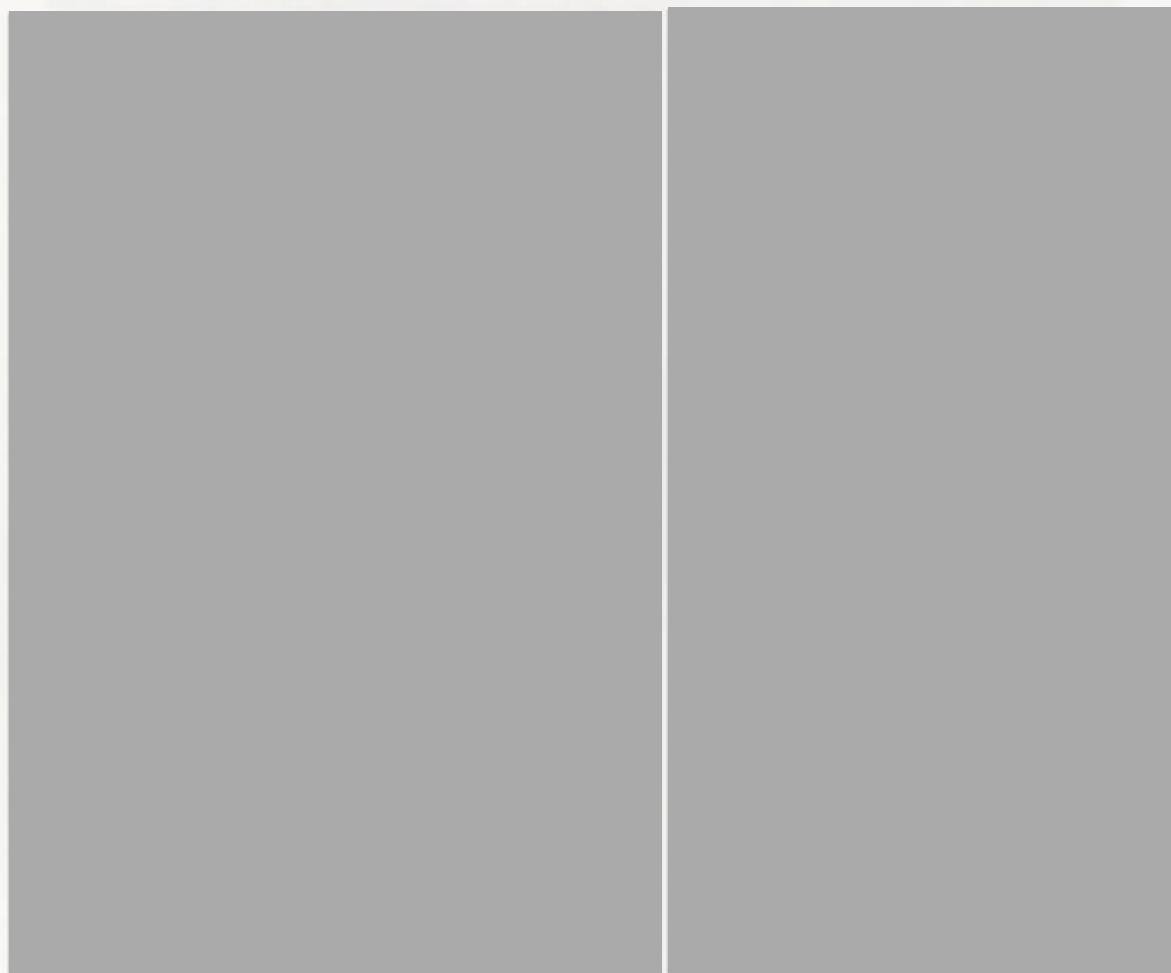


図 23～25 正法寺所藏「仏涅槃図」面相（上）、群衆（下）



図 27 正法寺所蔵「仏涅槃図」沙羅双樹

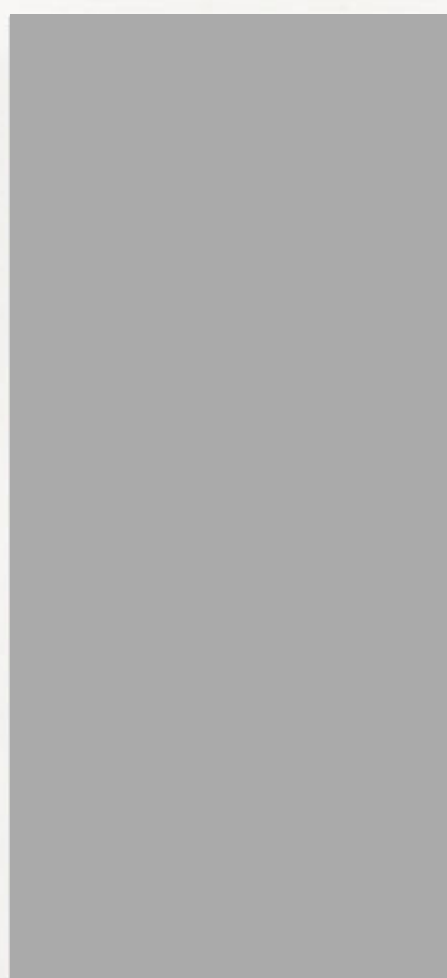


図 26 大藏経寺所蔵「仏涅槃図」沙羅双樹



図 29 正法寺所蔵「仏涅槃図」群衆



図 28 大藏経寺所蔵「仏涅槃図」群衆



図 30 大蔵経寺所蔵「仏涅槃図」群衆



図 31 正法寺所蔵「仏涅槃図」群衆



図 32～33 鎌倉時代の醍醐寺仏画の例 「聖観音像」(右)、「大日金輪像」(左)

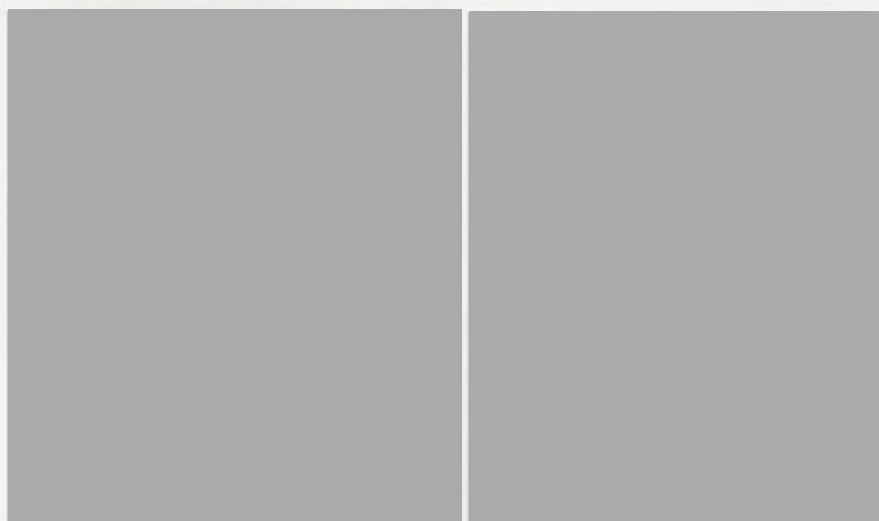


図 34～35 南北朝時代の醍醐寺仏画の例 「一字金輪像」(右)、「五大虚空蔵菩薩像」(左)

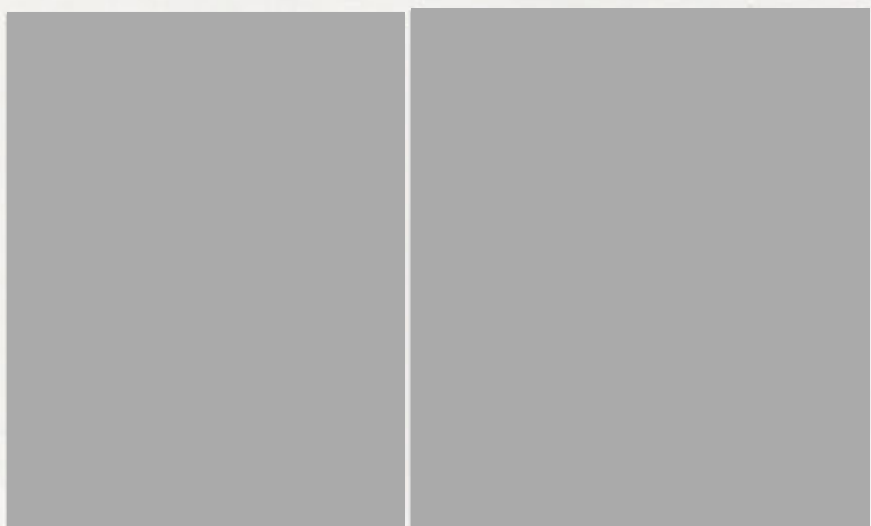


図 36～37 室町時代の醍醐寺仏画の例 「普賢延命像」(右)、「金剛薩埵像」(左)



(明兆筆 東福寺本)



(良詮筆 妙興寺本)



(伝一之筆 東博本)



(伝赤脚子筆 静嘉堂本)



(盪彩筆 玉泉寺本)

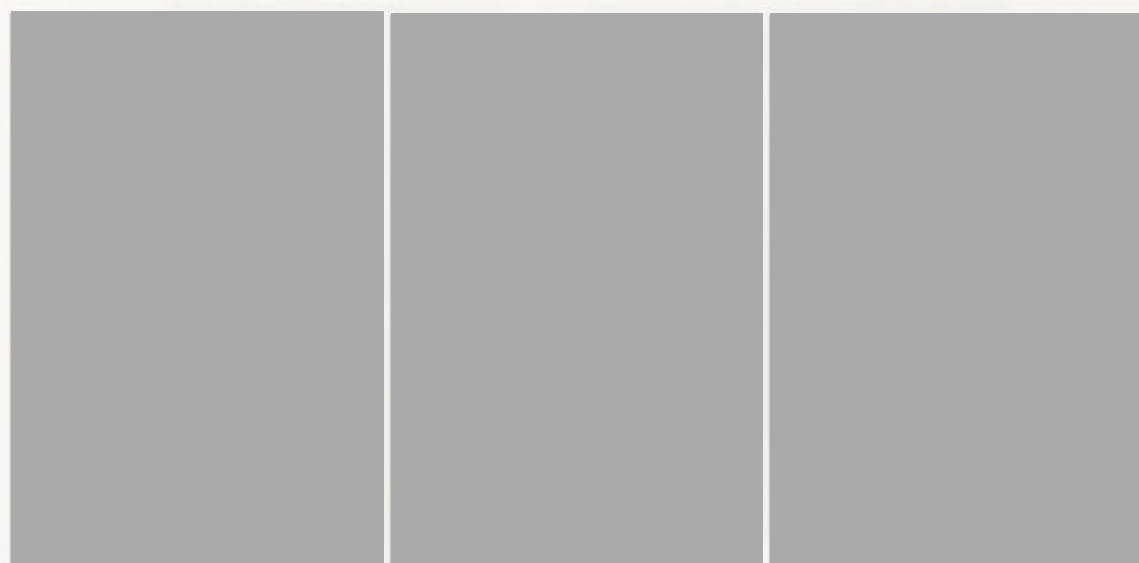


(逸然筆 長崎歴史文化博物館本)



(狩野元信筆 静嘉堂本)

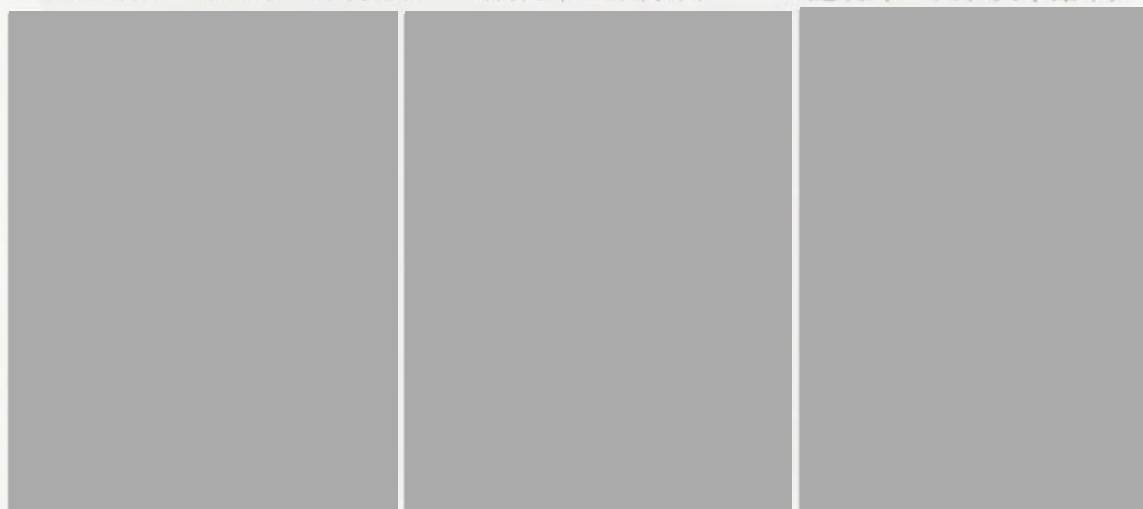
図 38～44 白衣観音の図様の統一化 (1)



(雪舟筆模本 常信筆 東博本)

(明兆筆 東博本)

(愚谿筆 大和文華館本)



(狩野探幽筆 相国寺本)

(能阿弥筆 常盤山文庫本)

(雪村筆 個人本)

図 45～50 白衣観音の図様の統一化 (2)



図 51 東福寺所蔵「釈迦三尊三十祖像」達磨

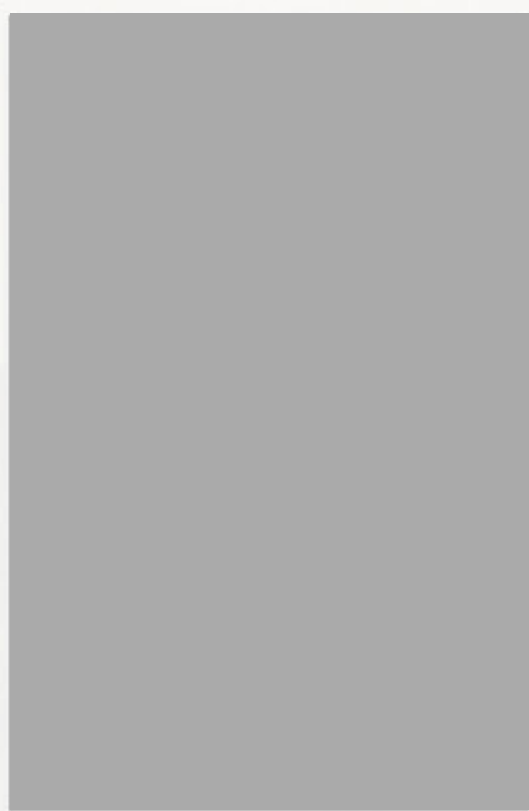


圖 53 個人藏「大威德轉法輪曼荼羅」全圖 圖 52 醍醐寺所藏「太元帥明王像」三六臂像



圖 54 靜嘉堂所藏「不動明王二童子像」全圖

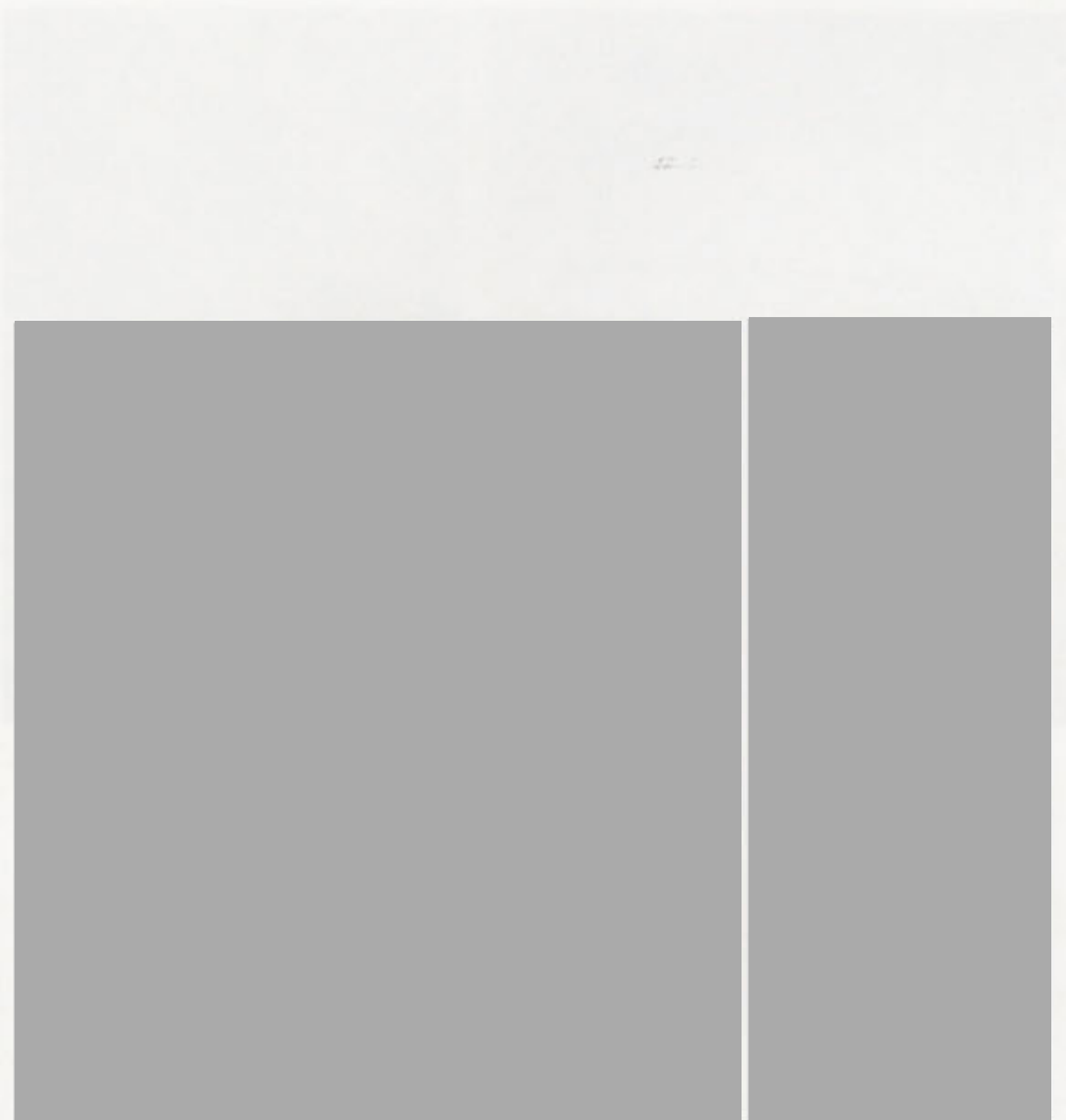


図 55 興福寺所藏「春日鹿曼荼羅」全図（右）、不空罽索觀音（左）



図 1~2 フリア美術館所蔵「普賢菩薩図」全図（右）、自然景（左）



図 3 京都国立博物館所蔵「釈迦三尊・羅漢図」羅漢幅 自然景



図 5 根津美術館所蔵「羅漢図」全図



図 4 建仁寺所蔵「一六羅漢図」全図

※ 独尊像李龍眠様の建仁寺本（図 4）や禅月様の根津美術館本（図 5）、集合像鹿王院本（図 6）において樹木が羅漢を覆う。図様（李龍眠様 or 禅月様）や形式（独尊像 or 集合像）を超えて、羅漢図では樹木に覆われる表現が広範に採用された。



図 6 鹿王院所蔵「一八羅漢図」左幅全図

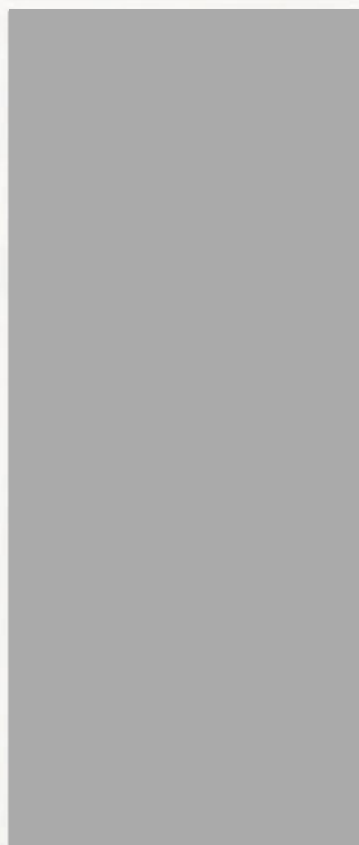


図 8 個人蔵「白衣観音図」全図

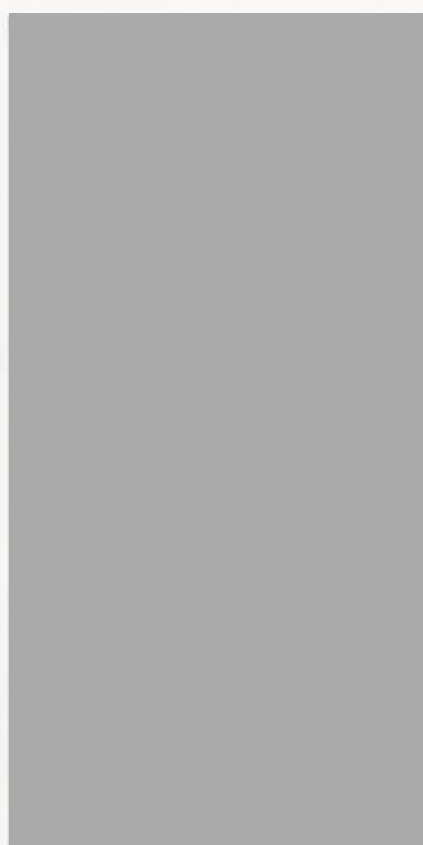


図 7 個人蔵「布袋図」全図

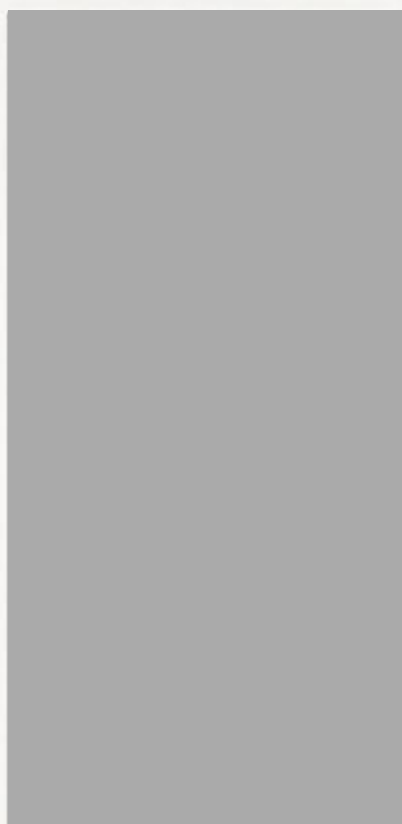


図 10 真珠庵所蔵「白衣観音図」全図

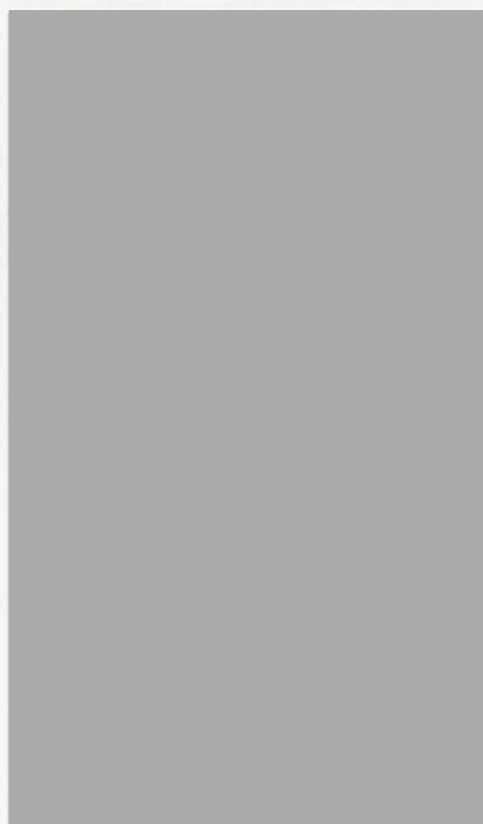


図 9 個人蔵「白衣観音図」全図

【参考資料一覧】

1. 神護寺・高山寺・平岡の位置関係 (160 頁)
2. 長賀作品一覧 (161 頁)
3. 良詮作品一覧 (162 頁)
4. 『常楽記』の記載状況 (163～65 頁)
5. 伊勢周辺における詫磨派の活動形跡 (166 頁)
6. 栄賀作品一覧 (167 頁)
7. 近代の売立目録における詫磨派作品の掲載概要 (168～70 頁)
8. 「詫磨勝賀墓碑」の位置 (171 頁)
9. 14 世紀中の法琳寺別当の補任状況 (172 頁)
10. 醍醐寺門跡の所領増加 (173、74 頁)
11. 応仁・文明の乱における平安京北東部の被災状況 (175 頁)
12. 明兆作品一覧 (176 頁)
13. 関係年表 (177～79 頁)
14. 作者名の明らかな詫磨派の現存作例一覧 (180 頁)

【参考資料 1】 神護寺・高山寺・平岡の位置関係



※ 「国土地理院地図閲覧サービス」(<http://watchizu.gsi.go.jp/index.html>) からダウンロードした地図を使用した。

【参考資料 2】長賀作品一覧

番号	名称	所蔵	法量	材質	款記	印章	伝来過程・制作年代に関する備考
1	不動明王図像	醍醐寺	173.9 ×99.0	紙墨	無し (銘あり)	無し	江戸期の補作か
2	二童子像	フリア美	【矜羯羅】 126.6 ×41.2	絹着	無し	長賀 (朱方)	醍醐寺旧蔵か
			【制吨迦】 125.8 ×42.4				
3	兀庵普寧像	正伝寺	111.8 ×49.3	絹着	無し	無し	兀庵普寧 (1197-1276) 着賛
4	一八羅漢図	所在不明	不明	絹着	無し	長賀 (朱方)	徳川達道旧蔵

※ 「番号」は「本文編」と対応している。

※ 「法量」は「縦×横センチ」で表す。

※ 「材質」の項目の「紙」は「紙本」、「絹」は「絹本」、「墨」は「墨画」、「着」は「着色」の略記である。

※ 「印章」の項目の「朱方」は「朱文方印」の略記である。

【参考資料 3】良詮作品一覧

番号	名称	所蔵	法量	材質	款記	印章	伝来過程 ・制作年代 に関する備考
1	騎獅文殊図	正木美	78.6 ×39.3	絹着	浮萍散人良詮作 (墨書)	無し	乾峯士曇 (1285-1361) 着賛
2	釈迦三尊図	神奈川 歴博	111.8 ×57.3	絹着	良詮筆 (金泥)	無し	
3	釈迦三尊図	清澄寺	【釈迦】 112.4 ×59.1	絹着	【釈迦】 海西人良全筆(金)	無し	
			【文殊】 109.5 ×44.1		【文殊】 良全作(墨)		
			【普賢】 109.1 ×44.3		【普賢】 良全筆(墨)		
4	一六羅漢図	建仁寺	143.2 ×59.6	絹着	良詮筆 (墨書)	無し	「東福寺常住」 の銘あり
5	白鷺図	個人	37.9 ×32.2	紙墨	無し	良全作 (朱)	
6	如意輪観音図	東博	109.6 ×44.1	絹墨	海西人良全筆 (金泥)	無し	
7	白衣観音図	妙興寺	88.4 ×40.2	絹墨	良全筆 (墨書)	無し	乾峯士曇 (1285-1361) 着賛
8	仏涅槃図	本覚寺	161.9 ×166.7	絹着	海西人良詮筆 嘉暦第三 二月 日 (金泥)	無し	嘉暦3年 (1328) 作

※ 「番号」は「本文編」と対応している。

※ 「法量」は「縦×横センチ」で表す。

※ 「材質」の項目の「紙」は「紙本」、「絹」は「絹本」、「墨」は「墨画」、「着」は「着色」の略記である。

※ 「印章」の項目の「朱」は「朱文印」の略記である。

【参考資料 4】『常楽記』の記載状況

年号	西暦	収録 人数	虫損による 判読不明箇所	本稿関係死没者、備考
永仁 3	1295	1	×	
嘉元 1	1303	1	×	
徳治 3	1308	1	×	憲淳（醍醐寺報恩院）
応長 1	1311	2	×	
正和 1	1312	1	×	
同 3	1314	2	×	隆勝（醍醐寺釈迦院） 『常楽記』編纂者の年齢「愚身世五歳也」
元応 2	1320	6	×	
元亨 1	1321	12	×	道順（醍醐寺報恩院）
同 2	1322	7	×	
同 3	1323	9	×	
同 4(正中 1)	1324	16	×	
正中 2	1325	14	×	
同 3(嘉暦 1)	1326	20	×	
嘉暦 2	1327	23	×	絵師宅間入道了尊
同 3	1328	10	×	
同 4(元徳 1)	1329	11	×	
元徳 2	1330	20	×	宅間式部大夫
同 3(元弘 1)	1331	8	×	
同 4(元弘 2)	1332	16	×	信耀（醍醐寺理性院）、宅間遠江法印朝勝 『常楽記』編纂者の母の死没「御母儀、六十八」
同 5(元弘 3)	1333	4	×	
建武 1	1334	5	×	
同 2	1335	5	×	
同 3	1336	7	×	
同 4	1337	5	×	
同 5(暦応 1)	1338	5	×	
暦応 2	1339	6	×	後醍醐天皇
同 3	1340	5	×	慶尊（醍醐寺僧）
同 4	1341	7	×	
同 5(康永 1)	1342	9	×	
康永 2	1343	6	×	
同 3	1344	6	×	
同 4(貞和 1)	1345	9	×	
貞和 2	1346	12	×	
同 3	1347	11	×	
同 4	1348	11	×	

同 5	1349	6	×	
同 6(觀応 1)	1350	8	×	
観応 2	1351	19	×	
同 3(文和 1)	1352	20	×	
文和 2	1353	17	×	隆舜(醍醐寺報恩院)、実助(同金剛王院)
同 3	1354	10	×	北畠親房
同 4	1355	9	×	
同 5(延文 1)	1356	10	×	
延文 2	1357	9	×	賢俊(醍醐寺三宝院)、文観(同報恩院)
同 3	1358	12	×	足利尊氏
同 4	1359	11	×	
同 5	1360	4	×	
康安 1	1361	4	×	
同 2(貞治 1)	1362	3	×	
貞治 2	1363	3	×	
同 3	1364	13	×	
同 4	1365	9	×	
同 5	1366	13	×	
同 6	1367	12	×	足利義詮
同 7(応安 1)	1368	3	×	
応安 2	1369	7	×	
同 3	1370	28	×	聖尊(醍醐寺遍智院)
同 4	1371	15	×	
同 5	1372	7	×	
同 6	1373	9	×	
同 7	1374	10	×	
同 8(永和 1)	1375	4	×	
永和 2	1376	10	×	
同 3	1377	9	×	
同 4	1378	15	×	
康暦 1	1379	19	×	光濟(醍醐寺三宝院)
同 2	1380	11	×	
永徳 1	1381	9	×	
同 2	1382	8	×	
同 3	1383	5	×	
至徳 1	1384	12	×	
同 2	1385	4	×	
同 3	1386	5	×	随教(醍醐寺僧、鐘突)
同 4(嘉慶 1)	1387	18	×	
嘉慶 2	1388	21	×	
同 3(康応 1)	1389	12	×	光助(醍醐寺円光院)
康応 2(明德 1)	1390	6	×	
明德 2	1391	23	×	教善(醍醐寺理性院)

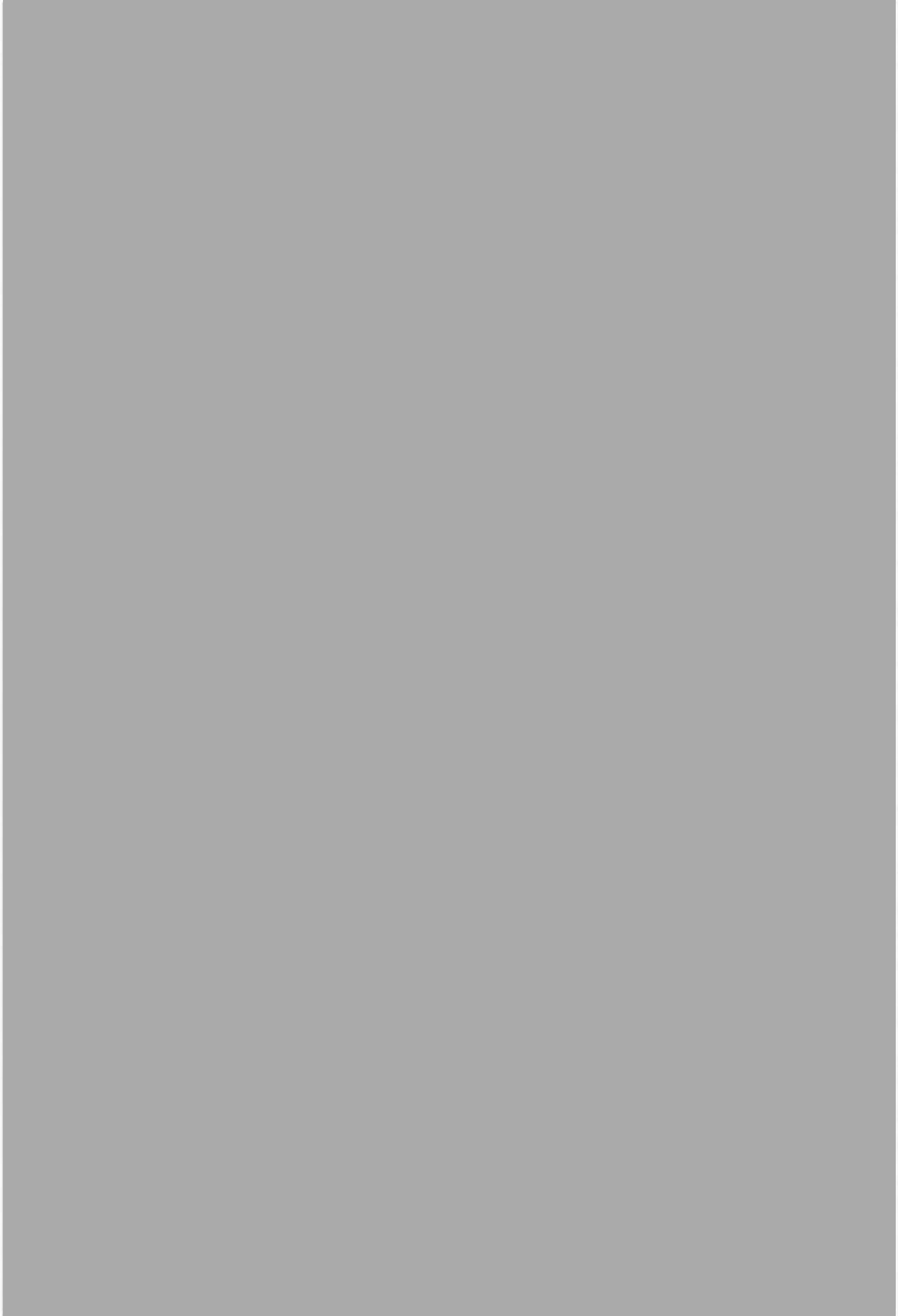
同 3	1392	10	×	
同 4	1393	11	×	
同 5(応永 1)	1394	2	×	
応永 2	1395	7	△	
同 3	1396	0	●	
同 4	1397	0	●	
同 5	1398	0	●	
同 6	1399	1	×	
同 7	1400	1	×	
同 8	1401	1	×	
同 9	1402	1	×	
同 10	1403	0	○	
同 11	1404	0	●	
同 12	1405	6	×	
同 13	1406	2	×	
同 14	1407	0	○	
同 15	1408	4	×	足利義満
同 16	1409	0	○	
同 17	1410	2	×	
同 18	1411	0	○	
同 19	1412	3	×	
同 20	1413	9	△	
同 21	1414	2	△	
同 22	1415	6	×	
同 23	1416	0	○	
同 24	1417	0	○	
同 25	1418	2	△	
同 26	1419	7	×	
同 27	1420	4	△	
同 28	1421	0	○	
同 29	1422	0	○	
同 30	1423	0	●	
同 31	1424	8	×	六角絵所寂濟
同 32	1425	0	●	『常楽記』原本に死没者が記された最終年か
応仁 1	1467	9	△	『常楽記』原本が筆写される

※ 群書類従所載本『常楽記』を底本とした。

※ 名前(俗名、法名)、官(僧)職、所属など、個人の属性が明示されている者を計上し、その総数は853名である。但し、「凡死人二百余人」(嘉慶2年5月9日)など、死亡者の詳細や正確な死亡人数が明らかでないものは計上していない。

※ 「虫損による判読不明箇所」は、上記底本の記載に基づく。「○」は該当年の全てが判読不能であること、「●」は全て判読不能である可能性が高いこと、「△」は一部判読不能であること、「×」は全て判読可能であることを示す。

【参考資料 5】伊勢周辺における詫磨派の活動形跡



【参考資料 6】 栄賀作品一覧

番号	名称	所蔵	法量	材質	款記	印章	伝来過程・制作年代 に関する備考
1	愛染明王像	大慈恩寺	95.2 × 53.6	絹着	詫磨法眼栄賀筆 (墨書)	無し	
2	柿本人麿像	常盤山	84.5 × 41.2	絹着	無し	栄賀 (朱長)	性海霊見着賛 (1395年)
3	釈迦三尊 羅漢図	京博	【各】 100.8 ×52.2	絹着	【釈迦三尊】 詫磨栄賀筆 (墨書)	無し	羅漢図右幅亡失 頂妙寺旧蔵
					【羅漢】 無し		
4	一六羅漢図	藤田美	【各】 90.7 ×40.5	絹着	詫磨法眼栄賀筆 (墨書)	栄賀 (朱長)	肥前安国寺旧蔵か
5	普賢菩薩図	フリア美	67.9 × 41.2	絹墨淡	無し	栄賀 (朱長)	
6	仏涅槃図	大樹寺	168.2 × 123.4	絹着	詫磨法眼栄賀筆 (墨書)	栄賀 (朱長)	江戸時代前期 には大樹寺蔵
7	不動明王 二童子像	静嘉堂	145.8 × 57.0	絹着	栄賀筆(金泥)	無し	
8	布袋図	個人	86.1 × 40.1	絹墨	無し	栄賀 (朱長)	
9	山越阿弥陀図	出光美	143.0 × 58.0	絹着	詫磨栄賀筆 (金泥)	無し	

※ 「番号」は「本文編」と対応している。

※ 「法量」は「縦×横センチ」で表す。

※ 「材質」の項目の「紙」は「紙本」、「絹」は「絹本」、「墨」は「墨画」、「着」は「着色」、
「淡」は「淡彩」の略記である。

※ 「印章」の項目の「朱長」は「朱文長方印」の略記である。

【参考資料 7】近代の売立目録における詫磨派作品の掲載概要

番号	開催月日	所蔵者	会場	絵師名	面題
1	明治 43 年 (1910) 11 月 18 日	土倉	大阪 商盛組	宅磨法眼	十六羅漢
2	明治 44 年 (1911) 5 月 22 日	池田清助	京美俱	宅間勝賀	文殊大士
3	5 月 30 日	某大家	東美俱	法印勝賀	十八羅漢
4	11 月 28 日	某家	東美俱	藤原為信	普賢菩薩
5	明治 45 年 (1912) 3 月 27 日	某旧家	大阪 商盛組	宅磨為久	薬師如来
6	5 月 27 日	寸松庵	京美俱	宅磨松溪 宅磨栄賀	真山水 羅漢
7	大正元年 (1912) 11 月 25 日	山田柏庵・某旧家	京美俱	宅間澄賀	弥陀三尊
8	大正 2 年 (1913) 3 月 17 日	某家	東美俱	宅磨勝賀	聖徳太子 毘沙門
9	6 月 18 日	柏木	大美俱	栄賀 宅磨法眼	人麿 羅漢
10	10 月 18 日	某家	東美俱	宅磨良賀	羅漢
11	11 月 7 日	西本願寺大谷家	西本願寺	宅磨澄賀	西葉尊立像
12	11 月 18 日	某伯爵	大美俱	宅磨為成 宅磨	如意輪観音 松鹿・竹鶴双幅
13	大正 3 年 (1914) 5 月 12 日	内藤嘉右衛門	京美俱	宅間勝賀	出山釈迦
14	大正 4 年 (1915) 5 月 20 日	某家	大美俱	宅磨了尊	地藏尊
15	6 月 21 日	某伯爵	東美俱	宅磨法眼	十二天
16	10 月 4 日	某子爵・某大家	東美俱	宅磨	淡彩柏鷹
17	10 月 24 日	生嶋	大美俱	宅磨栄賀	羅漢
18	11 月 4 日	積翠庵	大美俱	宅磨栄賀	岩上弁才天
19	12 月 3 日	奈良県某男爵家 ・奈良市某旧家	大美俱	宅間	釈迦十六善神 釈迦大幅 大威徳明王

20	大正 5 年 (1916) 4 月 17 日	鍋倉直	東美俱	宅間榮賀	五髻文殊、涅槃図
21	6 月 26 日	土方伯爵・某子爵家	東美俱	為遠 榮賀	地藏尊 不動尊
22	10 月 3 日	三浦子爵	東美俱	宅磨榮賀	普化和尚
23	11 月 13 日	奈良市某 ・信州飯田某家	大美俱	榮賀	孔子像
24	11 月 22 日	蓬樞閣小林氏	東美俱	宅磨為氏	釈迦文殊普賢図
25	12 月 14 日	関男爵家 ・旧江戸五人衆某家	東美俱	宅磨榮賀	泥書蟹
26	大正 6 年 (1917) 1 月 29 日	某家	東美俱	宅磨良賀	羅漢
27	2 月 19 日	萩原家・某家	東美俱	宅磨了尊	十六善神図
28	4 月 10 日	加藤和楽庵	京美俱	宅間法眼 宅間榮賀	十二天尊像 地藏尊
29	4 月 23 日	某家・某家	東美俱	宅磨為行	三尊仏
30	6 月 11 日	赤星	東美俱	宅磨澄賀	弥陀来迎図
31	6 月 18 日	吹田生田氏・下京某氏	京美俱	宅磨	赤童子
32	9 月 22 日	税所子爵家・某家	大美俱	宅磨澄賀 宅磨良賀 宅磨派	松下羅漢 春日赤童子 観音座像
33	10 月 6 日	高橋男爵家	東美俱	為遠 宅磨了尊	不動二童子 金剛界大日如来
34	10 月 8 日	赤星	東美俱	宅磨為久	十六羅漢
35	10 月 15 日	赤星	東美俱	榮賀 宅磨為久	人鷹 頼朝公像
36	11 月 1 日	高田博士	東美俱	宅磨良賀	羅漢
37	11 月 5 日	佐竹侯爵	東美俱	宅磨榮賀	龍虎
38	12 月 11 日	大内清巒	寛永寺	伝宅磨為成 伝宅磨為久	不動明王 地藏菩薩
39	大正 7 年 (1918) 4 月 5 日	高橋家	東美俱	宅磨澄賀	十二天 (二幅)
40	5 月 11 日	某家	大美俱	宅間	十六羅漢・三尊仏

41	10月21日	徳川公爵	東美俱	宅磨澄賀	不動
42	12月2日	冷泉子爵家・某家	東美俱	為久	羅漢
43	12月12日	某子爵家	東美俱	宅磨榮賀	弁才天
44	大正8年(1919)12月22日	某家	東美俱	榮賀	弁財天
45	大正9年(1920)2月19日	丹羽子爵家・某家	東美俱	托摩	不動尊
46	3月29日	国府寺家・馬島家	東美俱	宅磨良賀	羅漢
47	11月8日	旧華族・某大家	東美俱	榮賀	月天
48	大正10年(1921)3月7日	末久子爵	東美俱	宅磨為久	頼朝公像
49	大正11年(1922)7月14日	中村(雁半)	東美俱	琢麻	聖徳太子像
50	12月5日	某家	京美俱	宅磨	十六善神・五大力
51	大正12年(1923)2月19日	伯爵山田空齋	東美俱	宅磨	中阿弥陀左右来迎仏
52	4月2日	大河内家・某家	東美俱	宅磨澄賀	恵果和尚
53	5月21日	群馬県高崎市中嶋家	東美俱	榮賀	羅漢
54	6月7日	某旧家・某家	東美俱	宅磨	瀧見羅漢
55	6月4日	下条桂谷翁	東美俱	宅磨榮賀 宅磨為久	菅公 不動尊
56	大正13年(1924)4月15日	新潟藤井忠太郎	超願寺	法眼琢摩	菅相公御神像
57	10月27日	益田信世	東美俱	宅間榮賀	人丸
58	大正14年(1925)3月16日	都築髻六	東美俱	澄賀	羅漢

※ 会場の「東美俱」は「東京美術倶楽部」、「京美俱」は「京都美術倶楽部」、「大美俱」は「大阪美術倶楽部」の略記である。

※ 「絵師名」と「画題」は目録の表記に従う。その為、「タクマ」の表記も「宅磨」、「宅間」など同音異字の区別がある。

※ 「絵師名」の榮賀と、それに該当する「画題」を太字で表記し、網掛けをした(例：**榮賀**)。

【参考資料 8】「詫磨勝賀墓碑」の位置

- ※ 「国土地理院地図閲覧サービス」(<http://watchizu.gsi.go.jp/index.html>) からダウンロードした地図を使用した。
- ※ 上図は【参考資料 1】にて使用したものと同一である。

【参考資料 9】14 世紀中の法琳寺別当の補任状況

就任期間（年号）	就任期間（西暦）	別当名	別当所属
正安 2	1300	成恵	安祥寺
正安 3-正和 5	1301-16	光誉	安祥寺
文保 1-元応 1	1317-19	良伊	安祥寺
元応 2-元亨 3	1320-23	信耀	醍醐寺理性院
正中 1	1324	光誉	安祥寺
正中 2-元弘 1	1325-31	良伊	安祥寺
正慶 1、同 2	1332、33	光誉	安祥寺
建武 1-文和 1	1334-52	隆雅	安祥寺
文和 2	1353	隆源	安祥寺
文和 3、4	1354、55	良厳	安祥寺
延元 1-永和 2	1356-76	興雅	安祥寺
永和 3-康暦 1	1377-79	宗助	醍醐寺理性院
康暦 2-応永 1	1380-94	賢耀	醍醐寺理性院
応永 2	1395	光信	醍醐寺理性院
応永 3-5	1396-98	宗助	醍醐寺理性院
応永 6、7	1399、1400	光覚	醍醐寺理性院

※ 太字・網掛けは醍醐寺僧の補任を示す。

※ 柳原紀光編『続史愚抄』（黒板勝美編『国史大系』第 13、14 卷所収）及び、編纂者不明『大元帥法秘抄』（東京大学史料編纂所蔵写本）所載の「別当次第事」をもとに制作した。

【参考資料 10】醍醐寺門跡の所領増加

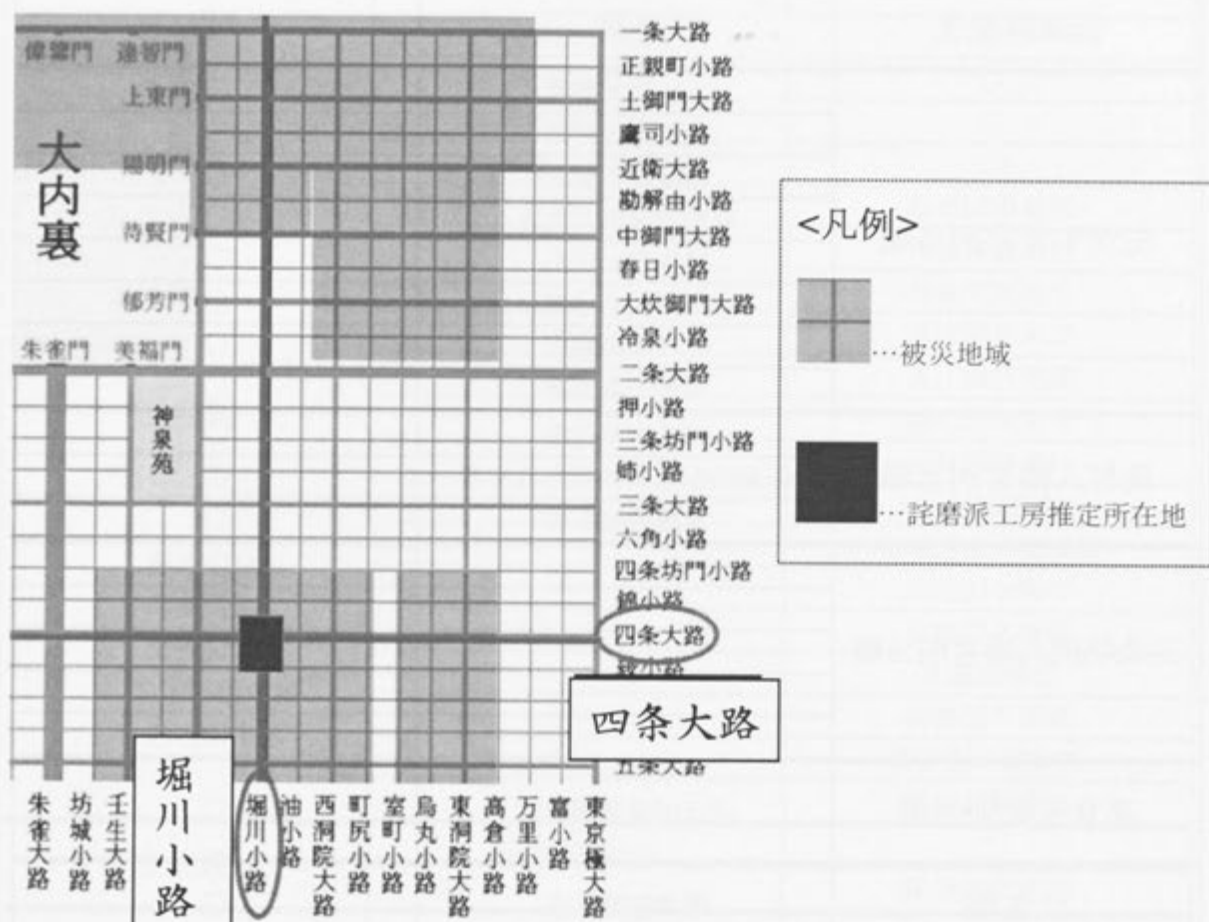
門跡等名称	所領①	所領②
三宝院	尾張国安食庄	○
	尾張国瀬部	○
	丹後国朝来村	○
	丹後国鹿野庄	○
	—	尾張国得重保
	—	丹後国朝来村
	—	丹後国鹿野庄
	—	近江国船木庄
	—	近江国河毛郷
	—	越前国河北庄
	—	丹後国曾地村
	—	三河国国衙
	—	山城国山科地頭職
	—	山城國小野庄
	—	山城国久多庄
	—	美濃国帷庄
	—	美濃国牛洞郷
—	若狭国須恵野村	
—	肥前国佐嘉庄	
宝池院	筑後国高良庄	○
		尾張国扱豆志
金剛輪院	伊勢国棚橋太神宮法楽寺并未寺寺領	○
遍智院	越中国太海	○
	阿波国金丸庄	○
	伊勢国南黒田	○
安養院	筑前国楠橋庄	○
菩提寺	宇治郡左馬寮	○
鳥羽金剛心院	不明	不明
大智院曼荼羅寺	方々所職	○
醍醐寺座主	伊勢国曾祢庄	○
	越前国牛原四ヶ郷	○
	近江国柏原庄	○
	河内国五ヶ庄	○

	山城国笠取庄	○
	肥前国鹿庄	○
	近江国大野木庄	○
伝報院座主	不明	不明
左女牛若宮別当職	土佐国大野郷	○
	土佐国仲村郷	○
	尾張国日置庄	○
	筑前国武恒犬丸方	○
	摂津国山田庄	○
	摂津国桑津庄	○
	大和国田殿庄	○
	美濃国森部郷	○
篠村八幡宮別当職	丹波国篠村庄	○
	丹波国佐伯庄地頭方五ヶ郷	○
	上総国梅左古	○
三条坊門八幡宮別当職	—	山城国多賀
	—	山城国高畠
	—	摂津国時友
	—	越中国御服庄
	—	越中国吉河
高倉天満別当職	近江国愛智郡香庄	○
仏名院	摂津国野鞍庄	○
清閑寺法華堂別当職	不明	不明
清閑寺大勝院・南池院	不明	不明
鎌倉二位家 右大臣家両法華堂別当職	讃岐国長尾庄	○
	讃岐国造太庄	○
	武蔵国高田郷	○
但馬国朝倉庄・福元方	不明	不明
近江国河毛郷	不明	—
山城国日尾寺・善縁寺	—	不明

※ 醍醐寺内の幾つかの門跡寺院の所領一覧である。「所領①」は応永6年(1396)、「所領②」は正長2年(1429)奥付のある目録(『醍醐寺文書』所収)。

※ 「○」は応永6年の段階での所領が、正長2年においても同門跡に伝領されていることを、「—」は、正長2年に伝領されていた所領の内、応永6年の段階で保有していないことを示す。

【参考資料 11】 応仁・文明の乱における平安京北東部の被災状況



※ 児玉幸多編『日本史年表・地図』（吉川弘文館 平成7年4月）、朝尾直弘他編『日本史辞典』（角川書店 平成8年11月）を参考とし、筆者が作成した。

※ 詫磨派工房は、「四条通」と「堀川通」が交差する「四条堀川」に位置していたと考えられる。

【参考資料 12】明兆作品一覧

番号	名称	所蔵	制作年代
1	自画像（模本 住吉広行筆）	東福寺	（原本）永徳3年（1383）
2	五百羅漢図	東福寺・根津美術館	永徳3～至徳3年（1383～86）
3	大道一以像	奈良国立博物館	明徳5年（1394）
4	在先希讓像	靈光院	応永10年（1403）以前
5	春屋妙葩像	光源院	応永11年（1404）以前
6	在山素瑤像	東福寺	応永13年（1406）
7	仏涅槃図	東福寺	応永15年（1408）
8	三十三観音図	東福寺	応永19年（1412）
9	溪隠小築図	金地院	応永20年（1413）
10	白衣観音図	東京国立博物館	応永31年（1424）頃
11	釈迦三尊三十祖像	鹿王院	応永33年（1426）
12	白崖宝生像	泉龍院	応永33年（1426）
13	四十祖像	東福寺	応永34年（1427）
14	寒山拾得図	東福寺	不明
15	騎獅文殊図	個人	不明
16	聖一国師像（着色）	東福寺	不明
17	聖一国師像（墨画）	東福寺	不明
18	蔵山順空像	永明院	不明
19	達磨蝦蟇鉄拐図	東福寺	不明
20	白衣観音図	天性寺	不明

※ 明兆（1352～1431）筆として概ねコンセンサスが得られている作品を収録した。

※ 作品は制作年代順に配列したが、年代不明のものは画題五〇音順とした。

※ 制作年代などは、田中一松『水墨美術大系』第5巻 可翁・黙庵・明兆（講談社 昭和53年10月）、金沢弘『日本美術絵画全集』第1巻 可翁／明兆（集英社 昭和56年6月）、山口県立美術館編集・発行『禅寺の絵師たち—明兆・靈彩・赤脚子—』（平成10年10月）を参照した。

【参考資料 13】 関係年表

年号	西暦	詫磨派関係事項	博士論文関係事項
長承 1	1132	大詫磨、高野山伝法院の「両界曼荼羅」の制作を行う（『大伝法院本願聖人御伝』）	
久寿 2 以前	1155 以前	為遠、近衛院御願の覚皇院で制作を行う（『大伝法院本願聖人御伝』）	
承安 4	1174	為遠、女院御逆修において制作を行う（『吉記』）	
寿永 3	1184	勝賀、法橋に補任される（『僧綱補任残欠』）	
同	同	為久、幕府の命により、京都より鎌倉に参じる（『吾妻鏡』）	
元暦 1	同	為久、鎌倉において「聖観音」の図絵を行い、後に帰洛し、恩賞を賜る（『吾妻鏡』）	
文治 1	1185	為久、幕府の命により京都より鎌倉に参じ、「浄土瑞相図」、「二五菩薩像」を制作する（『吾妻鏡』）	
文治年中	1185-90	勝賀、源頼朝らの寄進を受け、神護寺根本曼荼羅を新写する（『神護寺略記』など） 為辰、神護寺浄覚の依頼により、神護寺において制作を行う（『神護寺略記』）	
建久 2	1191	勝賀、東寺所蔵「一二天屏風」の図絵を行う（『東宝記』など）	栄西、臨済宗を中国から伝える
同 3	1192		源頼朝、征夷大將軍に任じられる
正治 1	1199		源頼朝没
建仁 1	1201	俊賀、明恵所持の紙形をもとに制作を行う（『高山寺明恵上人行状』）	
同 2	1202	勝賀、新御所安鎮法に際して制作を行う（『門葉記』）	
同 3	1203	俊賀、明恵の紀州行に従い、「春日・住吉明神像」の図絵を行う（『明恵上人神現伝記』）	
元久 1	1204	勝賀、五辻殿安鎮法に際して曼荼羅の制作を行う（『門葉記』）	
同 2	1205	勝賀、賀陽院安鎮法に際して曼荼羅の制作を行う（『門葉記』）	
建永 1	1206		明恵、高山寺を創建する
建暦 3	1213	良賀、法勝寺九重塔供養において賞を賜る（『明月記』）	
建保 3	1215	俊賀、伏見宮御逆修において制作を行う（「後鳥羽上皇逆修僧名等目録」）	
同 5	1217	良賀、「当麻曼荼羅」を写し、大江信方より洛中七条の土地を購入する（『当麻曼荼羅疏』、「大江信方家地売券」）	

承久 3	1221		承久の乱勃発
貞応 3	1224	俊賀、浄覚より平岡の地を賜る (「尋勝房宛某書状」)	
嘉祿 1	1225	俊賀、高山寺羅漢堂において制作を行う (『高山寺縁起』)	
同 2	1226		浄覚没
寛喜 1	1229	長賀、良賀より相伝した土地を売却する (「僧長賀地売券」)	
同 3	1231	俊賀、神護寺において「真言八祖像」の制作を行う (『神護寺略記』など) 為行、将軍家御願寺建立に際し、地相を写す (『吾妻鏡』)	
同 4	1232	俊賀、高山寺三重塔において 「五秘密曼荼羅」の制作を行う(『高山寺縁起』)	明恵没
天福 1	1233	長賀、合戦絵の制作を行う (「尊性法親王書状」)	
建長 5	1253	長賀、法勝寺阿弥陀堂供養において賞を賜る (『経俊卿記』)	
弘長 3 以前	1263 以前	長賀、正伝寺所蔵「兀庵普寧像」の制作を行う (賛など)	北条時頼没(弘長3年)
文永 2	1265		兀庵普寧帰国
文永 5	1268		東巖慧安、正伝寺を創建する
同 11	1274		文永の役
弘安 4	1281		弘安の役
正和 2	1313	賢信、醍醐寺所蔵「太元帥明王像」を制作する (『続史愚抄』)	法琳寺太元堂炎上
正和 3	1314	賢信、高野山正智院所蔵「青面金剛図像」 を制作する(銘文)	
嘉暦 2	1327	宅間入道了尊没(『常楽記』)	
嘉暦 3	1328		良詮、本覚寺所蔵「仏涅槃図」を制作
元徳 2	1330	宅間式部太夫没(『常楽記』)	
同 4	1332	宅間遠江法印朝勝没(『常楽記』)	
建武 2	1335	たくまの常陸法印、中山法華経寺所蔵 「釈迦・多宝如来像」を造立する(銘文)	
延元 1	1336		後醍醐天皇吉野に遷る
暦応 1	1338		北畠顕家没
暦応 2	1339		後醍醐天皇没
同 3	1340	正法寺所蔵「仏涅槃図」制作され、 伊勢観音寺に施入される(銘文)	
貞和 4	1348		四条暁の戦いで南朝敗北
同 6	1350	長祐、称名寺所蔵「三千仏図」を描く(銘文)	観応の擾乱始まる
観応 1	1350	四条堀川下野法印、 立政寺所蔵「当麻曼荼羅」を描く(銘文)	

参考資料

正平 6	1351		正平一統
文和 2	1353	タクマノ法眼ノ弟子、平心處斎の頂相を描く (『覚源禅師年譜』など)	実助没
同 3	1354	長祐、法雲寺所蔵「仏涅槃図」を描く(銘文)	
同 4	1355	巖雅、個人蔵「大威徳転法輪曼荼羅」を描く(銘文)	
延文 2	1357		文観、賢俊没
同 3	1358		足利尊氏没
応安 1	1368		明王朝成立
同 3	1370		聖尊没
至徳 3	1386	浄宥、法光寺所蔵「地藏菩薩坐像」に彩色する (銘文)	
明德 3	1392		南北朝合一
応永 2	1395	栄賀、常盤山文庫所蔵「柿本人麻呂像」を制作する (賛)	
同 15	1408		足利義満没 明兆、東福寺所蔵「仏涅槃図」を制作
同 31	1424		六角寂濟没
応仁 1	1467		応仁・文明の乱始まる
文明 9	1477		応仁・文明の乱終わる
元禄 4	1691		『本朝画史』刊行される

※ 本文において本参考資料については言及していない。適宜ご参照いただきたい。

※ 「詫磨派関係事項」では、同時代資料に認められる詫磨派の活動を示し、末尾に出典を明記した。

※ 「博士論文関係事項」では、本稿に関する詫磨派以外の重要な事項を示し、出典は割愛した。

【参考資料 14】 作者名の明らかな詫磨派の現存作例一覧

作者 (活躍地・時期)	名称	所蔵	作者名の根拠
勝賀 (中央・12世紀後半～13世紀前半)	一・二天屏風	東寺	文献資料との照合
	両界曼荼羅	東寺	文献資料との照合
長賀 (中央・13世紀前半～後半)	不動明王図像	醍醐寺	銘文
	二童子像	フリア美術館	印章
	元庵普寧像	正伝寺	賛文及び文献資料との照合
	一・八羅漢図	所在不明	印章
賢信 (中央・14世紀前半)	青面金剛図像	高野山正智院	銘文
	太元帥明王像	醍醐寺	文献資料との照合
厳雅 (中央・14世紀中頃)	大威徳転法輪曼荼羅	個人	銘文
栄賀 (中央・14世紀中頃～後半)	愛染明王像	大慈恩寺	款記
	柿本人麿像	常盤山文庫	印章
	釈迦三尊・羅漢図	京都国立博物館	款記
	一・六羅漢図	藤田美術館	款記・印章
	普賢菩薩図	フリア美術館	印章
	仏涅槃図	大樹寺	款記・印章
	不動明王二童子像	静嘉堂文庫美術館	款記
	布袋図	個人	印章
山越阿弥陀図	出光美術館	款記	
四条堀川下野法印 (中央・14世紀中頃)	当麻曼荼羅	立政寺	銘文
たくまの常陸法印 (関東・14世紀前半)	釈迦・多宝如来像 (彫刻)	中山法華経寺	銘文
長祐 (関東・14世紀中頃)	三千仏図	称名寺	銘文
	仏涅槃図	法雲寺	銘文
浄宕 (関東・14世紀後半)	地藏菩薩坐像 (彫刻)	法光寺	銘文

- ※ 本文において本参考資料については言及していない。適宜ご参照いただきたい。
- ※ 活躍地は、「中央」(中央詫磨派)と「関東」(関東詫磨派)に大別した。
- ※ 作者は中央、関東詫磨派の順に区分し、それぞれにおいては活躍年代順に記した。
- ※ 同一作者の作品は、所蔵五〇音順に記した。
- ※ 「作者名の根拠」とは、作者名を決定付ける根拠を示す。